

平成 23 年度  
老人保健事業推進費等補助金  
(老人保健健康増進等事業)

介護サービスの質の評価に関する利用実態等を  
踏まえた介護報酬モデルに関する  
調査研究事業  
報 告 書

平成 24 (2012) 年 3 月

**MRI** 株式会社 **三菱総合研究所**



# 目 次

要 旨 .....	i
I 背景と目的 .....	1
II 研究事業の実施体制 .....	2
1. 検討委員会の設置・運営 .....	2
2. 検討委員会における検討内容 .....	2
III 調査研究の流れ .....	3
IV 通所リハビリテーションおよび通所介護サービスに関する調査の実施 .....	4
1. 調査の概要 .....	4
2. 調査の方法 .....	4
3. 調査の対象 .....	6
4. 調査の時期 .....	7
5. 調査項目 .....	7
(1) 事業所票 .....	7
(2) 利用者票 .....	8
V 通所リハビリテーションおよび通所介護サービスに関する調査の結果 .....	10
1. 回収等の状況 .....	10
2. 事業所の基本情報 .....	12
(1) 介護サービスに関する基本情報 .....	12
(2) 介護予防サービスに関する基本情報 .....	18
(3) 併設施設について .....	22
(4) 送迎の実施状況 .....	26
(5) 職員体制について .....	27
(6) 利用者の状況について .....	29
3. リハビリテーション専門職の基本情報 .....	31
(1) 職種の状況 .....	31
(2) 勤務形態の状況 .....	33
(3) 所定勤務時間の状況 .....	35
(4) 利用者に対して実施したケアの状況 .....	37
4. 看護職員の基本情報 .....	39
(1) 職種の状況 .....	39

(2) 勤務形態の状況 .....	41
(3) 所定勤務時間の状況 .....	43
(4) 利用者に対して実施したケアの状況 .....	45
5. 利用者の基本情報 .....	47
(1) 性別の状況 .....	47
(2) 年齢の状況 .....	49
(3) 事業所の利用開始からの期間の状況 .....	51
(4) 利用開始時の要介護度の状況 .....	53
(5) 1年前の要介護度の状況 .....	55
(6) 調査日の要介護度の状況 .....	57
(7) 1ヶ月間の利用回数の状況 .....	59
(8) 過去1年間の利用の状況 .....	61
(9) 要介護認定更新申請・区分変更の時期の状況 .....	62
(10) 個別リハビリテーション（機能訓練）の実施状況 .....	63
(11) 個別リハビリテーション（機能訓練）を担当している職種の状況 .....	64
(12) 有している傷病の状況 .....	65
(13) 実施している医療的ケアの状況 .....	66
(14) 算定している加算の状況 .....	68
(15) 併用している居宅サービスの状況 .....	69
VI リハビリテーションの実施状況に関するヒアリング調査 .....	70
VII リハビリテーション（機能訓練）の実施状況に関する考察 .....	74
1. 通所リハビリテーションと通所介護におけるリハビリテーション（機能訓練）実施状況の比較 .....	74
(1) 利用者属性の比較 .....	74
(2) 個別リハビリテーション及び個別機能訓練の実施状況の比較 .....	76
2. 通所リハビリテーション事業所における個別リハビリテーションの実施状況 .....	78
(1) サービス提供時間区分別 .....	78
(2) 開設主体別 .....	80
(3) リハビリテーション専門職（PT/OT/ST）1人当たり平均実施時間 .....	80
(4) 個別リハビリテーション提供時間区分別利用者数 .....	81
(5) 個別リハビリテーション実施率別事業所数 .....	81
(6) リハビリテーションマネジメント加算を算定していない利用者の月あたり通所リハビリ利用回数 .....	82
3. 通所リハビリテーション事業所におけるリハビリテーション専門職の配置状況 .....	85
4. 通所リハビリテーション事業所における1年間の要介護度の変化の状況 .....	86

VIII 本研究の結論と今後の課題.....	89
1. 通所リハビリテーション事業所及び通所介護事業所におけるサービス提供の状況	89
2. 通所リハビリテーション事業所における個別リハビリテーションの実施状況.....	89
3. 通所リハビリテーションのサービスの質について.....	89
4. 今後の課題.....	90

参考資料1 通所リハビリテーションおよび通所介護サービスに関する調査 調査票

参考資料2 通所リハビリテーションおよび通所介護サービスに関する調査 記入要領



## 【要 旨】

### I. 背景と目的

わが国は現在「超高齢社会」を迎えており、今後のさらなる高齢化の進行により要介護高齢者の増大が予想される中、介護サービスの供給について一層の量的拡充を図ることが求められている。一方で、同時に介護サービスの質的充実が大きな課題となってきた。

そこで、平成 21 年度から老人保健健康増進等事業「介護サービスの質の評価の在り方に係る検討に向けた事業（日本公衆衛生協会）」において「介護サービスの質評価検討委員会」が組織され、介護サービスの質の評価のあり方について議論が開始された。検討委員会では、介護サービスの質を評価する指標として、ストラクチャー、プロセス、アウトカムの観点から検討を行ってきた。検討委員会では、「利用者等の QOL の確保」「地域包括ケアの推進」「適切な事業運営」の 3 つの観点からストラクチャー、プロセスを整理しており、「利用者等の QOL の確保」の中で、定量的に評価可能な項目として 8 つのアウトカム指標を挙げている。

今年度は居宅系サービスに着目し、中でも通所介護および通所リハビリテーションの質の評価に関する基礎的研究として、通所介護および通所リハビリテーション事業所におけるリハビリテーションなどのサービスの実態を把握することを目的として実施を行った。

### II. 通所リハビリテーションおよび通所介護サービスに関する調査の実施

#### 1. 調査の方法

本調査は、郵送配布・郵送回収により実施した。調査日（平成 23 年 7 月 21 日）時点におけるリハビリテーション専門職、機能訓練指導員、看護職員及び利用者全数を対象とした、リスト形式の利用者票を配布した。

#### 2. 調査の対象

全国の通所リハビリテーション事業所 2,000 および通所介護事業所 1,000 を対象とした。

調査対象事業所は、独立行政法人福祉医療機構（旧社会福祉・医療事業団）の福祉保健医療情報ネットワーク（WAM-NET）事業に登録された全国の事業所から、各都道府県の介護サービス情報公表サイトに登録された情報を参考にして無作為に事業所を抽出。

ただし、以下に該当する市区町村に所在する事業所については、東日本大震災の被災地域として調査の対象から除外した。

- 災害救助法の適用地域のうち、東京都を除く地域
- 総務省が公表している津波による浸水地域
- 原発関連の被災地域（計画的避難区域、緊急時避難準備区域）

また、調査日（平成 23 年 7 月 21 日）に通所リハビリテーション及び通所介護を利用

した利用者全員、調査日に勤務したリハビリテーション専門職および看護職員の全員を対象とした。

### 3. 調査項目

通所リハビリテーション及び通所介護事業所の登録者数、利用者定員数、時間別開催日数、時間別利用者数、併設施設、職員体制、利用者の医療的ケアの状況等。リハビリテーション専門職、看護職が利用者に対する直接的なケアに従事した時間、利用者に対する直接的なケア以外の業務の時間等。利用者の要介護度の状況、個別リハビリテーション実施の有無、個別リハビリテーションを担当した職種、現在有している傷病、実施している医療的ケア等の項目。

## Ⅲ. 結果と考察

### 1. 回収等の状況

本調査の回収状況は次のとおりであった。

	発送数	回収数	回収率
通所リハビリテーション	2,000	1,031	51.6%
通所介護	1,000	400	40.0%

### 2. 考察

(1)通所リハビリテーションと通所介護におけるリハビリテーション（機能訓練）実施状況の比較

#### 1)利用者属性の比較

平成23年7月21日における通所リハビリテーション事業所と通所介護事業所のサービス時間区分別の利用者数を比較すると、通所リハビリテーション、通所介護共に6～8時間のサービスが8割以上を占めており、大きな差は見られなかった。



主な利用者属性を比較すると、次の通りであり、年齢については通所介護事業所が通所リハビリテーション事業所よりも高いが、事業所の平均利用期間及び平均要介護度については、大きな差は見られなかった。

図表 1 利用者属性の比較

	通所リハビリテーション事業所	通所介護事業所
回答利用者数	22,295 人	7,568 人
平均年齢 <sup>※2</sup>	80.1 歳	84.1 歳
平均利用期間(月)	49.6 ヶ月	48.0 ヶ月
平均要介護度(調査時)	2.3	2.3

また、利用者が有している傷病の状況を比較すると、通所リハビリテーションでは脳血管疾患を持つ利用者の割合が高く、通所介護では認知症を持つ利用者の割合が高いが、その他の疾患については大きな差は見られなかった。利用者が受けている医療的ケアの状況を比較すると、通所リハビリテーション、通所介護の双方について、服薬管理を受けている割合が最も高く、その他の医療的ケアを受けている割合については大きな差は見られなかった。

## 2)個別リハビリテーション及び個別機能訓練の実施状況の比較

通所リハビリテーション事業所及び通所介護事業所の利用期間が 1 年以上の利用者について、個別リハビリテーション及び個別機能訓練の実施状況を比較すると、実施率（利用者のうち個別リハビリテーション・個別機能訓練を利用している利用者の割合）は通所リハビリテーション事業所が 76.0%、通所介護事業所が 61.7%であり、通所リハビリテーションのほうが高い割合であった。また、リハビリテーション専門職・機能訓練指導員が個別リハビリテーション・個別機能訓練を実施している割合は、通所リハビリテーションが 93.7%であるのに対し、通所介護事業所では 7.8%であった。通所介護事業所ではリハビリテーション専門職以外の職種が実施する割合が 89.1%と大半を占めている。

個別リハビリテーション・個別機能訓練をリハビリテーション専門職が実施する場合の 1 回当たり実施時間は通所リハビリテーション事業所が 21.5 分、通所介護事業所が 23.9 分であり、大きな差はみられなかった。また、1 事業所あたりの常勤換算職員配置数を比較すると、通所リハビリテーション事業所はリハビリテーション専門職の配置数が多く、通所介護事業所は看護職員の配置数が多かった。

## (2) 通所リハビリテーション事業所における個別リハビリテーションの実施状況

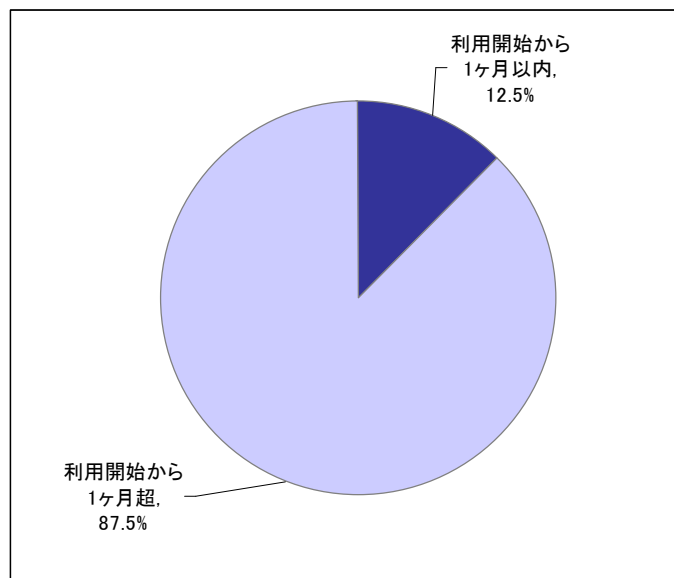
### 1) 個別リハビリテーションの実施状況

通所リハビリテーション事業所における個別リハビリテーション実施率は、全体では実施率 76.0%であった。また、1人あたりの個別リハビリテーション提供時間は 16.6 分であった。また、個別リハビリテーション実施率別の事業所数をみると、実施率 80%以上の事業所が 58%を占めている。一方で、実施率が 40%未満の事業所が 13.5%存在し、個別リハビリテーションの実施状況は事業所によってばらつきがみられた。

ここで、1-2時間のサービス利用者のうち、40分以上の個別リハビリテーションを受けている利用者について、利用開始からの期間を見てみると以下の通りであった。現在の短期集中リハビリテーション実施加算は退院（所）後、1ヶ月以内は 40 分の個別リハビリを、2ヶ月～3ヶ月以内は 20 分の個別リハビリを評価しているが、利用開始から 1ヶ月を超えた利用者が 8割以上を占めている。

図表 2 利用期間

利用開始からの期間	1-2時間の利用者のうち 40分以上の個別リハ利用者	
	利用者数	割合(%)
1ヶ月以内	5	12.5%
2～3ヶ月以内	7	17.5%
3ヶ月超	28	70.0%
合計	40	100.0%

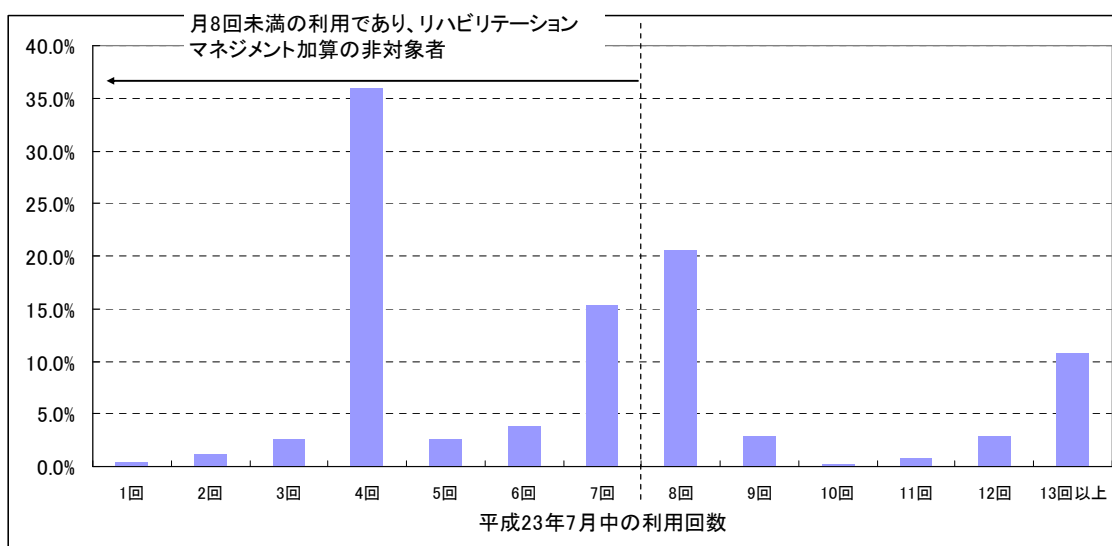


2)リハビリテーションマネジメント加算を算定していない利用者の月あたり通所リハビリ回数

リハビリテーションマネジメント加算を算定していない利用者について、平成23年7月中の通所リハビリテーション利用回数を見ると、8回未満の利用が半数以上を占め、4回（月1回）の利用者が最も多かった。

図表3 マネジメント加算の算定していない利用者の7月中利用回数

平成23年7月中の利用回数	利用者数	
	利用者数	割合
1回	20	0.4%
2回	58	1.2%
3回	130	2.7%
4回	1,760	35.9%
5回	129	2.6%
6回	190	3.9%
7回	753	15.4%
8回	1,005	20.5%
9回	138	2.8%
10回	16	0.3%
11回	38	0.8%
12回	139	2.8%
13回以上	528	10.8%
総数	4,904	100.0%



一方で、リハビリテーションマネジメント加算を算定していない利用者のうち、56%の利用者は、20分以上の個別リハビリを実施していた。現在の個別リハビリテーション実施加算は、月8回以上通所し、リハビリテーションマネジメント加算を算定した利用者のみ算定可能となっているため、これらの利用者に対しては個別リハビリテーション実施加算を算定できていない。

### 3)通所リハビリテーション事業所における1年間の要介護度の変化の状況

通所リハビリテーション事業所における利用者の1年間の要介護度の変化の状況を見ると、次のとおりであった。1-2時間のサービスでは、他のサービス提供時間に比べ、個別リハビリテーション実施率が高く、また、1人当たりの個別リハ実施時間が長く、要介護度の変化も小さくなっている。

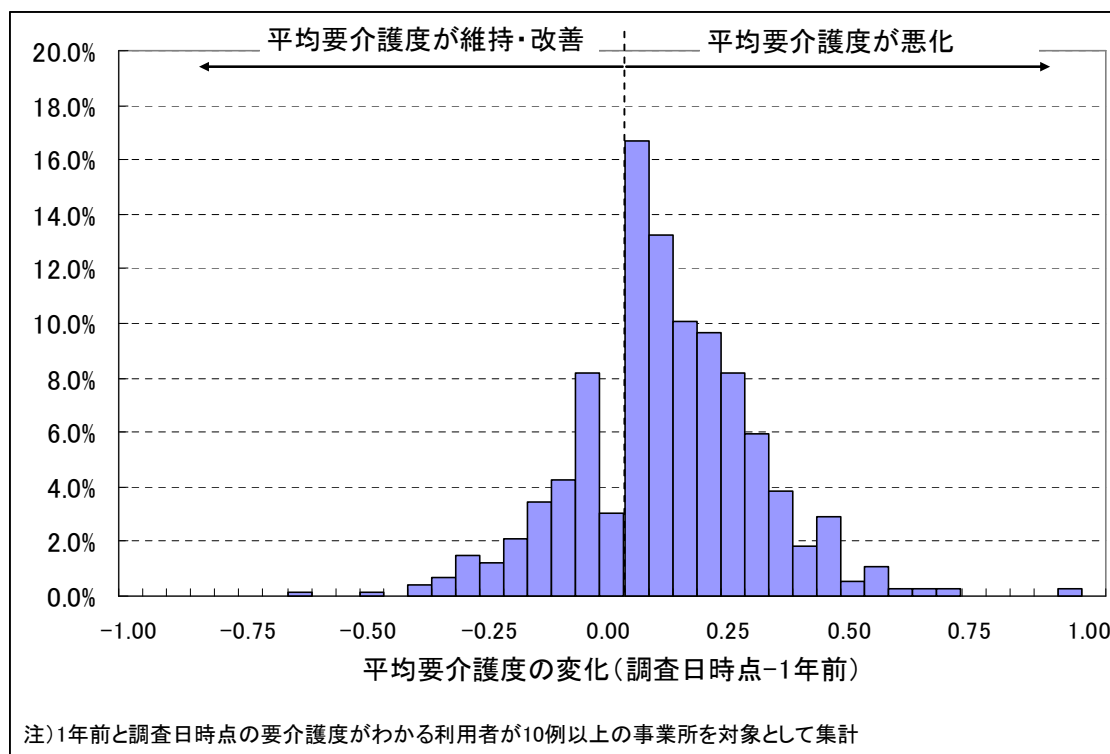
図表 4 利用者の1年間の要介護度の変化（通所リハビリテーション）

サービス提供時間	利用者数	個別リハ実施率	利用者1人当たり個別リハ時間(分)	1年間の要介護度変化の平均(注)
全体	21,187	76.0%	16.6	0.089
1-2時間	301	91.4%	23.7	0.025
2-3時間	189	75.1%	18.9	0.061
3-4時間	726	86.1%	19.2	0.048
4-6時間	1,884	72.3%	15.6	0.066
6-8時間	18,087	75.7%	16.5	0.094

(注)1年前の要介護度が要介護1以上の利用者を対象として算出

ここで、通所リハビリテーション事業所毎の利用者の1年間の平均要介護度の変化の分布を見ると、次の通りであり、改善している事業所と悪化している事業所ではらつきが見られた。

図表 5 平均要介護度の変化



そこで、平均要介護度の改善状況が大きい又は悪化が大きい3事業所について、別途、通所リハビリテーションのサービス状況のヒアリング調査を実施したところ、平均要介護度が改善している事業所と悪化している事業所でリハビリの提供状況や、リハビリ専門職種の配置に大きな差は見られなかった。また、改善している事業所では、重度者の割合が少なく、医療的ケアの必要性が低く、悪化している事業所は重度者が多く、平均年齢が高い傾向が見られた。

### 3. 本研究と結論と今後の課題

#### (1) 通所リハビリテーション事業所及び通所介護事業所におけるサービス提供の状況

通所リハビリテーション事業所及び通所介護事業所を利用している利用者の属性の観点では、通所リハビリテーションのほうが、利用者が有する傷病として脳血管疾患を有する割合が高くなっている。一方で、年齢、サービスの利用期間、要介護度の状況及び必要な医療的ケアについては大きな差が認められず、利用者の属性に大きな差はないものと推察された。

また、利用者に提供されているサービスの観点では、リハビリテーション専門職が提供している個別リハビリテーション（個別機能訓練）の時間は利用者1人当たりでは通所リハビリテーション、通所介護共に概ね20分程度であった。ただし、通所介護ではリハビリテーション専門職が実施している個別機能訓練の割合が1割未満であるのに対し、通所リハビリテーションでは9割以上がリハビリテーション専門職が提供する個別リハビリテーションであった。リハビリテーション専門職の配置の観点でも通所介護事業所ではリハビリテーション専門職がほとんど配置されておらず、利用者が受けているリハビリテーションサービスの内容は大きく異なることが推察された。

#### (2) 通所リハビリテーション事業所における個別リハビリテーションの実施状況

個別リハビリテーションの実施状況については、実施率が事業所毎にばらつきがみられた。一方で、サービス提供時間別や開設主体別の観点からは、実施率や利用者1人あたりの個別リハビリテーション時間、リハビリテーション専門職配置等に大きな差は認められなかった。

また、1-2時間のサービス提供において、40分以上の個別リハビリテーションを受けている利用者に注目すると、現在の短期集中リハビリテーション実施加算において評価がなされていない利用開始から2ヶ月以上の利用者が8割を占めていることが明らかとなった。

さらに、リハビリテーションマネジメントの観点から見ると、リハビリテーションマネジメント加算を算定していない利用者であっても半数以上が20分以上の個別リハビリテーションを受けている一方で、1ヶ月間のサービス利用回数では4回の利用者が最も多くなっており、リハビリテーションマネジメントを適切に行っている場合であっても加算の算定

ができない場合が多くあることが示唆された。

### (3) 通所リハビリテーションのサービスの質について

通所リハビリテーション事業所の利用者の平均要介護度の変化は、事業所毎に大きなばらつきが認められたが、一方で、平均要介護度が改善している事業所と悪化している事業所でリハビリテーションの提供状況や、リハビリテーション専門職種の配置に大きな差は認められなかった。また、平均要介護度が改善している事業所では重度者の割合が少なく、医療的ケアの必要性が低く、悪化している事業所は重度者が多く、平均年齢が高い傾向が認められた。

したがって、事業所毎のサービスの質の差より、利用者の特性の方が事業所の平均要介護度の変化に影響を及ぼすと考えられ、要介護度変化をアウトカムとして事業所を評価することについては慎重な検討が必要と考えられる。

### (4) 今後の課題

本調査研究は、通所リハビリテーション及び通所介護事業所におけるサービス提供の実態把握を目的として実施した。通所リハビリテーションと通所介護においては、利用者属性等の観点では顕著な差が認められなかったが、利用者に提供されているサービスの内容については、大きく異なることが推察された。また、通所リハビリテーションサービスの質の観点からは、平均要介護度の変化にばらつきがあることが認められたが、提供されているサービスの内容との関係性については、把握することができなかった。

今後は、本調査研究で把握がなされていない、提供サービス内容等の把握、分析を通じて、通所リハビリテーション及び通所介護の機能について適切な評価を行うことが期待される。また、サービスの質の評価については要介護度以外の評価指標について検討が必要である。

## I 背景と目的

わが国は現在「超高齢社会」を迎えており、今後のさらなる高齢化の進行により要介護高齢者の増大が予想される中、介護サービスの供給について一層の量的拡充を図ることが求められている。一方で、同時に介護サービスの質的充実が大きな課題となってきた。

そこで、平成 21 年度から老人保健健康増進等事業「介護サービスの質の評価の在り方に係る検討に向けた事業（日本公衆衛生協会）」において「介護サービスの質評価検討委員会」が組織され、介護サービスの質の評価のあり方について議論が開始された。検討委員会では、介護サービスの質を評価する指標として、ストラクチャー、プロセス、アウトカムの観点から検討を行ってきた。検討委員会では、「利用者等の QOL の確保」「地域包括ケアの推進」「適切な事業運営」の 3 つの観点からストラクチャー、プロセスを整理しており、「利用者等の QOL の確保」の中で、定量的に評価可能な項目として 8 つのアウトカム指標を挙げている。

この結果を受け、平成 22 年度老人保健健康増進等事業において、「介護サービスの質の評価に関する調査研究」を三菱総合研究所が実施し、介護保険施設利用者のアウトカム指標に着目して特養と老健を対象とした利用者の状態変化の調査を実施し、介護サービスの質の評価におけるアウトカム指標活用の有効性、及び評価結果の介護報酬体系への活用の妥当性の検討に資する基礎資料を作成した。

そこで、今年度は居宅系サービスに着目し、中でも通所介護および通所リハビリテーションの質的评价に関する基礎的研究として、通所介護および通所リハビリテーション事業所におけるリハビリテーションなどのサービスの実態を把握することを目的として実施を行った。

## Ⅱ 研究事業の実施体制

### 1. 検討委員会の設置・運営

本研究の実施に際し、調査研究の企画、調査方法・様式の検討、調査結果の分析・まとめを行う場として、検討委員会を設置した。

#### <検討委員会の構成>

<委員> (五十音順)      ◎は委員長

石川 誠      全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会      会長

斉藤 正身      医療法人真正会 霞ヶ関南病院      理事長

◎浜村 明德      医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院      院長

<オブザーバー>

厚生労働省老健局老人保健課

<事務局>

株式会社 三菱総合研究所 人間・生活研究本部

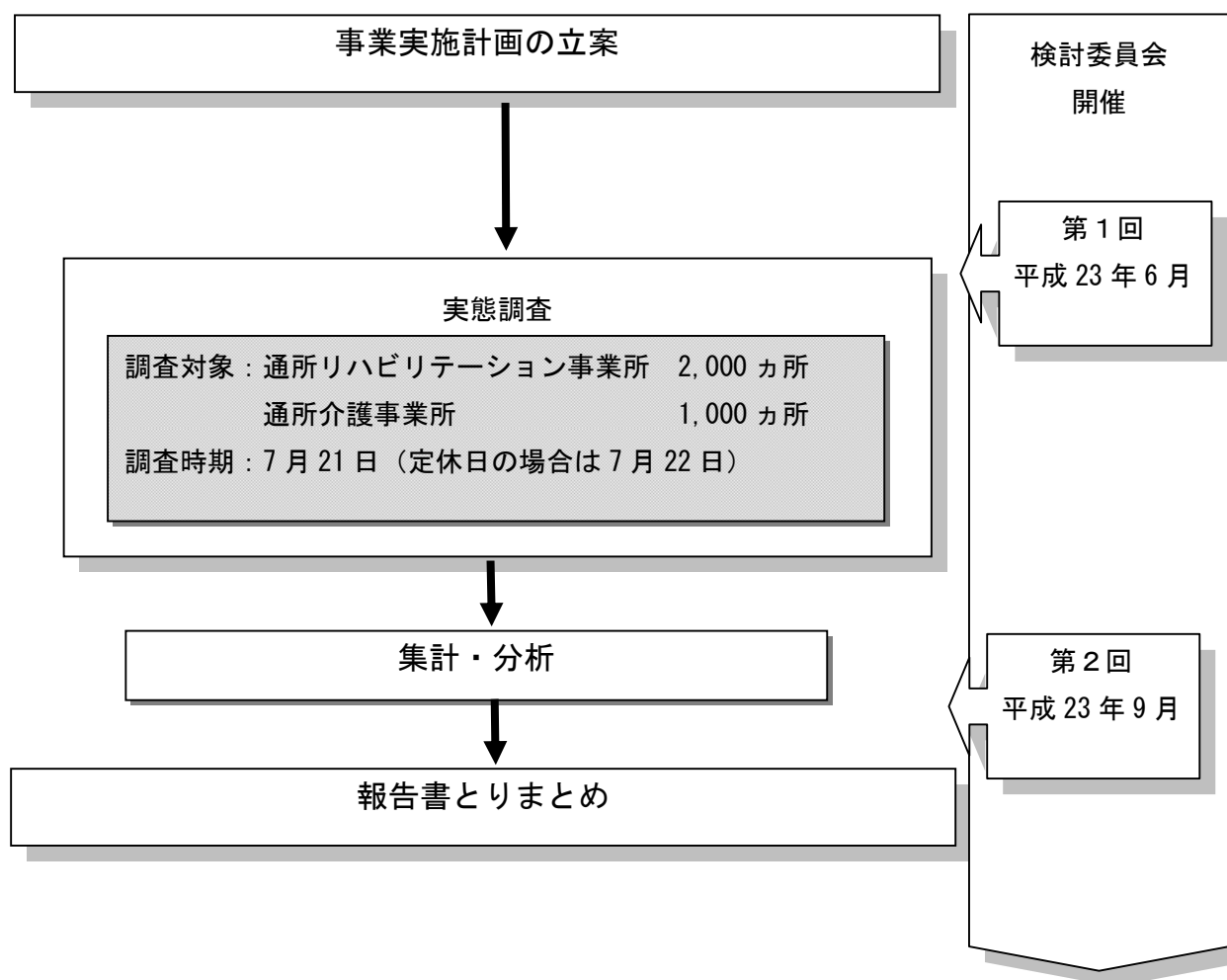
### 2. 検討委員会における検討内容

回	時期	議 題
第1回	6月	○通所リハビリテーションサービスに関する調査の概要(案)について ○調査票(案)について
第2回	9月	○通所リハビリテーションおよび通所介護サービスに関する調査の結果概要について



### Ⅲ 調査研究の流れ

図表 6 調査研究のフロー



## IV 通所リハビリテーションおよび通所介護サービスに関する調査の実施

### 1. 調査の概要

本調査は、通所介護および通所リハビリテーション事業所におけるリハビリテーションなどのサービスの実態を把握し、平成 24 年度介護報酬改定の基礎資料とすることを目的として実施した。そこで、本調査では、ある一日のサービスの状況だけでなく、サービスを受けた利用者の状況についても把握することとした。

調査の対象は、独立行政法人福祉医療機構の福祉保健医療情報ネットワーク（WAM-NET）事業で登録された全国の通所リハビリテーション事業所及び通所介護事業所から、無作為で抽出した事業所を対象として、事業所の状況及び利用者の状況について実態調査を行った。ただし、東日本大震災の被災地域については、調査の対象には含めていない。

### 2. 調査の方法

本調査は、郵送配布・郵送回収により実施した。調査日（平成 23 年 7 月 21 日）時点におけるリハビリテーション専門職、機能訓練指導員、看護職員及び利用者全数を対象とした、リスト形式の利用者票を配布した。調査票の構成と記入者の対応は次の通り。

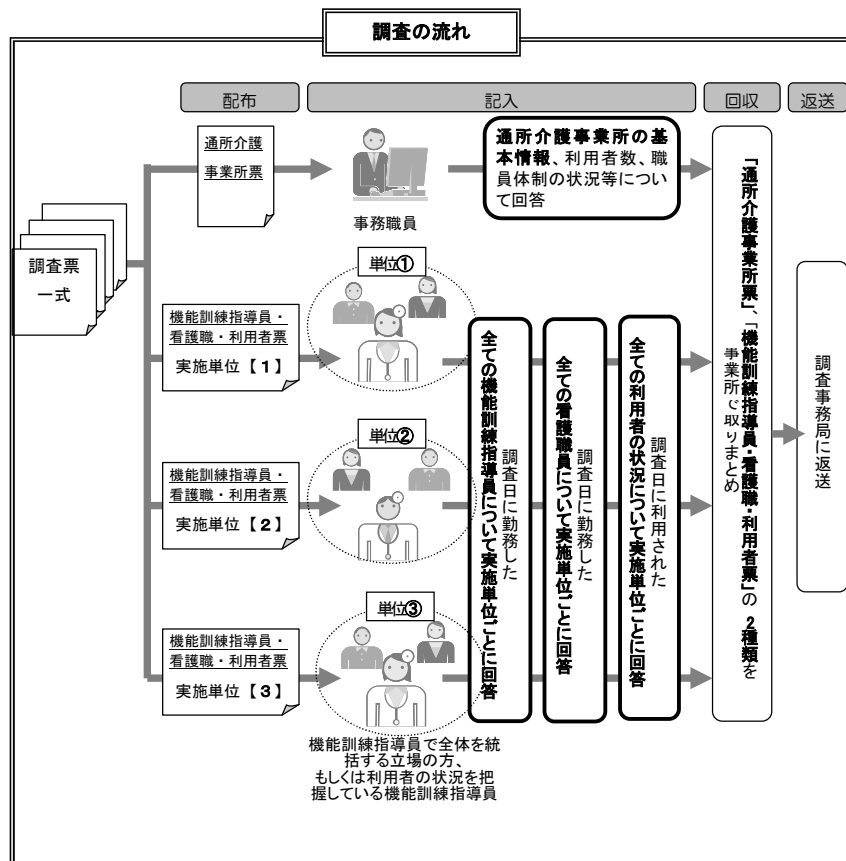
図表 7 調査票と記入者（通所リハビリテーション事業所）

調査票名	部数	記入者
通所リハビリテーション事業所票	1 部	管理者的な立場にある事務職員 (※必要に応じて管理者、医師、看護職員、介護職員にご協力いただいで記入)
リハビリテーション専門職・看護職・利用者票	3 部 (リスト形式)	○リハビリテーション専門職票： 主としてリハビリテーション専門職員 (※必要に応じて医師、看護職員、介護職員、PT、OT、ST等にご協力いただいで記入) ○看護職票： 主として看護職員 (※必要に応じて医師、看護職員、介護職員、PT、OT、ST等にご協力いただいで記入) ○利用者票： リハビリテーション専門職で全体を統括する立場の方、もしくは利用者の状況を把握しているリハビリテーション専門職。

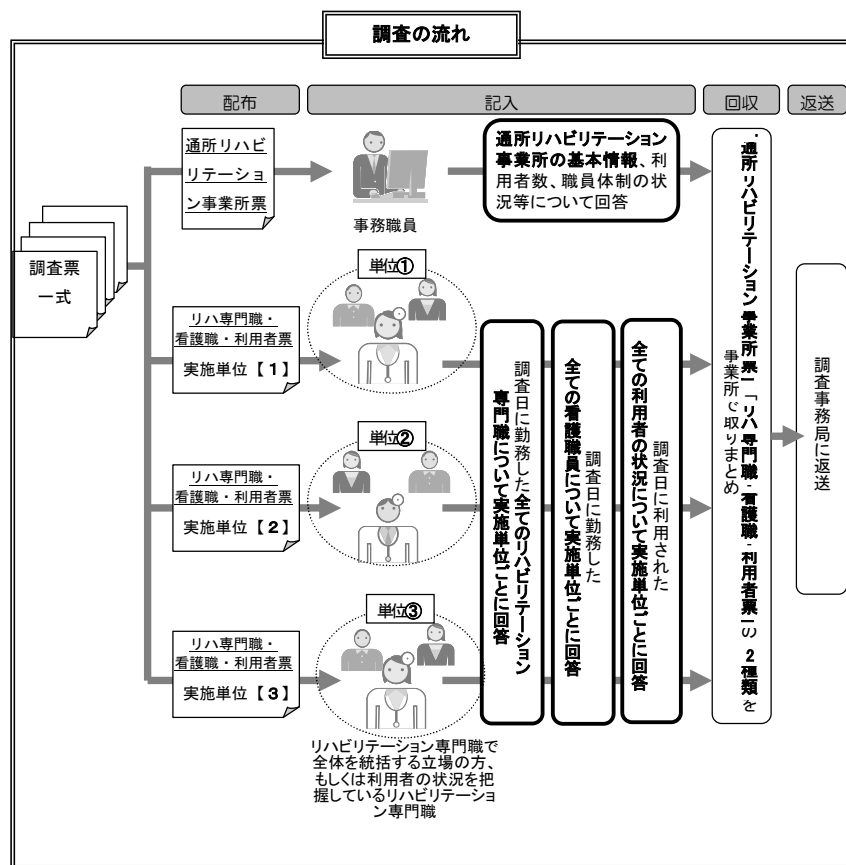
図表 8 調査票と記入者（通所介護事業所）

調査票名	部数	記入者
通所介護事業所票	1部	管理者的な立場にある事務職員 (※必要に応じて管理者、看護職員、介護職員にご協力いただいで記入)
機能訓練指導員・看護職・利用者票	3部 (リスト形式)	○機能訓練指導員票： 主として機能訓練指導員 (※必要に応じて看護職員、介護職員、PT、OT、ST等にご協力いただいで記入) ○看護職票： 主として看護職員 (※必要に応じて看護職員、介護職員、PT、OT、ST等にご協力いただいで記入) ○利用者票： 機能訓練指導員で全体を統括する立場の方、もしくは利用者の状況を把握している機能訓練指導員。

図表 9 調査実施スキーム（通所リハビリテーション事業所）



図表 10 調査実施スキーム（通所介護事業所）



### 3. 調査の対象

全国の通所リハビリテーション事業所 2,000 および通所介護事業所 1,000 を対象とした。

調査対象事業所は、独立行政法人福祉医療機構（旧社会福祉・医療事業団）の福祉保健医療情報ネットワーク（WAM-NET）事業に登録された全国の事業所から、各都道府県の介護サービス情報公表サイトに登録された情報を参考にして無作為に事業所を抽出。

ただし、以下に該当する市区町村に所在する事業所については、東日本大震災の被災地域として調査の対象から除外した。

- 災害救助法の適用地域のうち、東京都を除く地域
- 総務省が公表している津波による浸水地域
- 原発関連の被災地域（計画的避難区域、緊急時避難準備区域）

また、調査日（平成23年7月21日）に通所リハビリテーション及び通所介護を利用した利用者全員、調査日に勤務したリハビリテーション専門職および看護職員の全員を対象とした。

#### 4. 調査の時期

調査対象時点は以下のとおり。

事業所区分	調査
通所リハビリテーション事業所	平成 23 年 7 月 21 日（ただし、7 月 21 日が定休日にあたる場合は、平成 23 年 7 月 22 日（金））
通所介護事業所	

#### 5. 調査項目

調査内容は以下の各項目から構成し、資料編に添付した各調査票を用いて調査を行った。

##### （1）事業所票

###### ア. 通所リハビリテーション事業所票

①通所リハビリテーション事業所の基本情報 登録者数、利用者定員数、時間別開催日数、時間別利用者数、理学療法士等体制強化加算の有無
②介護予防通所リハビリテーション事業所の基本情報 介護予防通所リハビリテーション実施の有無、登録者数、利用者数（実人数、延べ人数）、事業所評価加算の算定の有無
③併設施設について 他機関の併設有無、医療保険による外来リハビリの提供有無、外来リハ・通所リハの実施場所の異同、外来リハ・通所リハの実施時間の異同
④送迎について サービス提供時間別送迎有無
⑤職員体制
⑥利用者の状況 利用者の医療的ケアの状況、その他のケアの状況
⑦意見・感想

###### イ. 通所介護事業所票

①通所介護事業所の基本情報 登録者数、利用者定員数、時間別開催日数、時間別利用者数、個別機能訓練加算（Ⅰ）・（Ⅱ）の算定の有無
②介護予防通所介護事業所の基本情報 介護予防通所介護実施の有無、登録者数、利用者数（実人数、延べ人数）、事業所評価加算の算定の有無
③併設施設について

他機関の併設有無、医療保険による外来リハビリの提供有無

④送迎について

サービス提供時間別送迎有無

⑤職員体制

⑥利用者の状況

利用者の医療的ケアの状況、その他のケアの状況

⑦意見・感想

## (2) 利用者票

### ア. 通所リハビリテーション事業所票

①基本情報

提供時間の区分、回答者の職種・人数

②リハビリテーション専門職について

職種、勤務形態、事業所での所定勤務時間、利用者に対する直接的なケアに従事した時間、利用者に対する直接的なケア以外の業務の時間、勤務時間の合計時間

③看護師・准看護師について

職種、勤務形態、事業所での所定勤務時間、利用者に対する直接的なケアに従事した時間、利用者に対する直接的なケア以外の業務の時間、勤務時間の合計時間

④利用者について

性別、年齢、事業所の利用開始年月(西暦)、利用開始時の要介護度、1年前の要介護度、調査日時点の要介護度、今月における利用回数(予定)、過去1年間の利用状況、更新申請・区分変更の時期、調査日における個別リハビリテーション実施の有無、個別リハを担当した職員の職種、現在有している傷病、実施している医療的ケア、今月算定予定の加算、併用している居宅サービス

### イ. 通所介護事業所票

①基本情報

提供時間の区分、回答者の職種・人数

②機能訓練指導員について

職種、勤務形態、事業所での所定勤務時間、利用者に対する直接的なケアに従事した時間、利用者に対する直接的なケア以外の業務の時間、勤務時間の合計時間

③看護師・准看護師について

職種、勤務形態、事業所での所定勤務時間、利用者に対する直接的なケアに従事した時間、利用者に対する直接的なケア以外の業務の時間、勤務時間の合計時間

④利用者について

性別、年齢、事業所の利用開始年月(西暦)、利用開始時の要介護度、1年前の要介護度、

調査日時点の要介護度、今月における利用回数（予定）、過去1年間の利用状況、更新申請・区分変更の時期、調査日における個別機能訓練実施の有無、個別機能訓練を担当した職員の職種、現在有している傷病、実施している医療的ケア、併用している居宅サービス

## V 通所リハビリテーションおよび通所介護サービスに関する調査の結果

### 1. 回収等の状況

#### (ア) 回収率の状況

本調査の回収状況は次のとおりであった。

	発送数	回収数	回収率
通所リハビリテーション	2,000	1,031	51.6%
通所介護	1,000	400	40.0%

#### (イ) 都道府県別事業所数

回収された事業所について、都道府県別に確認すると次の通りである。厚生労働省が実施している平成 22 年介護サービス施設・事業所調査と比較しても都道府県別の構成に大きな偏りは見られない。

	本調査の回収結果				平成22年介護サービス施設・事業所調査			
	通所リハビリ		通所介護		通所リハビリ		通所介護	
	事業所数	構成比	事業所数	構成比	事業所数	構成比	事業所数	構成比
合計	1031	100.0%	400	100.0%	5877	100.0%	22738	100.0%
01 北海道	45	4.4%	14	3.5%	219	3.7%	851	3.7%
02 青森県	16	1.6%	6	1.5%	78	1.3%	286	1.3%
03 岩手県	-	-	-	-	81	1.4%	333	1.5%
04 宮城県	-	-	-	-	98	1.7%	438	1.9%
05 秋田県	15	1.5%	6	1.5%	48	0.8%	259	1.1%
06 山形県	13	1.3%	8	2.0%	57	1.0%	284	1.2%
07 福島県	-	-	-	-	119	2.0%	351	1.5%
08 茨城県	2	0.2%	1	0.3%	125	2.1%	497	2.2%
09 栃木県	7	0.7%	3	0.8%	82	1.4%	429	1.9%
10 群馬県	20	1.9%	7	1.8%	103	1.8%	449	2.0%
11 埼玉県	34	3.3%	15	3.8%	188	3.2%	925	4.1%
12 千葉県	27	2.6%	15	3.8%	192	3.3%	877	3.9%
13 東京都	45	4.4%	14	3.5%	229	3.9%	1434	6.3%
14 神奈川県	41	4.0%	20	5.0%	220	3.7%	1087	4.8%
15 新潟県	30	2.9%	18	4.5%	108	1.8%	502	2.2%
16 富山県	12	1.2%	7	1.8%	62	1.1%	272	1.2%
17 石川県	13	1.3%	6	1.5%	74	1.3%	245	1.1%
18 福井県	9	0.9%	2	0.5%	50	0.9%	162	0.7%
19 山梨県	14	1.4%	3	0.8%	52	0.9%	220	1.0%
20 長野県	26	2.5%	13	3.3%	123	2.1%	595	2.6%
21 岐阜県	18	1.7%	11	2.8%	88	1.5%	418	1.8%
22 静岡県	27	2.6%	15	3.8%	158	2.7%	744	3.3%
23 愛知県	35	3.4%	19	4.8%	273	4.6%	1100	4.8%
24 三重県	23	2.2%	12	3.0%	90	1.5%	503	2.2%
25 滋賀県	8	0.8%	3	0.8%	47	0.8%	302	1.3%
26 京都府	22	2.1%	13	3.3%	115	2.0%	317	1.4%
27 大阪府	57	5.5%	25	6.3%	318	5.4%	1309	5.8%
28 兵庫県	48	4.7%	12	3.0%	155	2.6%	918	4.0%
29 奈良県	8	0.8%	2	0.5%	59	1.0%	253	1.1%
30 和歌山県	13	1.3%	4	1.0%	72	1.2%	285	1.3%
31 鳥取県	6	0.6%	3	0.8%	54	0.9%	159	0.7%
32 島根県	10	1.0%	8	2.0%	42	0.7%	222	1.0%
33 岡山県	29	2.8%	8	2.0%	149	2.5%	503	2.2%
34 広島県	33	3.2%	14	3.5%	205	3.5%	608	2.7%
35 山口県	14	1.4%	4	1.0%	83	1.4%	374	1.6%
36 徳島県	18	1.7%	7	1.8%	97	1.7%	186	0.8%
37 香川県	20	1.9%	3	0.8%	92	1.6%	215	0.9%
38 愛媛県	25	2.4%	12	3.0%	109	1.9%	330	1.5%
39 高知県	20	1.9%	3	0.8%	72	1.2%	200	0.9%
40 福岡県	60	5.8%	24	6.0%	375	6.4%	986	4.3%
41 佐賀県	8	0.8%	2	0.5%	85	1.4%	244	1.1%
42 長崎県	31	3.0%	4	1.0%	153	2.6%	407	1.8%
43 熊本県	36	3.5%	14	3.5%	180	3.1%	436	1.9%
44 大分県	25	2.4%	3	0.8%	116	2.0%	275	1.2%
45 宮崎県	12	1.2%	3	0.8%	68	1.2%	315	1.4%
46 鹿児島県	37	3.6%	8	2.0%	217	3.7%	326	1.4%
47 沖縄県	19	1.8%	6	1.5%	97	1.7%	307	1.4%



(ウ) 開設主体別事業所数

回収された事業所について、開設主体別に確認すると次の通りである。通所リハビリテーションでは医療法人が7割以上を占め、通所介護では社会福祉法人（社会福祉協議会以外が約4割、営利法人が約3割を占めている。厚生労働省が実施している平成22年介護サービス施設・事業所調査と比較しても開設主体別の構成に大きな偏りは見られない。

	本調査の回収結果				平成22年介護サービス施設・事業所調査			
	通所リハビリ		通所介護		通所リハビリ		通所介護	
	事業所数	構成比	事業所数	構成比	事業所数	構成比	事業所数	構成比
合計	1,031	100.0%	400	100.0%	5,877	100.0%	22,738	100.0%
01 国・地方公共団体	41	4.0%	4	1.0%	169	2.9%	250	1.1%
02 社会福祉協議会	-	-	40	10.0%	-	-	1,577	6.9%
03 社会福祉法人(社協以外)	118	11.4%	158	39.5%	556	9.5%	7,303	32.1%
04 医療法人	737	71.5%	36	9.0%	4,507	76.7%	1,774	7.8%
05 営利法人	-	-	133	33.3%	4	0.1%	9,946	43.7%
06 その他	135	13.1%	29	7.3%	641	10.9%	1,888	8.3%

## 2. 事業所の基本情報

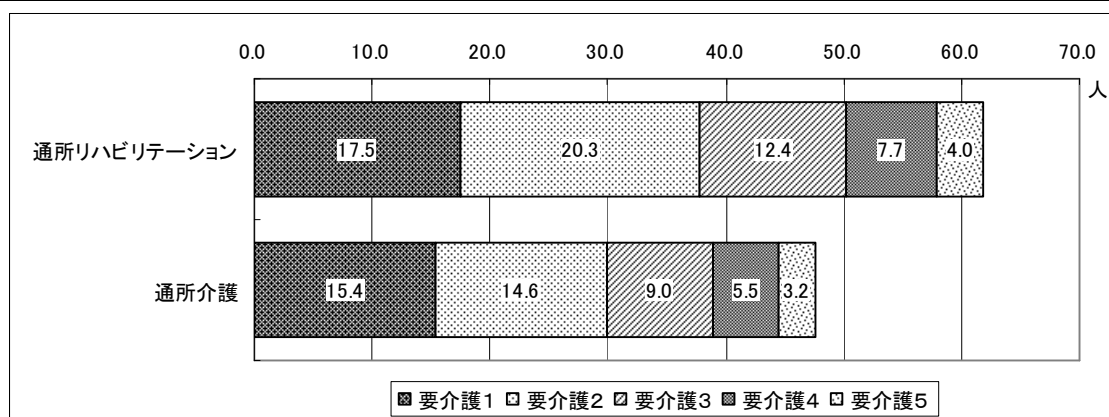
### (1) 介護サービスに関する基本情報

#### (ア) 登録者数の状況

平成 23 年 7 月 1 日時点の 1 事業所あたりの登録者数は通所リハビリテーションが 61.8 人、通所介護が 47.6 人であった。要介護度別の登録者数は、通所リハビリテーションでは要介護 2 が最も多く 20.3 人、通所介護では要介護 1 が最も多く、15.4 人であった。

図表 11 要介護度別登録者数

		要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
通所リハビリテーション	事業所数	1,031				
	平均登録者数 (人)	17.5	20.3	12.4	7.7	4.0
通所介護	事業所数	400				
	平均登録者数 (人)	15.4	14.6	9.0	5.5	3.2

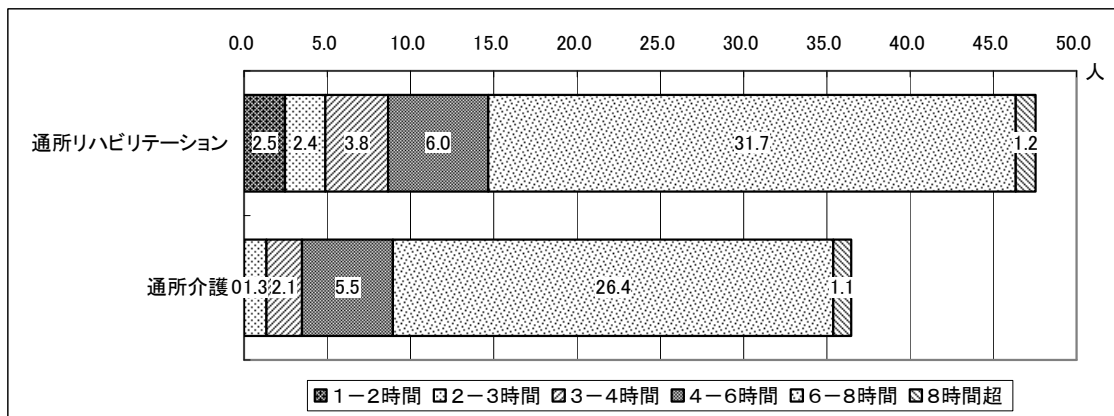


(イ) 利用定員数の状況

平成23年7月1日時点の1事業所あたりの利用定員数は通所リハビリテーションが47.5人、通所介護が36.5人であった。サービス提供時間区別の1事業所あたり利用定員数は、通所リハビリテーションでは6-8時間が最も多く31.7人、通所介護でも6-8時間が最も多く、26.4人であった。

図表 12 サービス提供時間区別利用者定員数

		1-2時間	2-3時間	3-4時間	4-6時間	6-8時間	8時間超
通所リハビリテーション	事業所数	1,031					
	平均利用定員数(人)	2.5	2.4	3.8	6.0	31.7	1.2
通所介護	事業所数	400					
	平均利用定員数(人)	-	1.3	2.1	5.5	26.4	1.1

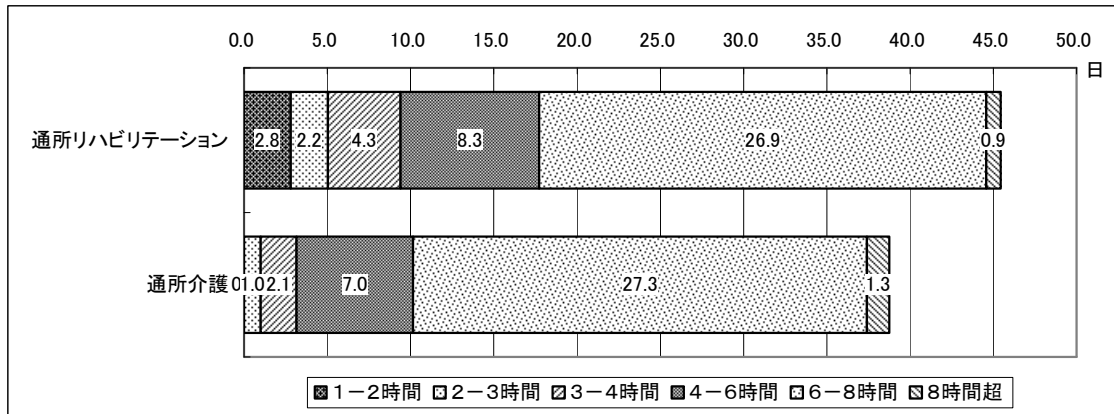


(ウ) 時間別開催日数の状況

平成23年6月中のサービス提供時間区分別の実施事業所1事業所あたり平均開催日数は、通所リハビリテーションでは6-8時間が最も多く26.9日、通所介護でも6-8時間が最も多く、27.3日であった。

図表 13 時間別開催日数

		1-2時間	2-3時間	3-4時間	4-6時間	6-8時間	8時間超
通所リハビリテーション	事業所数	1,031					
	平均開催日数(日)	2.8	2.2	4.3	8.3	26.9	0.9
通所介護	事業所数	400					
	平均開催日数(日)	-	1.0	2.1	7.0	27.3	1.3

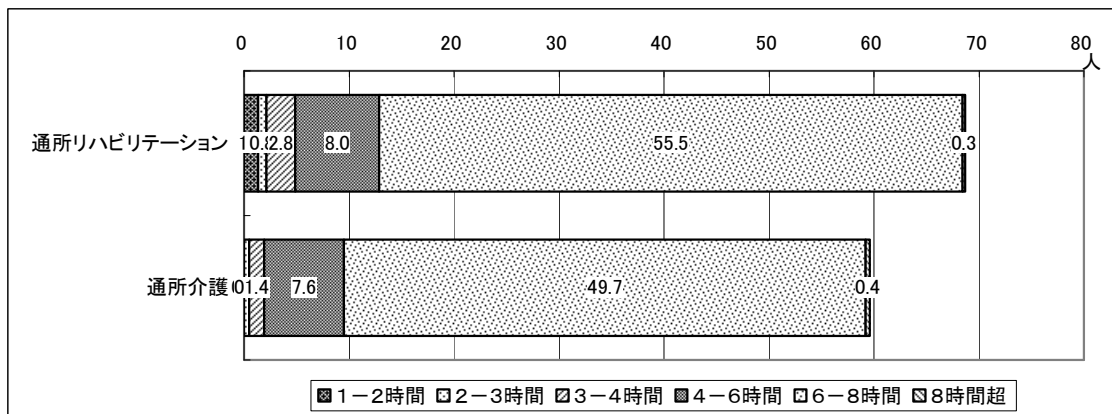


(エ) 時間別利用者数の状況

平成 23 年 6 月中の 1 事業所あたりの実利用者数は通所リハビリテーションが 68.7 人、通所介護が 59.6 人であった。サービス提供時間区分別の実施事業所 1 事業所あたり実利用者数は、通所リハビリテーションでは 6－8 時間が最も多く 55.5 人、通所介護でも 6－8 時間が最も多く、49.7 人であった。

図表 14 時間別利用者数（実利用者数）

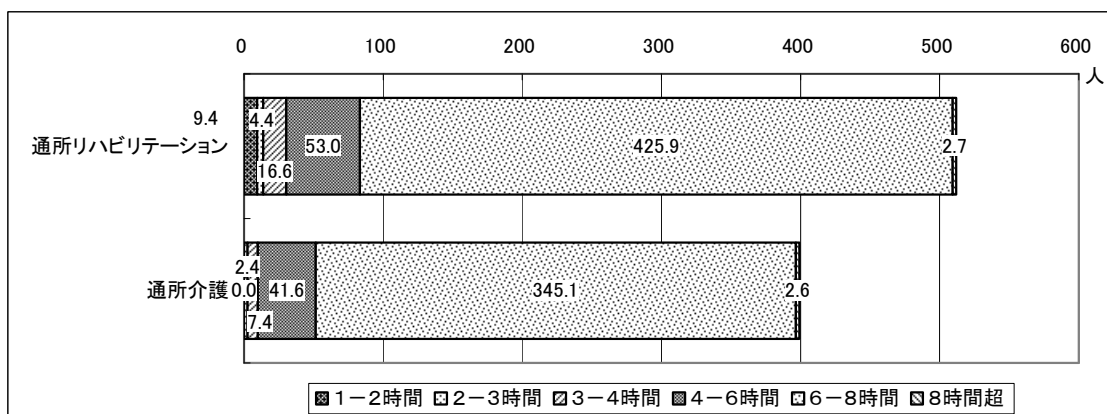
		1－2時間	2－3時間	3－4時間	4－6時間	6－8時間	8時間超
通所リハビリテーション	事業所数	1,031					
	平均利用者数 (実人数) (人)	1.3	0.8	2.8	8.0	55.5	0.3
通所介護	事業所数	400					
	平均利用者数 (実人数) (人)	-	0.5	1.4	7.6	49.7	0.4



平成23年6月中の1事業所あたりの延べ利用者数は通所リハビリテーションが512.0人、通所介護が399.1人であった。サービス提供時間区分別の実施事業所1事業所あたり延べ利用者数は、通所リハビリテーションでは6-8時間が最も多く425.9人、通所介護でも6-8時間が最も多く、345.1人であった。

図表 15 時間別利用者数（延べ利用者数）

		1-2時間	2-3時間	3-4時間	4-6時間	6-8時間	8時間超
通所リハビリテーション	事業所数	1,031					
	平均利用者数 (延べ人数) (人)	9.4	4.4	16.6	53.0	425.9	2.7
通所介護	事業所数	400					
	平均利用者数 (延べ人数) (人)	-	2.4	7.4	41.6	345.1	2.6

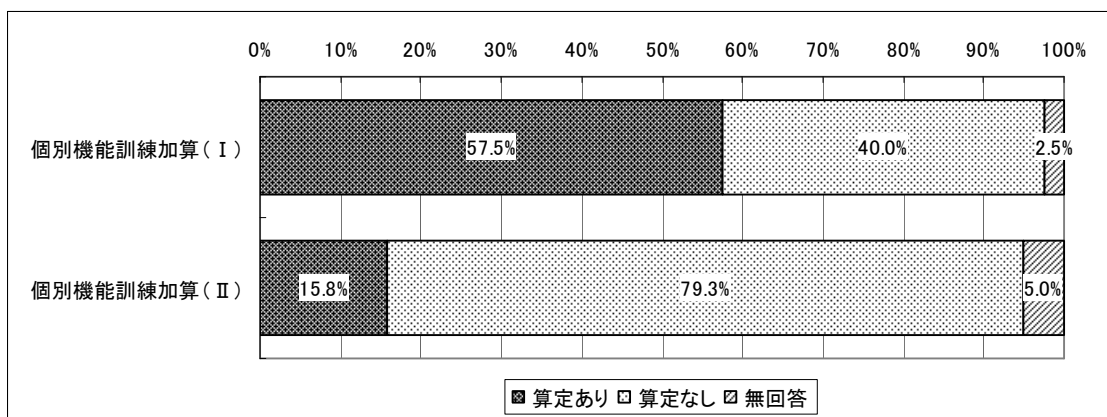


(オ) 加算の算定状況

平成 23 年 6 月中の通所介護事業所における個別機能訓練加算の算定状況は、個別機能訓練加算（Ⅰ）を算定している事業所が 57.5%、個別機能訓練加算（Ⅱ）を算定している事業所が 15.8%であった。

図表 16 個別機能訓練加算（Ⅰ）、個別機能訓練加算（Ⅱ）の算定の有無  
（通所介護事業所のみ）

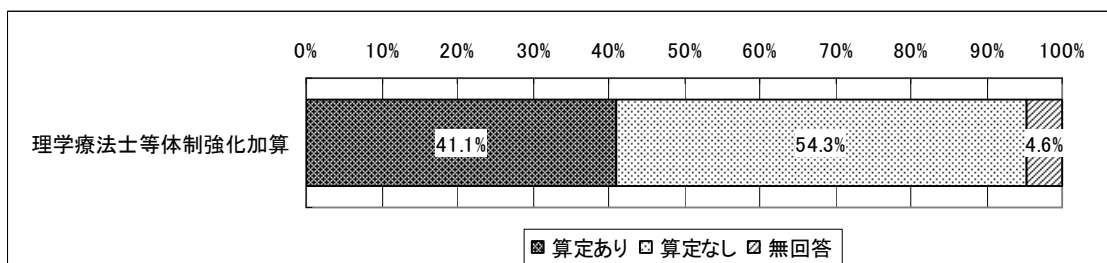
	事業所数	算定あり	算定なし	無回答
個別機能訓練加算（Ⅰ）	400	230	160	10
	100.0%	57.5%	40.0%	2.5%
個別機能訓練加算（Ⅱ）	400	63	317	20
	100.0%	15.8%	79.3%	5.0%



平成 23 年 6 月中に 1 - 2 時間のサービスを提供した通所リハビリテーション事業所における理学療法士等体制強化加算の算定状況は、算定している事業所が 41.1%であった。

図表 17 理学療法士等体制強化加算の算定の有無（通所リハビリテーション事業所のみ）

	事業所数	算定あり	算定なし	無回答
理学療法士等体制強化加算	219	90	119	10
	100.0%	41.1%	54.3%	4.6%



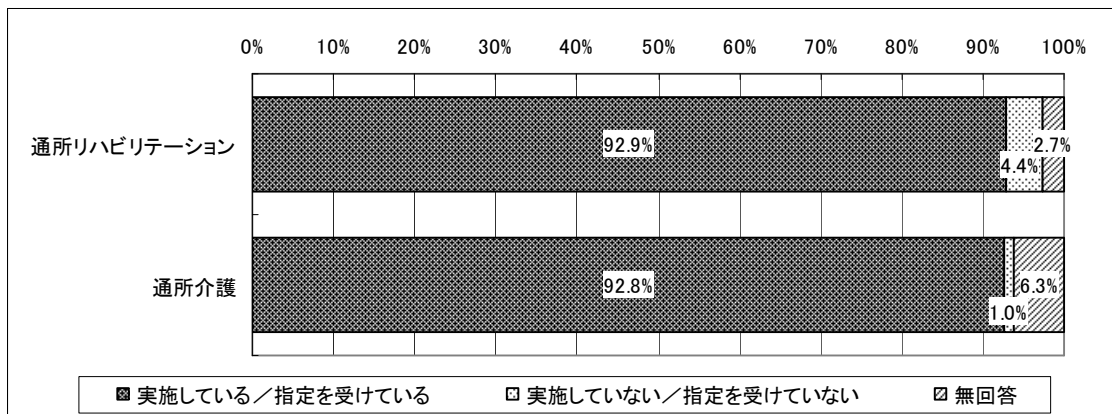
(2) 介護予防サービスに関する基本情報

(ア) 介護予防実施・指定の有無の状況

通所リハビリテーション事業所のうち、介護予防通所リハビリテーション事業所の指定を受けている事業所は 92.9%、通所介護事業所のうち、介護予防通所介護事業所の指定を受けている事業所は 92.8%であった。

図表 18 介護予防実施・指定の有無

	事業所数	実施している／指定を受けている	実施していない／指定を受けていない	無回答
通所リハビリテーション	1,031	958	45	28
	100.0%	92.9%	4.4%	2.7%
通所介護	400	371	4	25
	100.0%	92.8%	1.0%	6.3%



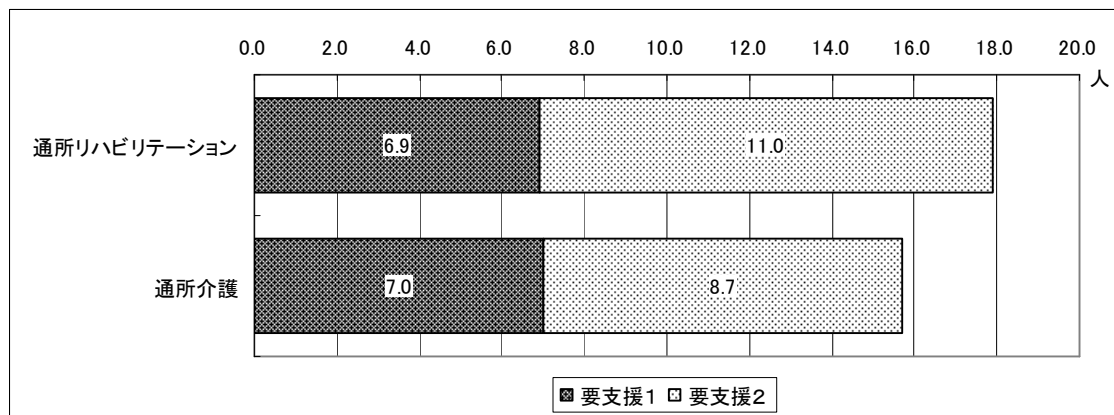


(イ) 要支援の登録者数の状況

平成23年7月1日時点の1事業所あたりの登録者数は介護予防通所リハビリテーションが17.9人、通所介護が15.7人であった。

図表 19 要支援別登録者数

		要支援1	要支援2
通所リハビリテーション	事業所数	1,031	
	平均登録者数 (人)	6.9	11.0
通所介護	事業所数	400	
	平均登録者数 (人)	7.0	8.7

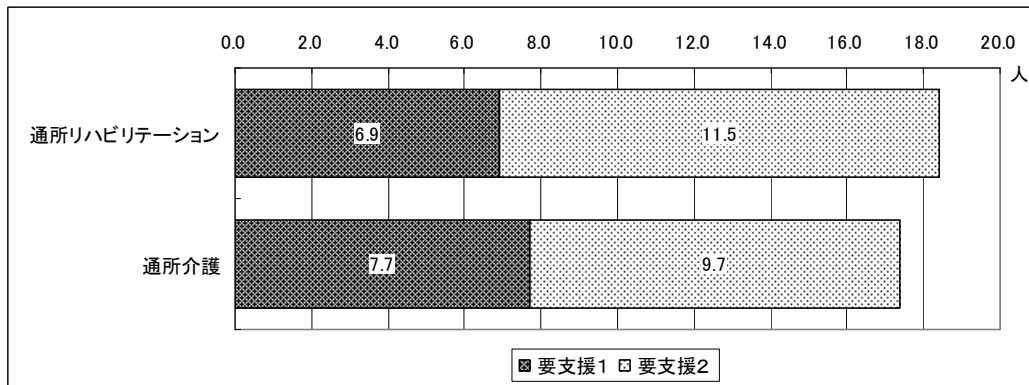


(ウ) 要支援の利用者数の状況

平成 23 年 6 月中の 1 事業所あたりの実利用者数は介護予防通所リハビリテーションが 18.4 人、通所介護が 17.4 人であった。

図表 20 要支援別利用者数（実利用者数）

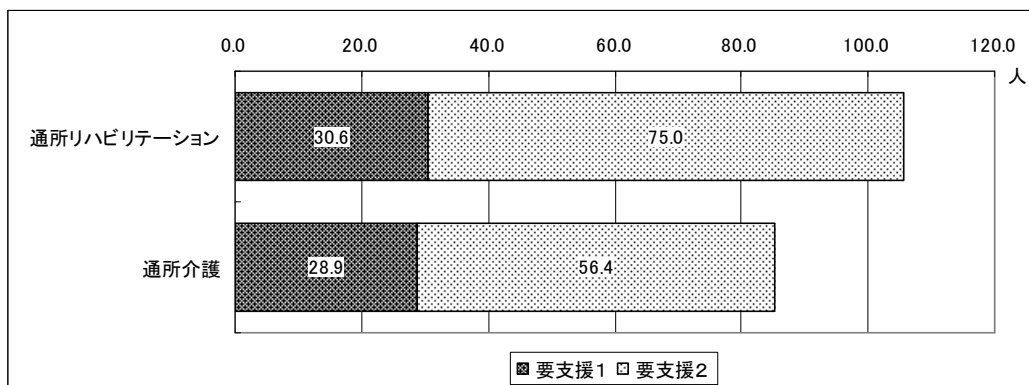
		要支援 1	要支援 2
通所リハビリテーション	事業所数	1,031	
	平均利用者数 (実人数) (人)	6.9	11.5
通所介護	事業所数	400	
	平均利用者数 (実人数) (人)	7.7	9.7



平成 23 年 6 月中の 1 事業所あたりの延べ利用者数は介護予防通所リハビリテーションが 105.5 人、通所介護が 85.4 人であった。

図表 21 要支援別利用者数（延べ利用者数）

		要支援 1	要支援 2
通所リハビリテーション	事業所数	1,031	
	平均利用者数 (延べ人数) (人)	30.6	75.0
通所介護	事業所数	400	
	平均利用者数 (延べ人数) (人)	28.9	56.4

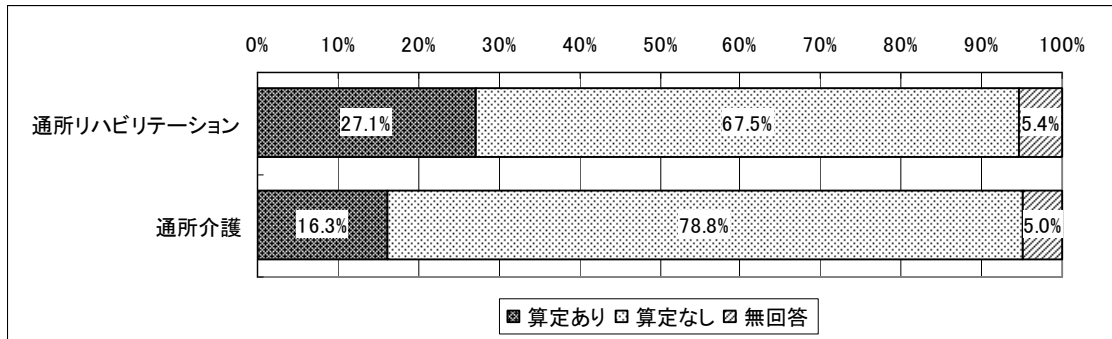


(エ) 事業所評価加算の算定状況

平成 23 年 6 月中の事業所評価加算の算定状況は、介護予防通所リハビリテーション事業所では算定している事業所が 27.1%、介護予防通所介護事業所では算定している事業所が 16.3%であった。

図表 22 事業所評価加算の算定状況

	事業所数	算定あり	算定なし	無回答
通所リハビリテーション	1,031	279	696	56
	100.0%	27.1%	67.5%	5.4%
通所介護	400	65	315	20
	100.0%	16.3%	78.8%	5.0%



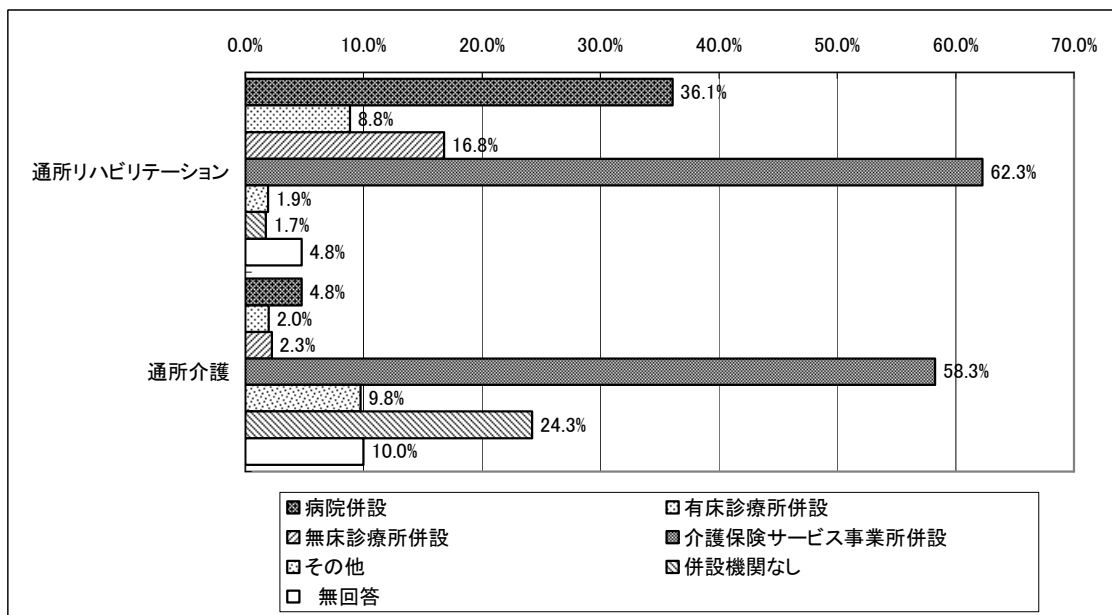
### (3) 併設施設について

#### (ア) 併設施設の種類

平成23年7月1日時点で併設している施設は、通所リハビリテーションでは介護保険サービス事業所が62.3%と最も多く、次いで、病院が36.1%であった。通所介護では、介護保険サービス事業所が58.3%と最も多く、次いで、併設機関なしが24.3%であった。

図表 23 併設施設の状況

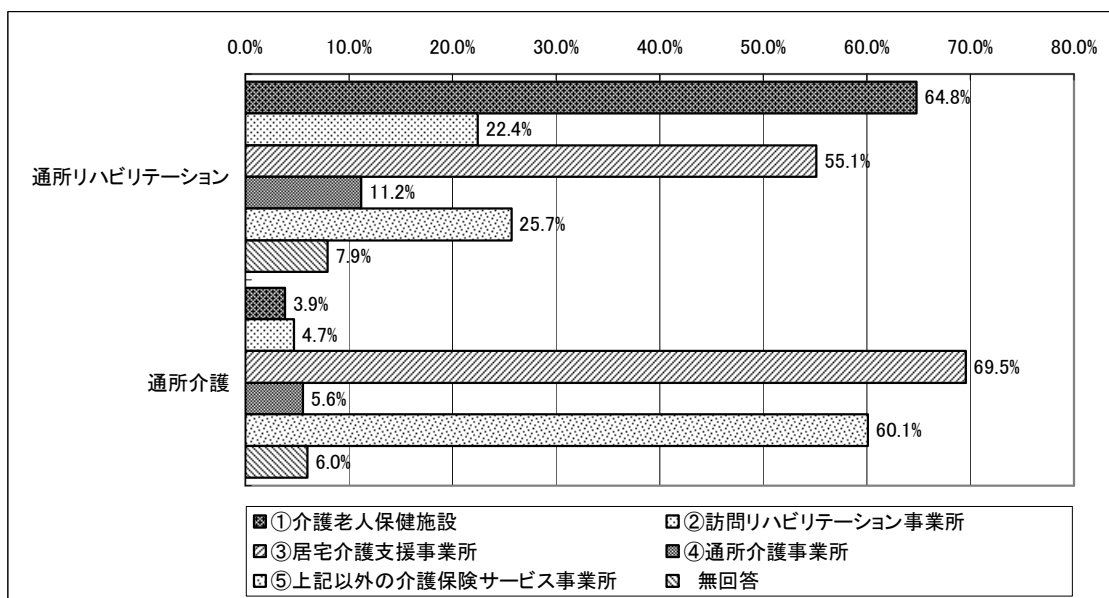
	事業所数	病院併設	有床診療所併設	無床診療所併設	介護保険サービス事業所併設	その他	併設機関なし	無回答
通所リハビリテーション	1,031	372	91	173	642	20	18	49
	100.0%	36.1%	8.8%	16.8%	62.3%	1.9%	1.7%	4.8%
通所介護	400	19	8	9	233	39	97	40
	100.0%	4.8%	2.0%	2.3%	58.3%	9.8%	24.3%	10.0%



併設している介護保険サービス事業所の種類では、通所リハビリテーションでは介護老人保健施設が 64.8%と最も多く、次いで、居宅介護支援事業所が 55.1%であった。通所介護では、居宅介護支援事業所が 69.5%と最も多く、次いで、その他のサービス事業所が 60.1%であった。

図表 24 サービス提供を行っている併設事業所

	事業所数	①介護老人保健施設	②訪問リハビリテーション事業所	③居宅介護支援事業所	④通所介護事業所	⑤上記以外の介護保険サービス事業所	無回答
通所リハビリテーション	642	416	144	354	72	165	51
	100.0%	64.8%	22.4%	55.1%	11.2%	25.7%	7.9%
通所介護	233	9	11	162	13	140	14
	100.0%	3.9%	4.7%	69.5%	5.6%	60.1%	6.0%

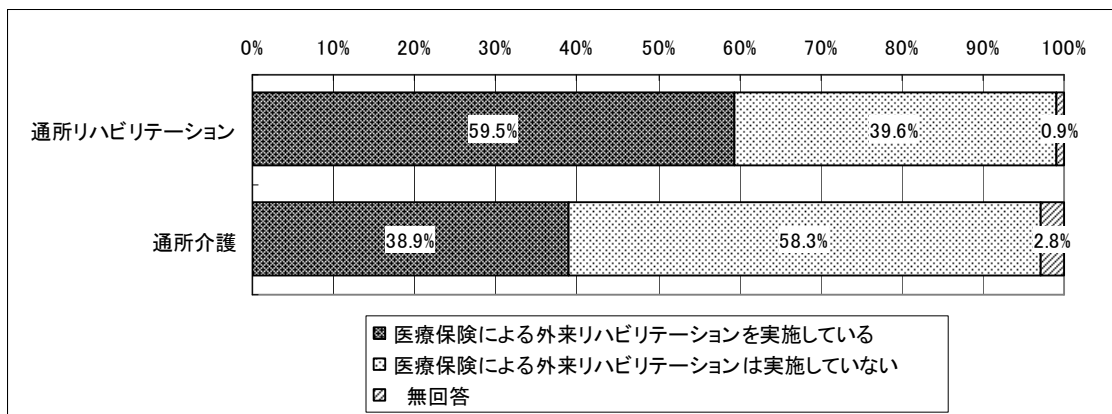


(イ) 医療保険による外来リハビリの実施状況

病院又は診療所を併設している事業所のうち、医療保険による外来リハビリテーションを実施している事業所は、通所リハビリテーション事業所では 59.5%、通所介護事業所では 38.9%であった。

図表 25 医療保険による外来リハビリの実施状況

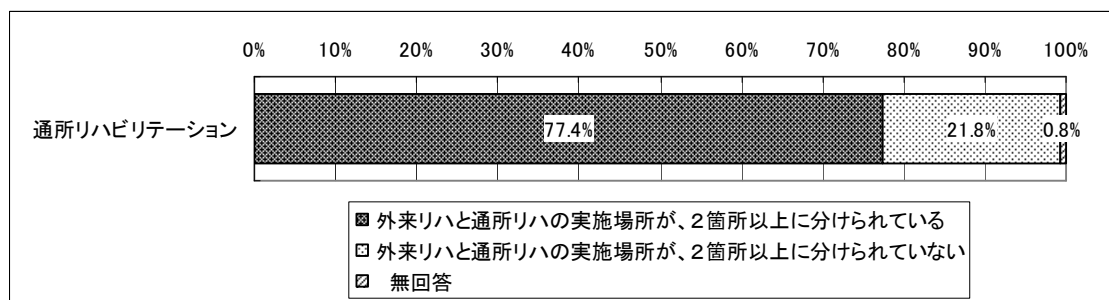
	事業所数	医療保険による外来リハビリテーションを実施している	医療保険による外来リハビリテーションは実施していない	無回答
通所リハビリテーション	632	376	250	6
	100.0%	59.5%	39.6%	0.9%
通所介護	36	14	21	1
	100.0%	38.9%	58.3%	2.8%



医療保険による外来リハビリテーションを実施している通所リハビリテーション事業所のうち、外来リハビリテーションと通所リハビリテーションの実施場所が 2 箇所以上に分けられている事業所は 77.4%であった。

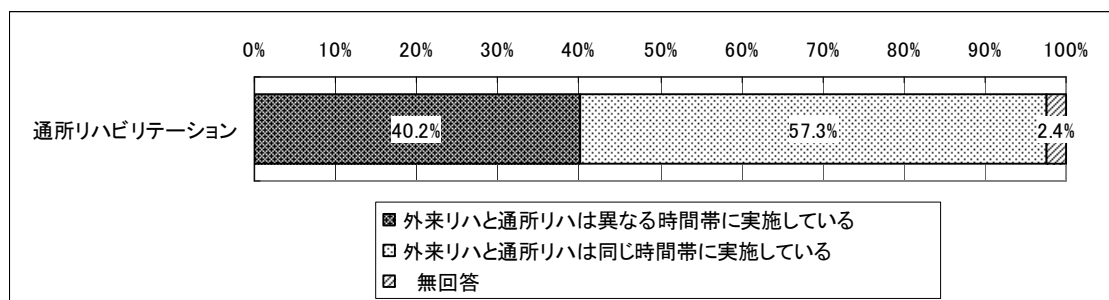
図表 26 外来リハビリ実施箇所

	事業所数	ら2ハ外 れ箇の来 て所実 い以施ハ る上場と に所通 分が所 けリ	ら2ハ外 れ箇の来 て所実 い以施ハ な上場と いに所通 分が所 けリ	無 回 答
通所リハビリテーション	376	291	82	3
	100.0%	77.4%	21.8%	0.8%



また、外来リハビリテーションと通所リハビリテーションの実施場所が 2 箇所以上に分けられていない事業所のうち、外来リハビリテーションと通所リハビリテーションを異なる時間帯に実施している事業所は 40.2%であった。

	事業所数	にハ外 実ハ来 施異リ しなハ てると い時通 る間所 帯リ	実ハ外 施ハ来 し同リ てじハ い時と る間通 帯所 にリ	無 回 答
通所リハビリテーション	82	33	47	2
	100.0%	40.2%	57.3%	2.4%



#### (4) 送迎の実施状況

平成23年7月1日時点の送迎の実施状況は次の通りであった。通所リハビリテーション、通所介護のいずれでも多くの事業所が実施している 6・8 時間のサービスにおいてはほぼ全ての事業所が送迎を行っているが、短時間のサービスでは送迎を行っていない事業所の割合が高くなっており、通所リハビリテーションの 1・2 時間のサービスでは送迎を行っている事業所は 57.5%であった。<sup>1</sup>

図表 27 送迎の実施状況

		調査数	送迎を 行っている	送迎を行 っていない	無回答
通所リハビリテーション	1 - 2 時間	219	126	77	16
		100.0%	57.5%	35.2%	7.3%
	2 - 3 時間	231	146	55	30
		100.0%	63.2%	23.8%	13.0%
	3 - 4 時間	387	266	71	50
		100.0%	68.7%	18.3%	12.9%
通所介護	4 - 6 時間	582	455	62	65
		100.0%	78.2%	10.7%	11.2%
	6 - 8 時間	936	926	3	7
		100.0%	98.9%	0.3%	0.7%
	8 時間超	71	38	18	15
		100.0%	53.5%	25.4%	21.1%
通所介護	2 - 3 時間	72	54	6	12
		100.0%	75.0%	8.3%	16.7%
	3 - 4 時間	115	89	13	13
		100.0%	77.4%	11.3%	11.3%
	4 - 6 時間	215	173	16	26
	100.0%	80.5%	7.4%	12.1%	
通所介護	6 - 8 時間	371	367	1	3
		100.0%	98.9%	0.3%	0.8%
	8 時間超	40	26	4	10
	100.0%	65.0%	10.0%	25.0%	

<sup>1</sup> 調査票における設問 I (1)登録者数、(2)利用者定員数、(3)時間別開催日数、(4)時間別利用者数のいずれかに記入のあった事業所を各時間区分の実施事業所として集計している。



(5) 職員体制について

(ア) 1事業所あたりリハビリテーション専門職常勤換算人数

平成23年7月1日時点の1事業所あたりのリハビリテーション専門職の常勤換算人員は通所リハビリテーション事業所で1.8人、通所介護事業所では0.3人であった。

リハビリテーション専門職の職種は、通所リハビリテーション事業所では理学療法士が、通所介護事業所では柔道整復士・あん摩マッサージ指圧師が多くなっている。

図表 28 職員体制

		常勤職員 (人)		非常勤職員 (人)		合計 (人)	
		実人員	常勤換算	実人員	常勤換算	実人員	常勤換算
通所リハビリテーション	理学療法士	1.8	0.9	0.4	0.1	2.2	1.0
	うち専従	0.5	-	0.2	-	0.7	-
	作業療法士	1.1	0.5	0.2	0.1	1.3	0.6
	うち専従	0.3	-	0.1	-	0.4	-
	言語聴覚士	0.3	0.1	0.1	0.0	0.3	0.1
	うち専従	0.0	-	0.0	-	0.0	-
	合計	3.2	1.6	0.7	0.2	3.8	1.8
	うち専従	0.9	-	0.3	-	1.2	-
通所介護	理学療法士	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1
	うち専従	0.0	-	0.0	-	0.1	-
	作業療法士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
	うち専従	0.0	-	0.0	-	0.0	-
	言語聴覚士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	うち専従	0.0	-	0.0	-	0.0	-
	柔道整復士・あん摩マッサージ指圧師	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.1
うち専従	0.0	-	0.0	-	0.1	-	
	機能訓練指導員合計	0.3	0.2	0.3	0.1	0.5	0.3

(イ) 1事業所当たり看護職員常勤換算人数

平成23年7月1日時点の1事業所あたりの看護職の常勤換算人員は通所リハビリテーション事業所で1.0人、通所介護事業所では1.2人であった。

図表 29 看護職員数

		常勤職員 (人)		非常勤職員 (人)		合計 (人)	
		実人員	常勤換算	実人員	常勤換算	実人員	常勤換算
通所リハビリテーション	看護師	0.6	0.4	0.3	0.1	0.9	0.6
	准看護師	0.5	0.3	0.2	0.1	0.7	0.4
	合計	1.1	0.7	0.6	0.3	1.6	1.0
通所介護	看護師	0.4	0.3	0.7	0.3	1.1	0.5
	准看護師	0.6	0.4	0.7	0.3	1.2	0.7
	合計	1.0	0.7	1.4	0.5	2.3	1.2

(ウ) 1事業所当たりのその他の職員の配置状況

平成23年7月1日時点の1事業所あたりの介護職員の常勤換算人員は通所リハビリテーション事業所で5.9人、通所介護事業所では4.7人であった。また、通所介護事業所では生活相談員が常勤換算人員で1.2人配置されていた。

ソーシャル・ワーカーの配置は、実人員で通所リハビリテーション事業所0.5人、通所介護事業所0.1人であった。

図表 30 その他職員数

		常勤職員(人)		非常勤職員(人)		合計(人)	
		実人員	常勤換算	実人員	常勤換算	実人員	常勤換算
通所リハビリテーション	介護職員	5.7	4.4	2.3	1.4	8.0	5.9
	ソーシャル・ワーカー	0.5	-	0.0	-	0.5	-
	健康運動指導士	0.0	-	0.0	-	0.0	-
	合計	6.2	-	2.4	-	8.6	-
通所介護	介護職員	3.9	3.0	3.6	1.7	7.5	4.7
	生活相談員	1.7	1.1	0.3	0.1	2.0	1.2
	ソーシャル・ワーカー	0.1	-	0.0	-	0.1	-
	健康運動指導士	0.0	-	0.0	-	0.0	-
	合計	5.7	-	3.9	-	9.5	-

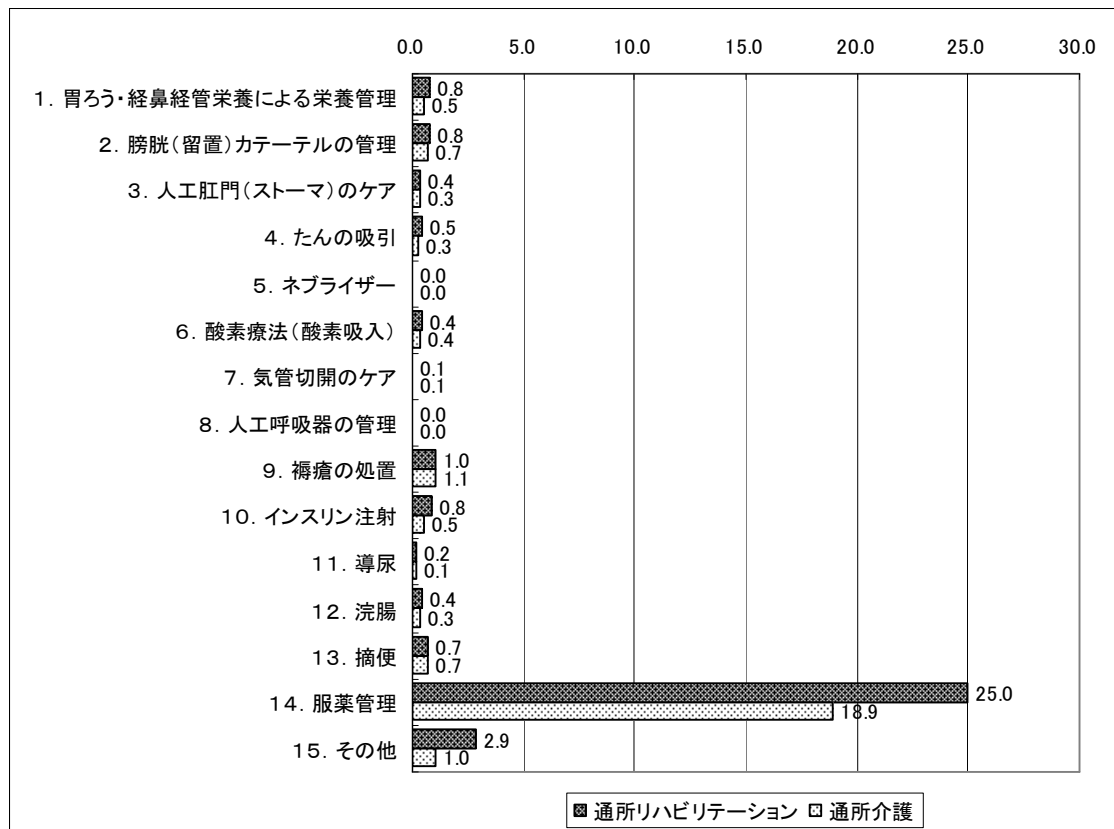
(6) 利用者の状況について

(ア) 医療的ケアの状況

平成23年7月1日時点の登録者のうち、医療的ケアが必要な者の状況は、通所リハビリテーション事業所、通所介護事業所のいずれにおいても、服薬管理を必要とする者が最も多く、通所リハビリテーション事業所では25.0人、通所介護事業所では18.9人であった。次いで、褥瘡の処置を必要とする者が通所リハビリテーション事業所では0.4人、通所介護事業所では0.3人であった。

図表 31 医療的ケアの状況

		1. 胃ろう・経鼻経管栄養による栄養管理	2. 膀胱(留置)カテーテルの管理	3. 人工肛門(ストーマ)のケア	4. たんの吸引	5. ネブライザー	6. 酸素療法(酸素吸入)	7. 気管切開のケア	8. 人工呼吸器の管理	9. 褥瘡の処置	10. インスリン注射	11. 導尿	12. 浣腸	13. 排便	14. 服薬管理	15. その他
通所リハビリテーション	事業所数	1,031														
	平均必要人数(人)	0.8	0.8	0.4	0.5	0.0	0.4	0.1	0.0	1.0	0.8	0.2	0.4	0.7	25.0	2.9
通所介護	事業所数	400														
	平均必要人数(人)	0.5	0.7	0.3	0.3	0.0	0.4	0.1	0.0	1.1	0.5	0.1	0.3	0.7	18.9	1.0

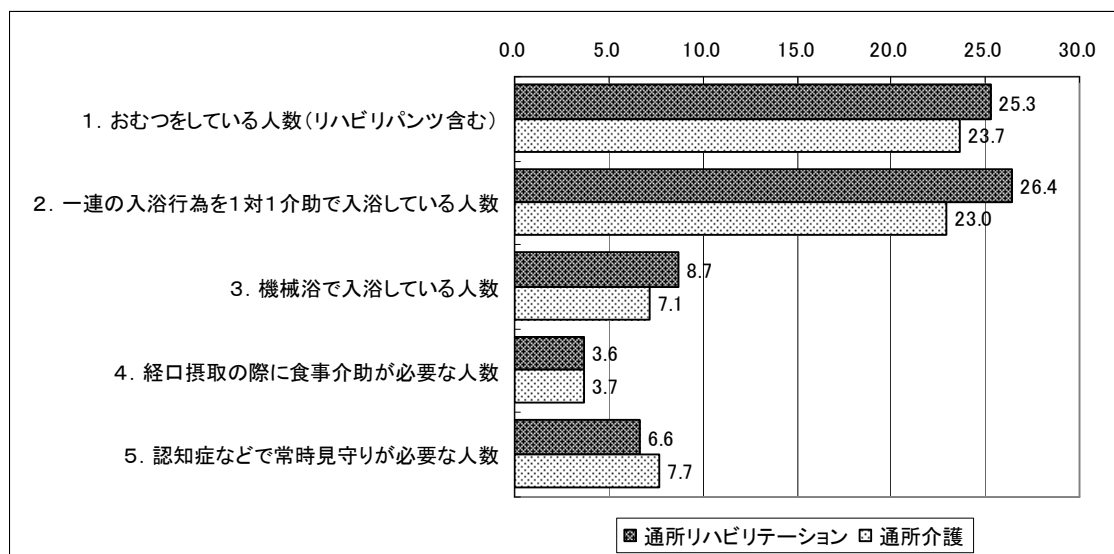


(イ) その他のケアの状況

平成23年7月1日時点の登録者のうち、通所リハビリテーション事業所、通所介護事業所のいずれにおいても、オムツをしている者が最も多く、通所リハビリテーション事業所では25.3人、通所介護事業所では23.7人であった。次いで、一連の入浴行為を1対1介助で入浴している者が通所リハビリテーション事業所では26.4人、通所介護事業所では23.0人であった。

図表 32 その他のケアの状況

		1. おむつをしている人数(リハビリパンツ含む)	2. 一連の入浴行為を1対1介助で入浴している人数	3. 機械浴で入浴している人数	4. 経口摂取の際に食事介助が必要な人数	5. 認知症などで常時見守りが必要な人数
通所リハビリテーション	事業所数	1,031				
	平均必要人数(人)	25.3	26.4	8.7	3.6	6.6
通所介護	事業所数	400				
	平均必要人数(人)	23.7	23.0	7.1	3.7	7.7



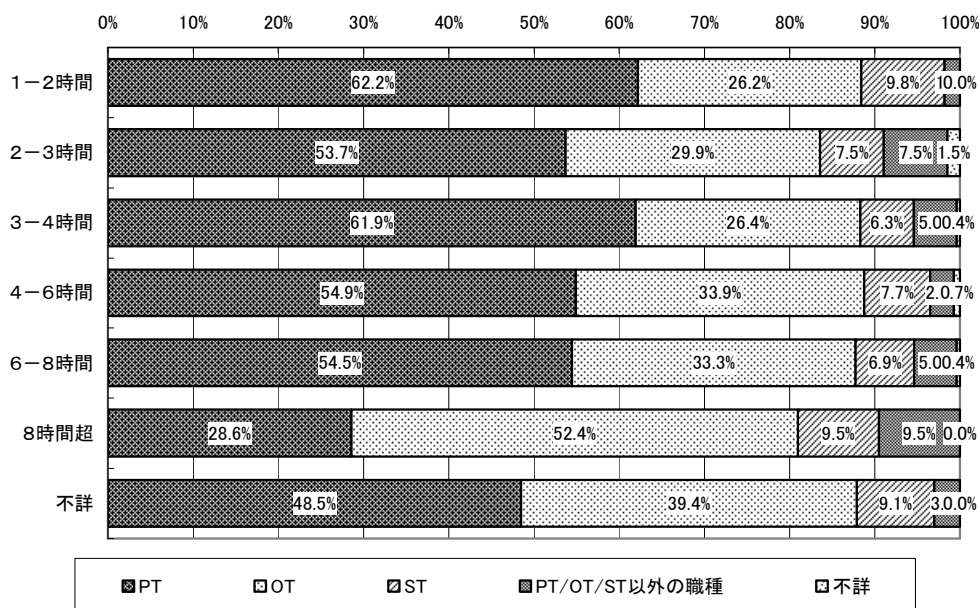
### 3. リハビリテーション専門職の基本情報

#### (1) 職種の状況

平成23年7月21日に勤務した通所リハビリテーション事業所におけるリハビリテーション専門職の職種は、全体では理学療法士が55.0%と最も多く、次いで作業療法士が32.8%であった。8時間超のサービス提供時間区分以外では、理学療法士が最も多く、次いで作業療法士が多い傾向は変わらない。

図表 33 サービス提供時間別リハビリ専門職の職種（通所リハビリテーション）

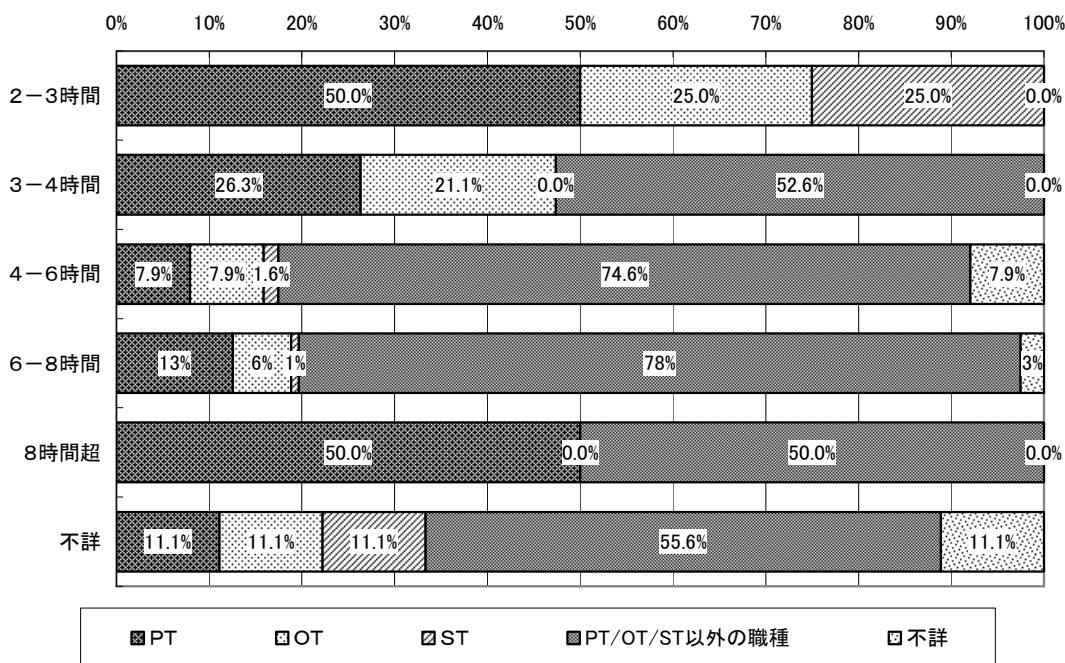
通所リハビリテーション						
サービス提供時間区分	リハビリテーション専門職の職種					
	PT	OT	ST	PT/OT/ST以外の職種	不詳	合計
1-2時間	102	43	16	3	0	164
	62.2%	26.2%	9.8%	1.8%	0.0%	100.0%
2-3時間	36	20	5	5	1	67
	53.7%	29.9%	7.5%	7.5%	1.5%	100.0%
3-4時間	148	63	15	12	1	239
	61.9%	26.4%	6.3%	5.0%	0.4%	100.0%
4-6時間	235	145	33	12	3	428
	54.9%	33.9%	7.7%	2.8%	0.7%	100.0%
6-8時間	1,649	1,008	208	151	12	3,028
	54.5%	33.3%	6.9%	5.0%	0.4%	100.0%
8時間超	6	11	2	2	0	21
	28.6%	52.4%	9.5%	9.5%	0.0%	100.0%
不詳	48	39	9	3	0	99
	48.5%	39.4%	9.1%	3.0%	0.0%	100.0%
合計	2,224	1,329	288	188	17	4,046
	55.0%	32.8%	7.1%	4.6%	0.4%	100.0%



平成 23 年 7 月 21 日に勤務した通所介護事業所における機能訓練指導員の職種は、全体では理学療法士、作業療法士、言語聴覚士以外の職種が 74.1%と最も多かった。

図表 34 サービス提供時間別機能訓練指導員の職種（通所介護）

通所介護						
サービス提供時間	機能訓練指導員の職種					合計
	PT	OT	ST	PT/OT/ST 以外の職種	不詳	
2-3時間	2	1	1	0	0	4
	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
3-4時間	5	4	0	10	0	19
	26.3%	21.1%	0.0%	52.6%	0.0%	100.0%
4-6時間	5	5	1	47	5	63
	7.9%	7.9%	1.6%	74.6%	7.9%	100.0%
6-8時間	30	15	2	186	6	239
	13%	6%	1%	78%	3%	100%
8時間超	1	0	0	1	0	2
	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%
不詳	1	1	1	5	1	9
	11.1%	11.1%	11.1%	55.6%	11.1%	100.0%
合計	44	26	5	249	12	336
	13.1%	7.7%	1.5%	74.1%	3.6%	100.0%

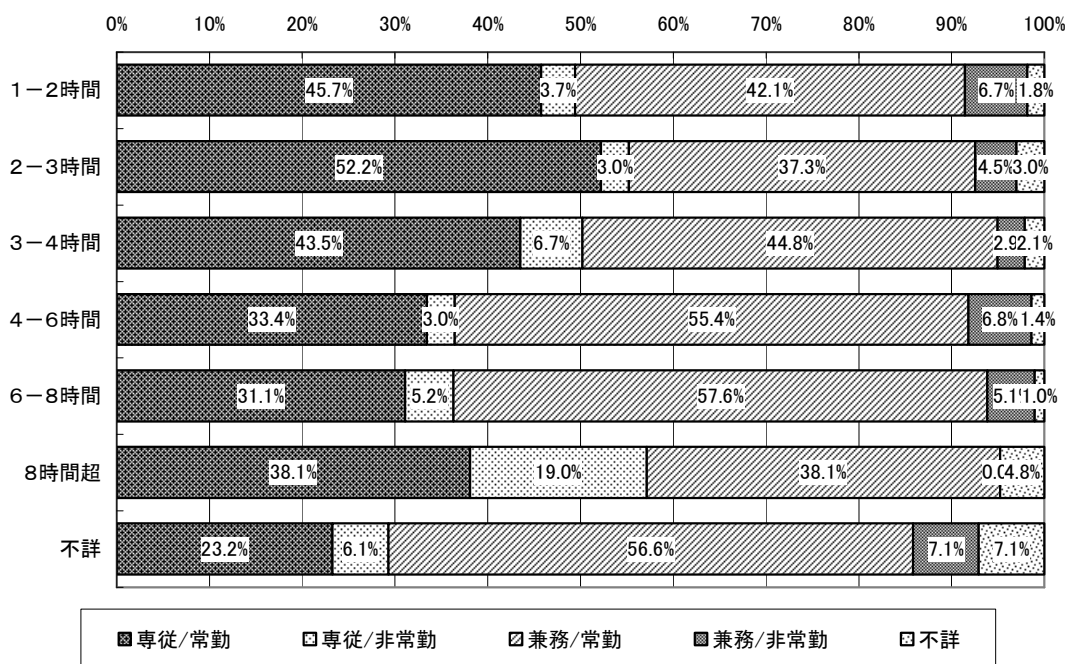


(2) 勤務形態の状況

平成23年7月21日に勤務した通所リハビリテーション事業所におけるリハビリテーション専門職の勤務形態は、全体では常勤・兼務が55.5%と最も多く、次いで常勤・専従が32.8%であった。1-2時間のサービス提供時間区分では、常勤・専従が45.7%を占めており、短時間のサービスでは常勤・専従の割合が高まる傾向が見られる。

図表 35 サービス提供時間別リハビリ専門職の勤務形態（通所リハビリテーション）

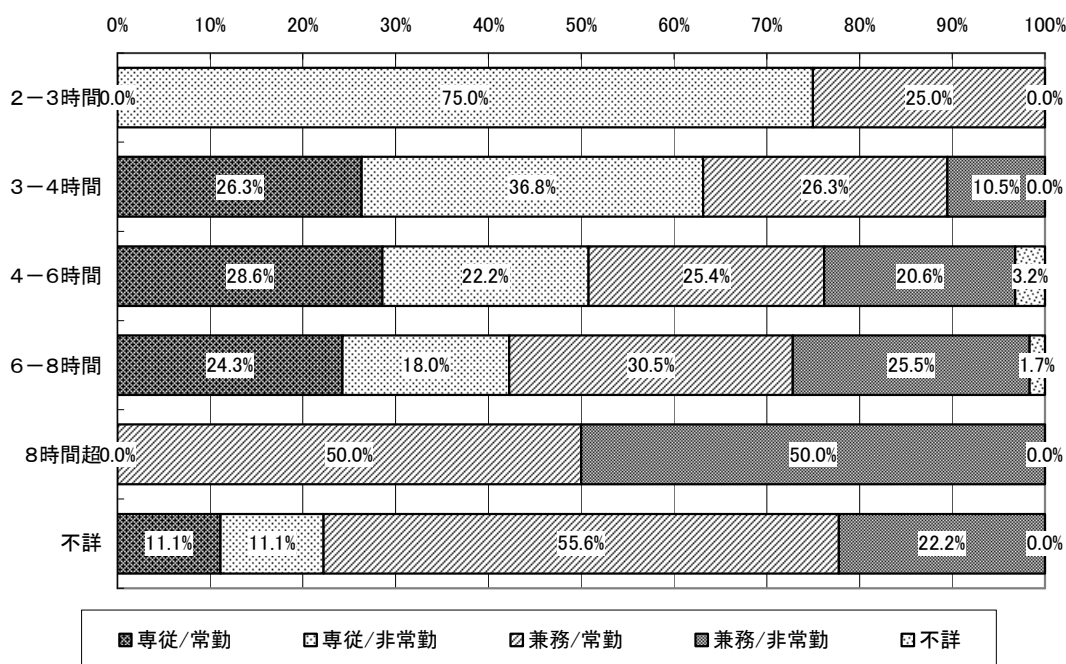
通所リハビリテーション							
サービス提供時間	勤務形態					不詳	合計
	専従		兼務				
	常勤	非常勤	常勤	非常勤			
1-2時間	75	6	69	11	3	164	
	45.7%	3.7%	42.1%	6.7%	1.8%	100.0%	
2-3時間	35	2	25	3	2	67	
	52.2%	3.0%	37.3%	4.5%	3.0%	100.0%	
3-4時間	104	16	107	7	5	239	
	43.5%	6.7%	44.8%	2.9%	2.1%	100.0%	
4-6時間	143	13	237	29	6	428	
	33.4%	3.0%	55.4%	6.8%	1.4%	100.0%	
6-8時間	941	158	1,743	155	31	3,028	
	31.1%	5.2%	57.6%	5.1%	1.0%	100.0%	
8時間超	8	4	8	0	1	21	
	38.1%	19.0%	38.1%	0.0%	4.8%	100.0%	
不詳	23	6	56	7	7	99	
	23.2%	6.1%	56.6%	7.1%	7.1%	100.0%	
合計	1,329	205	2,245	212	55	4,046	
	32.8%	5.1%	55.5%	5.2%	1.4%	100.0%	



平成 23 年 7 月 21 日に勤務した通所介護事業所における機能訓練指導員の勤務形態は、全体では常勤・兼務が 30.1%と最も多く、次いで常勤・専従が 24.4%であった。

図表 36 サービス提供時間別機能訓練指導員の勤務形態

通所介護						
サービス提供時間	勤務形態				不詳	合計
	専従		兼務			
	常勤	非常勤	常勤	非常勤		
2-3時間	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
3-4時間	5 26.3%	7 36.8%	5 26.3%	2 10.5%	0 0.0%	19 100.0%
4-6時間	18 28.6%	14 22.2%	16 25.4%	13 20.6%	2 3.2%	63 100.0%
6-8時間	58 24.3%	43 18.0%	73 30.5%	61 25.5%	4 1.7%	239 100.0%
8時間超	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
不詳	1 11.1%	1 11.1%	5 55.6%	2 22.2%	0 0.0%	9 100.0%
合計	82 24.4%	68 20.2%	101 30.1%	79 23.5%	6 1.8%	336 100.0%



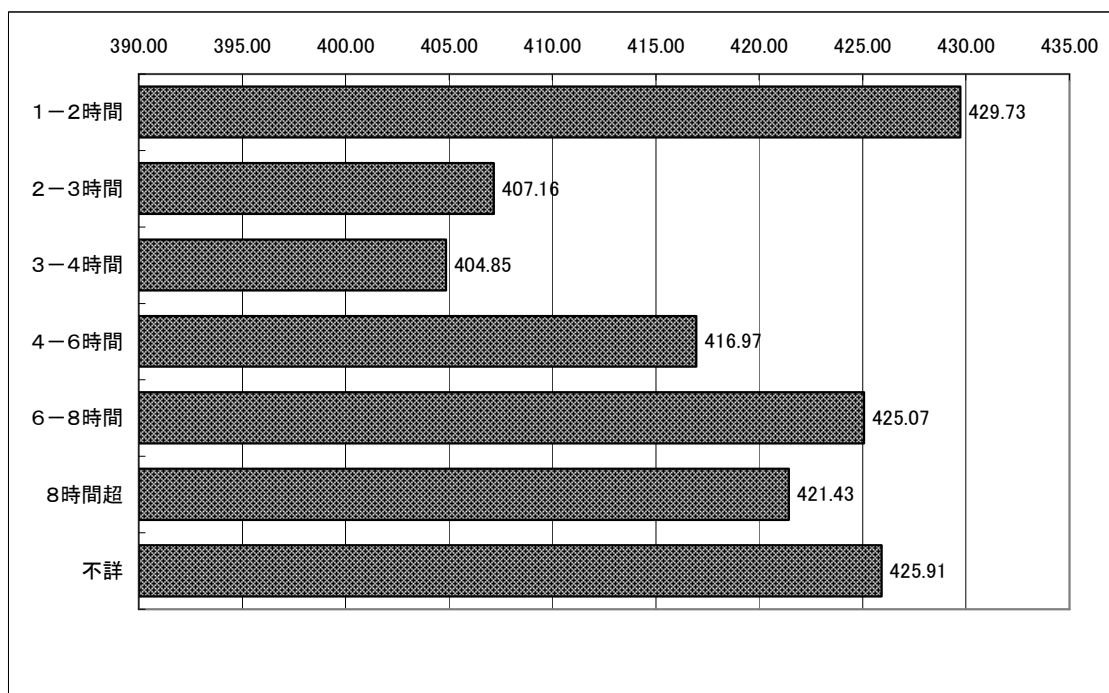


(3) 所定勤務時間の状況

平成23年7月21日に勤務した通所リハビリテーション事業所におけるリハビリテーション専門職の所定勤務時間は、全体では422.91分(7.04時間)であった。

図表 37 リハビリ専門職の所定勤務時間の状況(通所リハビリテーション)

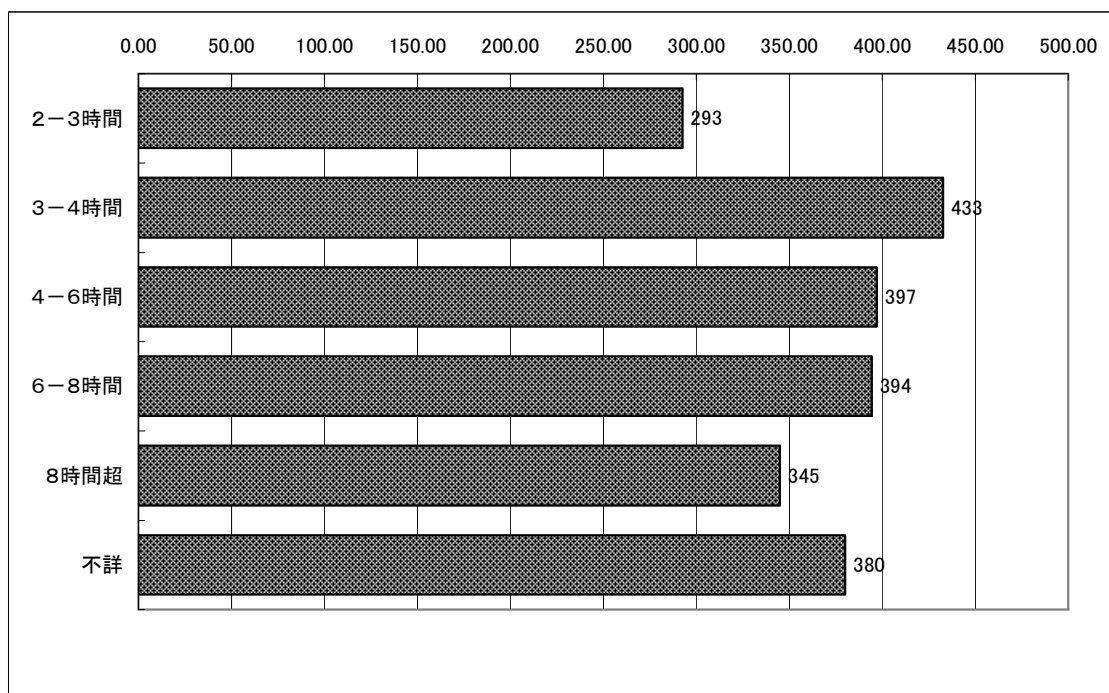
通所リハビリテーション		
サービス提供時間	人数	一人当たりの所定勤務時間(分)
1-2時間	164	429.73
2-3時間	67	407.16
3-4時間	239	404.85
4-6時間	428	416.97
6-8時間	3,028	425.07
8時間超	21	421.43
不詳	99	425.91
合計	4,046	422.91



平成 23 年 7 月 21 日に勤務した通所介護事業所における機能訓練指導員の所定勤務時間は、全体では 395.06 分（6.58 時間）であった。

図表 38 機能訓練指導員の所定勤務時間の状況（通所介護）

通所介護		
サービス提供時間	人数	一人当たりの所定勤務時間(分)
2-3時間	4	292.50
3-4時間	19	432.63
4-6時間	63	396.90
6-8時間	239	394.29
8時間超	2	345.00
不詳	9	380.00
合計	336	395.06

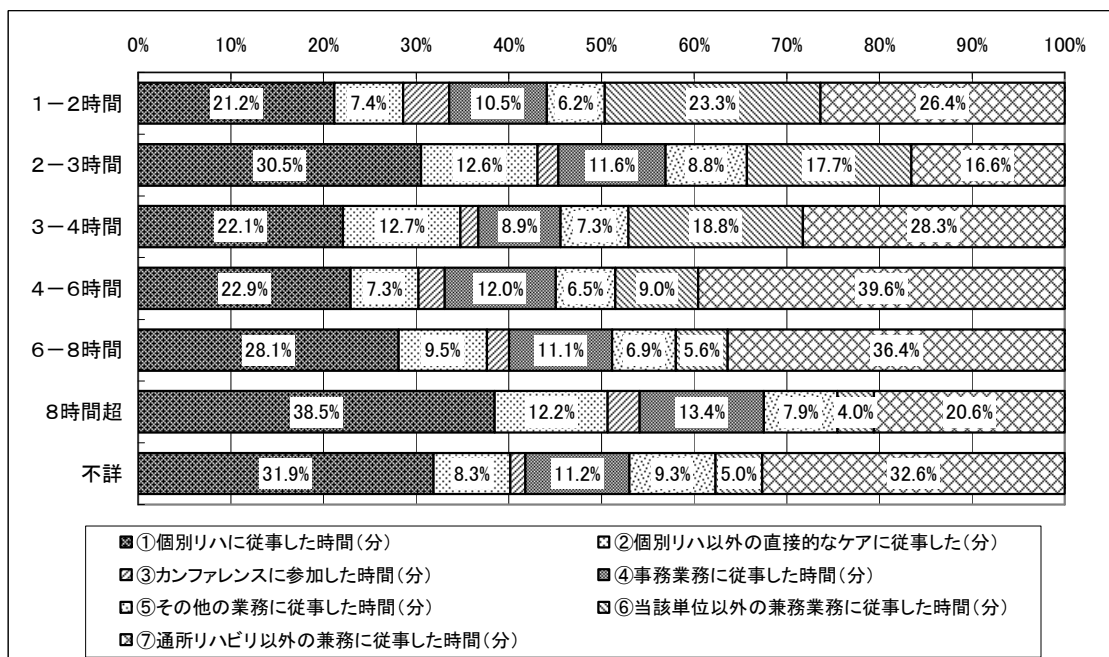


(4) 利用者に対して実施したケアの状況

平成23年7月21日に勤務した通所リハビリテーション事業所におけるリハビリテーション専門職が利用者に対して実施したケアの状況は、全体では個別リハビリテーションが27.1%、個別リハビリテーション以外の直接的なケアが9.4%であった。また、通所リハビリテーション以外の兼務に従事した時間は35.4%であった。サービス提供時間区分別に見ても、傾向は変わらない。

図表 39 時間区分別リハビリ専門職が利用者を実施したケア

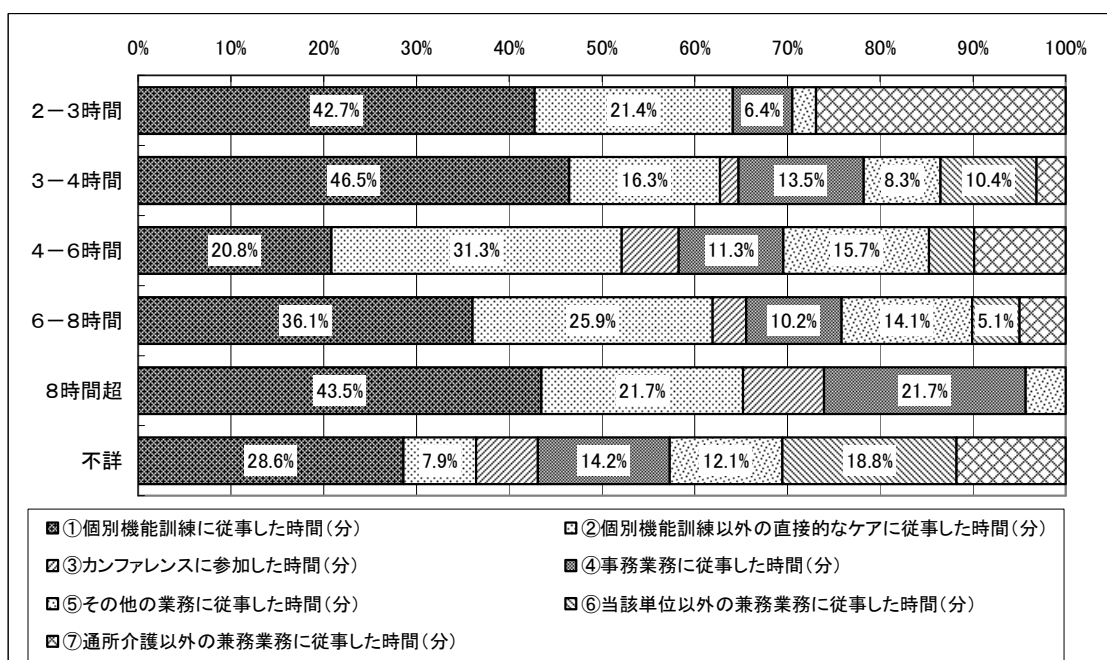
通所リハビリテーション									
サービス提供時間	人数	直接的なケア(平均)		直接的なケア以外の業務(平均)					合計
		①個別リハに 従事した 時間(分)	②個別リハ 以外の直接 的なケアに 従事した 時間(分)	③カンファ レンスに参 加した時間 (分)	④事務業務 に従事した 時間(分)	⑤その他 の業務に従 事した時間 (分)	⑥当該単 位以外の兼 務業務に従 事した時間 (分)	⑦通所リハ ビリ以外の 兼務に従事 した時間 (分)	
1-2時間	164	99.49 21.2%	34.76 7.4%	23.51 5.0%	49.55 10.5%	29.24 6.2%	109.42 23.3%	124.02 26.4%	469.99 100.0%
2-3時間	67	98.51 30.5%	40.60 12.6%	7.31 2.3%	37.31 11.6%	28.36 8.8%	57.24 17.7%	53.51 16.6%	322.84 1.00
3-4時間	239	94.36 22.1%	54.05 12.7%	8.28 1.9%	37.92 8.9%	31.23 7.3%	80.33 18.8%	120.67 28.3%	426.85 100.0%
4-6時間	428	104.40 22.9%	33.33 7.3%	12.92 2.8%	54.41 12.0%	29.42 6.5%	40.75 9.0%	180.09 39.6%	455.31 100.0%
6-8時間	3,028	125.50 28.1%	42.43 9.5%	10.79 2.4%	49.72 11.1%	30.68 6.9%	25.00 5.6%	162.38 36.4%	446.51 100.0%
8時間超	21	171.19 38.5%	54.29 12.2%	15.24 3.4%	59.76 13.4%	35.24 7.9%	17.62 4.0%	91.67 20.6%	445.00 100.0%
不詳	99	139.65 31.9%	36.31 8.3%	7.22 1.6%	49.09 11.2%	40.76 9.3%	22.07 5.0%	143.03 32.6%	438.13 100.0%
合計	4,046	120.51 27.1%	41.73 9.4%	11.26 2.5%	49.34 11.1%	30.75 6.9%	33.78 7.6%	157.59 35.4%	444.97 100.0%



平成 23 年 7 月 21 日に勤務した通所介護事業所における機能訓練指導員が利用者に対して実施したケアの状況は、全体では個別訓練が 33.4%、個別機能訓練以外の直接的なケアが 25.8%であった。また、通所介護以外の兼務に従事した時間は 6.3%であった。

図表 40 時間区分別機能訓練指導員が利用者を実施したケア

通所介護									
サービス提供時間	人数	直接的なケア(平均)			直接的なケア以外の業務(平均)				合計
		①個別機能訓練に従事した時間(分)	②個別機能訓練以外の直接的なケアに従事した時間(分)	③カンファレンスに参加した時間(分)	④事務業務に従事した時間(分)	⑤その他の業務に従事した時間(分)	⑥当該単位以外の兼務業務に従事した時間(分)	⑦通所介護以外の兼務業務に従事した時間(分)	
2-3時間	4	125.00	62.50	0.00	18.75	7.50	0.00	78.75	292.50
		42.7%	21.4%	0.0%	6.4%	2.6%	0.0%	26.9%	100.0%
3-4時間	19	186.32	65.26	7.89	54.21	33.16	41.58	12.63	401.05
		46.5%	16.3%	2.0%	13.5%	8.3%	10.4%	3.1%	100.0%
4-6時間	63	89.76	135.08	26.51	48.73	67.78	20.79	42.70	431.35
		20.8%	31.3%	6.1%	11.3%	15.7%	4.8%	9.9%	100.0%
6-8時間	239	139.02	99.73	14.06	39.48	54.39	19.62	19.23	385.52
		36.1%	25.9%	3.6%	10.2%	14.1%	5.1%	5.0%	100.0%
8時間超	2	150.00	75.00	30.00	75.00	15.00	0.00	0.00	345.00
		43.5%	21.7%	8.7%	21.7%	4.3%	0.0%	0.0%	100.0%
不詳	9	129.44	35.56	30.00	64.44	55.00	85.00	53.33	452.78
		28.6%	7.9%	6.6%	14.2%	12.1%	18.8%	11.8%	100.0%
合計	336	132.10	102.10	16.40	42.68	54.93	22.49	24.76	395.45
		33.4%	25.8%	4.1%	10.8%	13.9%	5.7%	6.3%	100.0%



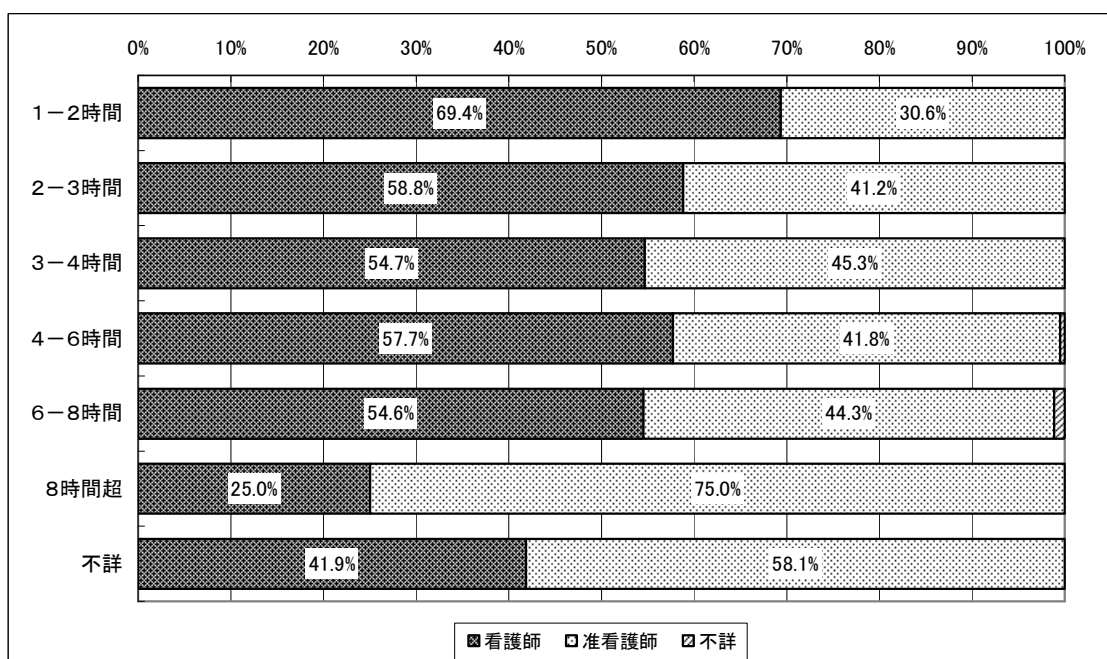
#### 4. 看護職員の基本情報

##### (1) 職種の状況

平成23年7月21日に勤務した通所リハビリテーション事業所における看護職員の職種は、全体では看護師が55.1%、准看護師が44.0%であった。1-2時間のサービス提供時間区分では、看護師が69.4%を占め、短時間のサービス提供時間区分では看護師の割合が高い傾向が見られる。

図表 41 サービス提供時間別看護職員の職種（通所リハビリテーション）

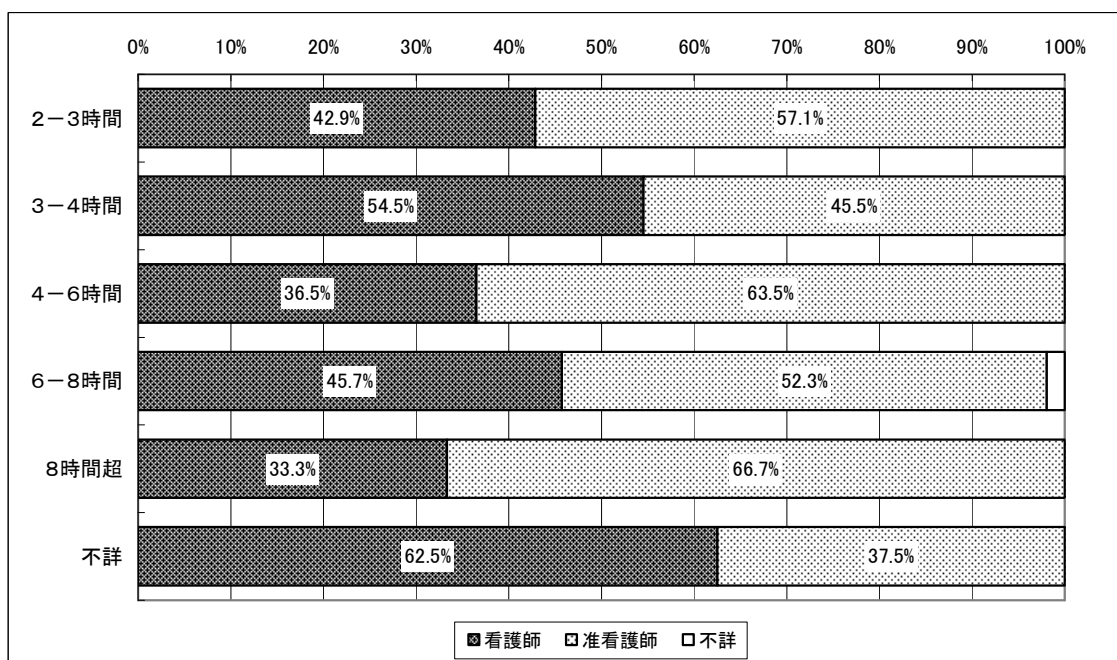
通所リハビリテーション		看護職員の職種		
サービス提供時間	看護師	准看護師	不詳	合計
1-2時間	43	19	0	62
	69.4%	30.6%	0.0%	100.0%
2-3時間	20	14	0	34
	58.8%	41.2%	0.0%	100.0%
3-4時間	35	29	0	64
	54.7%	45.3%	0.0%	100.0%
4-6時間	116	84	1	201
	57.7%	41.8%	0.5%	100.0%
6-8時間	701	569	15	1285
	54.6%	44.3%	1.2%	100.0%
8時間超	2	6	0	8
	25.0%	75.0%	0.0%	100.0%
不詳	18	25	0	43
	41.9%	58.1%	0.0%	100.0%
合計	935	746	16	1697
	55.1%	44.0%	0.9%	100.0%



平成 23 年 7 月 21 日に勤務した通所介護事業所における看護職員の職種は、全体では看護師が 45.3%、准看護師が 53.1%であった。

図表 42 サービス提供時間別看護職員の職種（通所介護）

通所介護				
サービス提供時間	看護職員の職種			
	看護師	准看護師	不詳	合計
2-3時間	3	4	0	7
	42.9%	57.1%	0.0%	100.0%
3-4時間	6	5	0	11
	54.5%	45.5%	0.0%	100.0%
4-6時間	23	40	0	63
	36.5%	63.5%	0.0%	100.0%
6-8時間	235	269	10	514
	45.7%	52.3%	1.9%	100.0%
8時間超	1	2	0	3
	33.3%	66.7%	0.0%	100.0%
不詳	10	6	0	16
	62.5%	37.5%	0.0%	100.0%
合計	278	326	10	614
	45.3%	53.1%	1.6%	100.0%

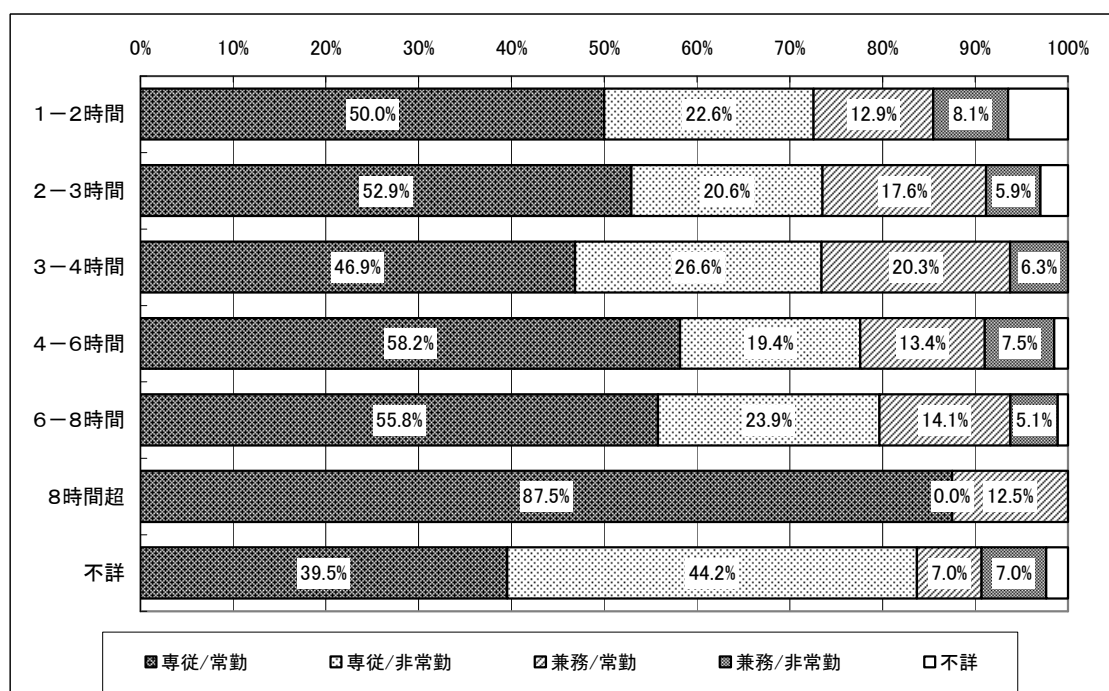


(2) 勤務形態の状況

平成23年7月21日に勤務した通所リハビリテーション事業所における看護職員の勤務形態は、全体では常勤・専従が55.2%と最も多く、次いで非常勤・専従が23.7%であった。

図表 43 サービス提供時間別看護職員の勤務形態（通所リハビリテーション）

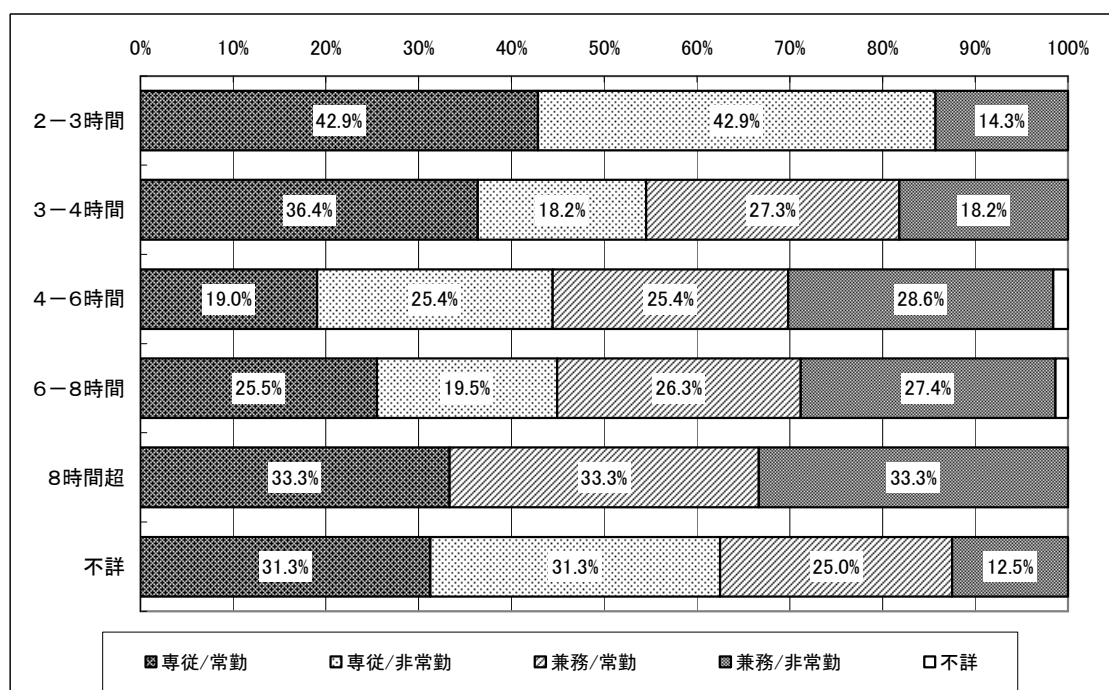
通所リハビリテーション						
サービス提供時間	勤務形態				不詳	合計
	専従		兼務			
	常勤	非常勤	常勤	非常勤		
1-2時間	31	14	8	5	4	62
	50.0%	22.6%	12.9%	8.1%	6.5%	100.0%
2-3時間	18	7	6	2	1	34
	52.9%	20.6%	17.6%	5.9%	2.9%	100.0%
3-4時間	30	17	13	4	0	64
	46.9%	26.6%	20.3%	6.3%	0.0%	100.0%
4-6時間	117	39	27	15	3	201
	58.2%	19.4%	13.4%	7.5%	1.5%	100.0%
6-8時間	717	307	181	66	14	1285
	55.8%	23.9%	14.1%	5.1%	1.1%	100.0%
8時間超	7	0	1	0	0	8
	87.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	100.0%
不詳	17	19	3	3	1	43
	39.5%	44.2%	7.0%	7.0%	2.3%	100.0%
合計	937	403	239	95	23	1697
	55.2%	23.7%	14.1%	5.6%	1.4%	100.0%



平成 23 年 7 月 21 日に勤務した通所介護事業所における看護職員の勤務形態は、全体では非常勤・兼務が 26.9%と最も多く、次いで常勤・兼務が 25.9%であった。

図表 44 サービス提供時間別看護職員の勤務形態（通所介護）

通所介護						
サービス提供時間	勤務形態				不詳	合計
	専従		兼務			
	常勤	非常勤	常勤	非常勤		
2-3時間	3 42.9%	3 42.9%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	7 100.0%
3-4時間	4 36.4%	2 18.2%	3 27.3%	2 18.2%	0 0.0%	11 100.0%
4-6時間	12 19.0%	16 25.4%	16 25.4%	18 28.6%	1 1.6%	63 100.0%
6-8時間	131 25.5%	100 19.5%	135 26.3%	141 27.4%	7 1.4%	514 100.0%
8時間超	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
不詳	5 31.3%	5 31.3%	4 25.0%	2 12.5%	0 0.0%	16 100.0%
合計	156 25.4%	126 20.5%	159 25.9%	165 26.9%	8 1.3%	614 100.0%



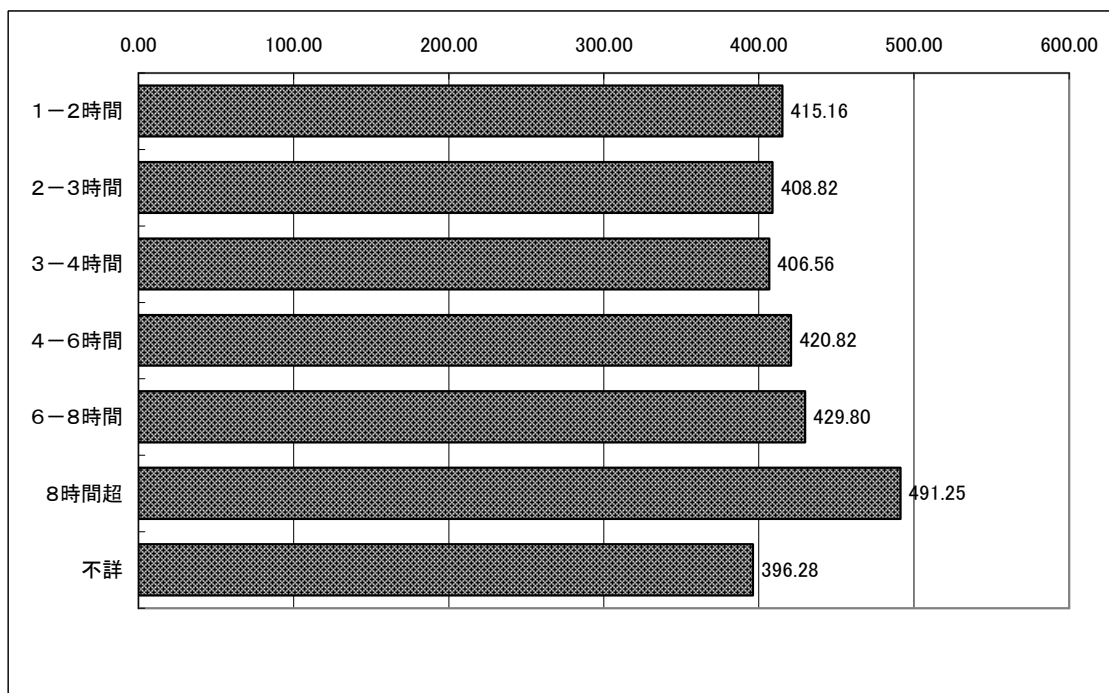


(3) 所定勤務時間の状況

平成 23 年 7 月 21 日に勤務した通所リハビリテーション事業所における看護職の所定勤務時間は、全体では 426.34 分（7.11 時間）であった。

図表 45 看護職員の所定勤務時間の状況（通所リハビリテーション）

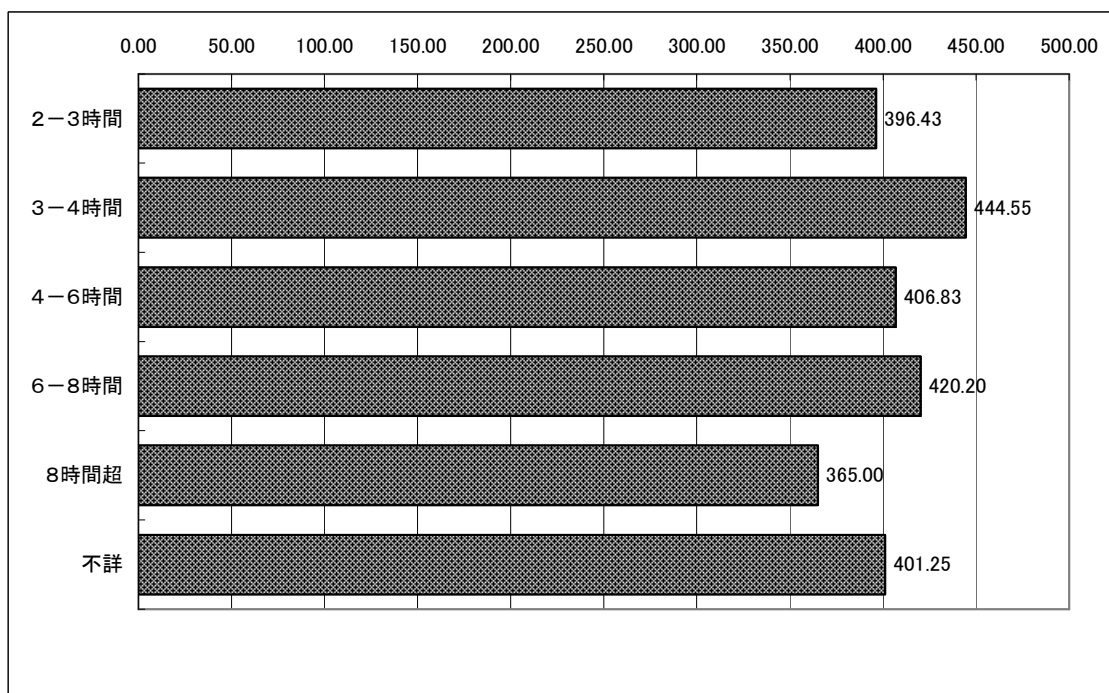
通所リハビリテーション		
サービス提供時間	人数	一人当たりの所定勤務時間(分)
1-2時間	62	415.16
2-3時間	34	408.82
3-4時間	64	406.56
4-6時間	201	420.82
6-8時間	1,285	429.80
8時間超	8	491.25
不詳	43	396.28
全体	1,697	426.34



平成 23 年 7 月 21 日に勤務した通所介護事業所における看護職員の所定勤務時間は、全体では 418.23 分（6.97 時間）であった。

図表 46 看護職員の所定勤務時間の状況（通所介護）

通所介護		
サービス提供時間	人数	一人当たりの所定勤務時間(分)
2-3時間	7	396.43
3-4時間	11	444.55
4-6時間	63	406.83
6-8時間	514	420.20
8時間超	3	365.00
不詳	16	401.25
全体	614	418.23

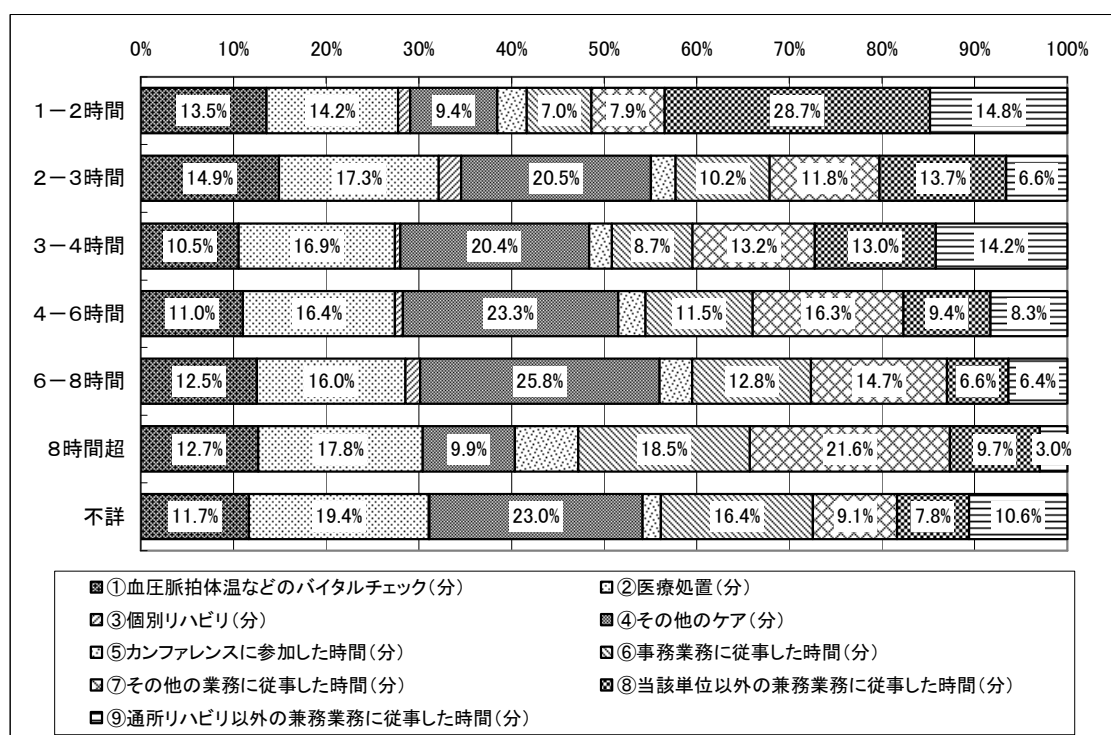


(4) 利用者に対して実施したケアの状況

平成23年7月21日に勤務した通所リハビリテーション事業所における看護職が利用者に対して実施したケアの状況は、全体では医療処置が16.2%、バイタルチェックが12.4%、その他の直接的なケアが24.5%であった。

図表 47 時間区分別看護職が利用者を実施したケア（通所リハビリテーション）

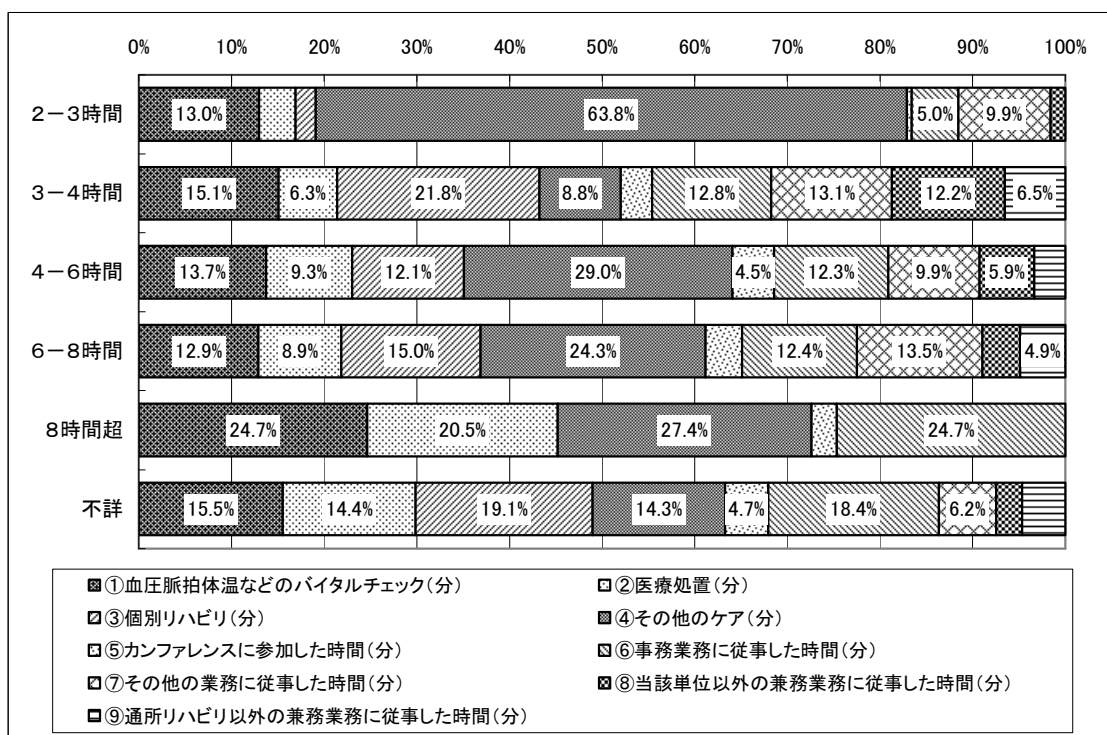
通所リハビリテーション											
サービス提供時間	人数	直接的なケア(平均)				直接的なケア以外の業務(平均)				合計	
		①血圧脈拍体温などのバイタルチェック(分)	②医療処置(分)	③個別リハビリ(分)	④その他のケア(分)	⑤カンファレンスに参加した時間(分)	⑥事務業務に従事した時間(分)	⑦その他の業務に従事した時間(分)	⑧当該単位以外の兼務業務に従事した時間(分)		⑨通所リハビリ以外の兼務業務に従事した時間(分)
1-2時間	62	63.06	66.15	6.29	43.63	14.84	32.42	36.77	133.47	68.95	465.58
		13.5%	14.2%	1.4%	9.4%	3.2%	7.0%	7.9%	28.7%	14.8%	100.0%
2-3時間	34	60.00	69.41	9.71	82.35	10.59	40.88	47.65	55.15	26.47	402.21
		14.9%	17.3%	2.4%	20.5%	2.6%	10.2%	11.8%	13.7%	6.6%	100.0%
3-4時間	64	42.84	68.58	2.34	82.80	10.08	35.33	53.67	53.03	57.77	406.44
		10.5%	16.9%	0.6%	20.4%	2.5%	8.7%	13.2%	13.0%	14.2%	100.0%
4-6時間	201	48.44	72.54	3.63	102.55	13.08	50.92	71.87	41.41	36.63	441.08
		11.0%	16.4%	0.8%	23.3%	3.0%	11.5%	16.3%	9.4%	8.3%	100.0%
6-8時間	1285	57.89	74.06	7.21	119.31	16.36	59.18	67.82	30.58	29.33	461.74
		12.5%	16.0%	1.6%	25.8%	3.5%	12.8%	14.7%	6.6%	6.4%	100.0%
8時間超	8	63.75	89.375	0	50	34.375	93.125	108.75	48.75	15	503.125
		12.7%	17.8%	0.0%	9.9%	6.8%	18.5%	21.6%	9.7%	3.0%	100.0%
不詳	43	49.30	81.77	0.35	97.09	8.37	69.30	38.26	32.79	44.77	422.00
		11.7%	19.4%	0.1%	23.0%	2.0%	16.4%	9.1%	7.8%	10.6%	100.0%
合計	1697	56.25	73.56	6.41	111.56	15.44	56.37	65.67	37.10	32.98	455.35
		12.4%	16.2%	1.4%	24.5%	3.4%	12.4%	14.4%	8.1%	7.2%	100.0%



平成 23 年 7 月 21 日に勤務した通所介護事業所における看護職員が利用者に対して実施したケアの状況は、全体ではバイタルチェックが 13.1%、医療処置が 9.1%、その他の直接的なケアが 24.7%であった。

図表 48 時間区分別看護職が利用者を実施したケア（通所介護）

サービス提供時間	人数	直接的なケア(平均)				直接的なケア以外の業務(平均)					合計
		①血圧脈拍体温などのバイタルチェック(分)	②医療処置(分)	③個別リハビリ(分)	④その他のケア(分)	⑤カンファレンスに参加した時間(分)	⑥事務業務に従事した時間(分)	⑦その他の業務に従事した時間(分)	⑧当該単位以外の兼務業務に従事した時間(分)	⑨通所リハビリ以外の兼務業務に従事した時間(分)	
2-3時間	7	51.43 13.0%	15.71 4.0%	8.57 2.2%	252.86 63.8%	2.14 0.5%	20.00 5.0%	39.29 9.9%	6.43 1.6%	0.00 0.0%	396.43 100.0%
3-4時間	11	60.91 15.1%	25.45 6.3%	88.18 21.8%	35.45 8.8%	13.64 3.4%	51.82 12.8%	52.73 13.1%	49.09 12.2%	26.36 6.5%	403.64 100.0%
		55.87 13.7%	37.94 9.3%	49.21 12.1%	117.94 29.0%	18.25 4.5%	50.24 12.3%	40.24 9.9%	24.05 5.9%	13.57 3.3%	407.30 100.0%
4-6時間	63	53.43 12.9%	37.02 8.9%	62.30 15.0%	100.56 24.3%	16.36 4.0%	51.27 12.4%	56.08 13.5%	16.83 4.1%	20.27 4.9%	414.13 100.0%
		62.19 15.5%	57.50 14.4%	76.56 19.1%	57.19 14.3%	18.75 4.7%	73.75 18.4%	24.69 6.2%	11.25 2.8%	18.75 4.7%	400.63 100.0%
6-8時間	514	90.00 24.7%	75.00 19.1%	0.00 0.0%	100.00 24.3%	10.00 2.7%	90.00 24.7%	0.00 0.0%	0.00 0.0%	0.00 0.0%	365.00 100.0%
		62.19 15.5%	57.50 14.4%	76.56 19.1%	57.19 14.3%	18.75 4.7%	73.75 18.4%	24.69 6.2%	11.25 2.8%	18.75 4.7%	400.63 100.0%
8時間超	3	90.00 24.7%	75.00 19.1%	0.00 0.0%	100.00 24.3%	10.00 2.7%	90.00 24.7%	0.00 0.0%	0.00 0.0%	0.00 0.0%	365.00 100.0%
		62.19 15.5%	57.50 14.4%	76.56 19.1%	57.19 14.3%	18.75 4.7%	73.75 18.4%	24.69 6.2%	11.25 2.8%	18.75 4.7%	400.63 100.0%
不詳	16	62.19 15.5%	57.50 14.4%	76.56 19.1%	57.19 14.3%	18.75 4.7%	73.75 18.4%	24.69 6.2%	11.25 2.8%	18.75 4.7%	400.63 100.0%
		54.20 13.1%	37.39 9.1%	60.87 14.8%	101.78 24.7%	16.38 4.0%	51.60 12.5%	53.11 12.9%	17.80 4.3%	19.32 4.7%	412.45 100.0%



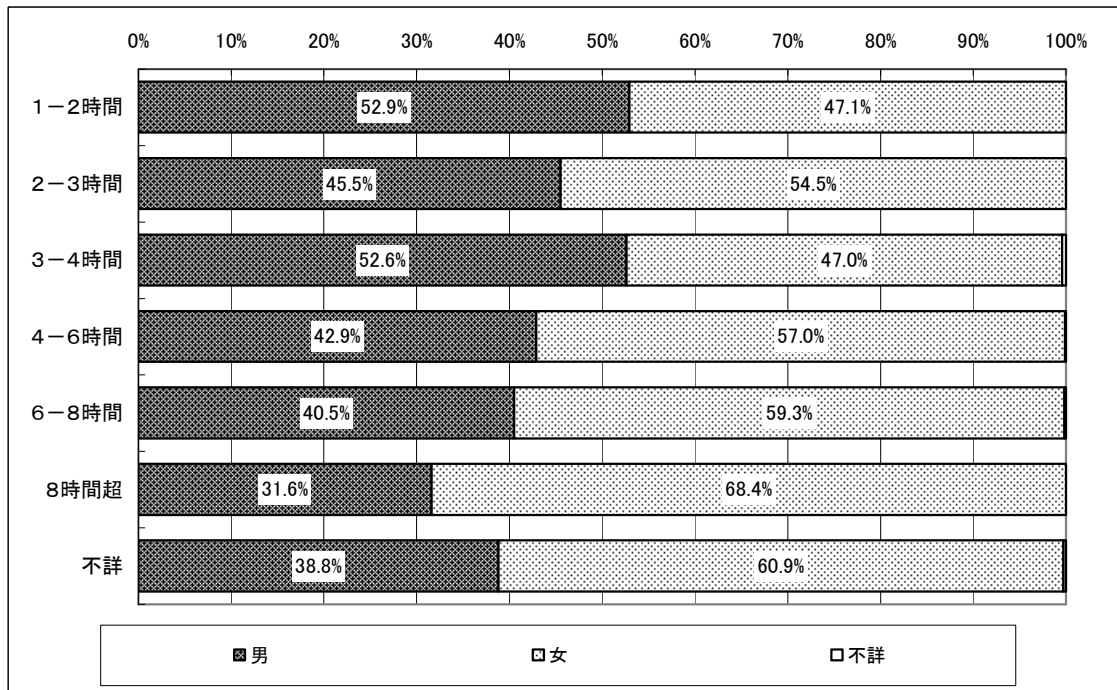
## 5. 利用者の基本情報

### (1) 性別の状況

平成23年7月21日の通所リハビリテーション利用者は、全体では男性が41.2%、女性が58.6%であった。

図表 49 利用者の性別（通所リハビリテーション）

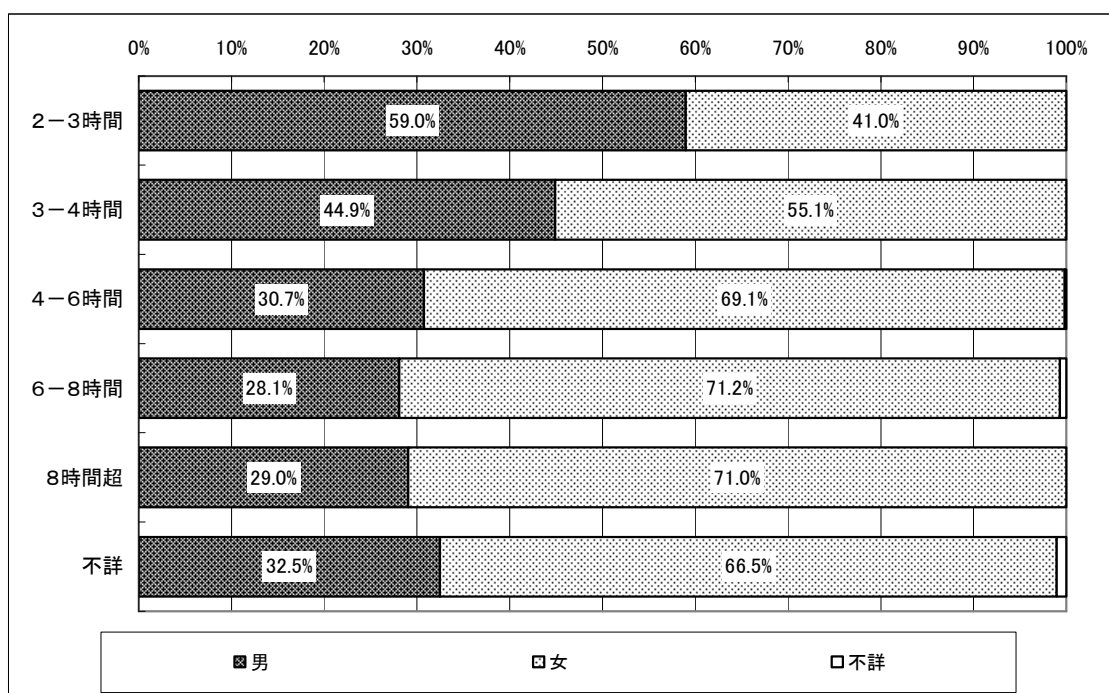
通所リハビリテーション				
サービス提供時間	性別			合計
	男	女	不詳	
1-2時間	162	144	0	306
	52.9%	47.1%	0.0%	100.0%
2-3時間	86	103	0	189
	45.5%	54.5%	0.0%	100.0%
3-4時間	382	341	3	726
	52.6%	47.0%	0.4%	100.0%
4-6時間	808	1,074	2	1,884
	42.9%	57.0%	0.1%	100.0%
6-8時間	7,430	10,883	30	18,343
	40.5%	59.3%	0.2%	100.0%
8時間超	30	65	0	95
	31.6%	68.4%	0.0%	100.0%
不詳	292	458	2	752
	38.8%	60.9%	0.3%	100.0%
合計	9,190	13,068	37	22,295
	41.2%	58.6%	0.2%	100.0%



平成 23 年 7 月 21 日の通所介護利用者は、全体では男性が 28.9%、女性が 70.5%であった。

図表 50 利用者の性別（通所介護）

通所介護				
サービス提供時間	性別			合計
	男	女	不詳	
2-3時間	23	16	0	39
	59.0%	41.0%	0.0%	100.0%
3-4時間	44	54	0	98
	44.9%	55.1%	0.0%	100.0%
4-6時間	182	409	1	592
	30.7%	69.1%	0.2%	100.0%
6-8時間	1,803	4,573	44	6,420
	28.1%	71.2%	0.7%	100.0%
8時間超	9	22	0	31
	29.0%	71.0%	0.0%	100.0%
不詳	126	258	4	388
	32.5%	66.5%	1.0%	100.0%
合計	2,187	5,332	49	7,568
	28.9%	70.5%	0.6%	100.0%

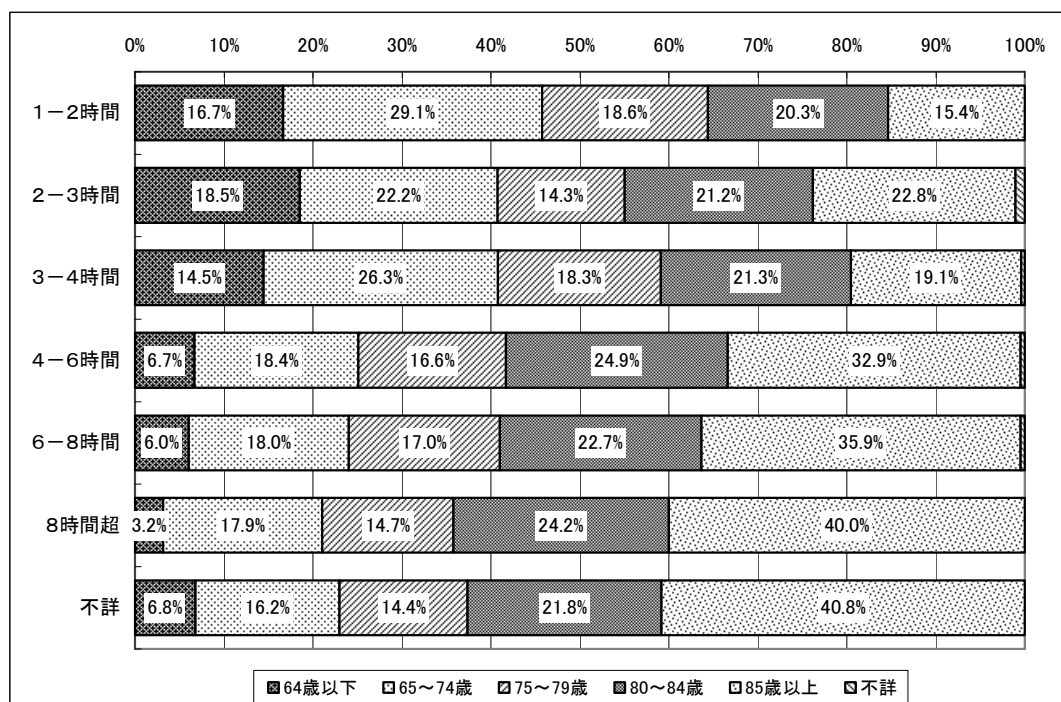


## (2) 年齢の状況

平成23年7月21日の通所リハビリテーション利用者は、全体では85歳以上が最も多く34.9%、次いで、80～84歳が22.7%であった。1～2時間のサービス提供時間区分では、85歳以上は15.4%、80～84歳は20.3%であり、短時間のサービス提供時間区分では、年齢の若い利用者の割合が高まる傾向が見られる。また、全体の平均年齢は80.1歳<sup>2</sup>であった。

図表 51 利用者の年齢（通所リハビリテーション）

通所リハビリテーション							
サービス提供時間	年齢						合計
	64歳以下	65～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	不詳	
1～2時間	51 16.7%	89 29.1%	57 18.6%	62 20.3%	47 15.4%	0 0.0%	306 100.0%
2～3時間	35 18.5%	42 22.2%	27 14.3%	40 21.2%	43 22.8%	2 1.1%	189 100.0%
3～4時間	105 14.5%	191 26.3%	133 18.3%	155 21.3%	139 19.1%	3 0.4%	726 100.0%
4～6時間	126 6.7%	347 18.4%	313 16.6%	469 24.9%	620 32.9%	9 0.5%	1,884 100.0%
6～8時間	1,107 6.0%	3,301 18.0%	3,110 17.0%	4,155 22.7%	6,583 35.9%	87 0.5%	18,343 100.0%
8時間超	3 3.2%	17 17.9%	14 14.7%	23 24.2%	38 40.0%	0 0.0%	95 100.0%
不詳	51 6.8%	122 16.2%	108 14.4%	164 21.8%	307 40.8%	0 0.0%	752 100.0%
合計	1,478 6.6%	4,109 18.4%	3,762 16.9%	5,068 22.7%	7,777 34.9%	101 0.5%	22,295 100.0%

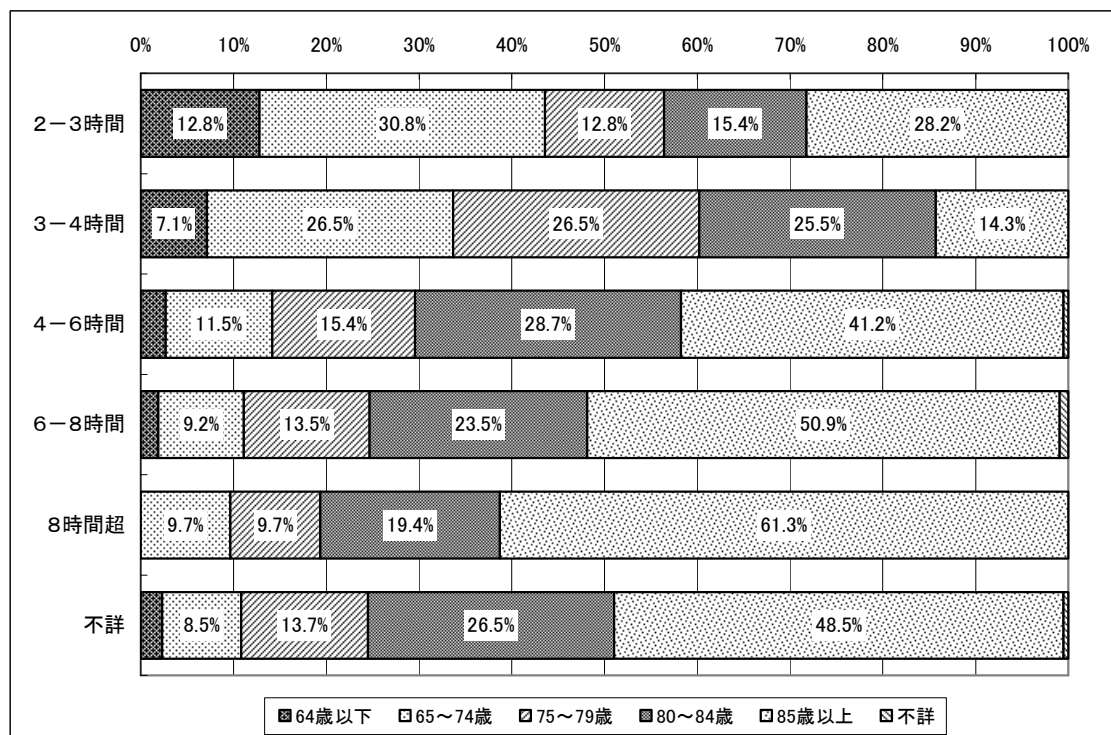


<sup>2</sup>利用期間が1年以上の利用者で、かつ1年間の要介護度の変化が把握できる利用者の平均年齢

平成 23 年 7 月 21 日の通所介護利用者は、全体では 85 歳以上が最も多く 49.5%、次いで、80～84 歳が 24.0%であった。また、全体の平均年齢は 84.1 歳<sup>3</sup>であった。

図表 52 利用者の年齢（通所介護）

通所介護							
サービス提供時間	年齢						合計
	64歳以下	65～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	不詳	
2～3時間	5	12	5	6	11	0	39
	12.8%	30.8%	12.8%	15.4%	28.2%	0.0%	100.0%
3～4時間	7	26	26	25	14	0	98
	7.1%	26.5%	26.5%	25.5%	14.3%	0.0%	100.0%
4～6時間	16	68	91	170	244	3	592
	2.7%	11.5%	15.4%	28.7%	41.2%	0.5%	100.0%
6～8時間	123	591	869	1,508	3,270	59	6,420
	1.9%	9.2%	13.5%	23.5%	50.9%	0.9%	100.0%
8時間超	0	3	3	6	19	0	31
	0.0%	9.7%	9.7%	19.4%	61.3%	0.0%	100.0%
不詳	9	33	53	103	188	2	388
	2.3%	8.5%	13.7%	26.5%	48.5%	0.5%	100.0%
合計	160	733	1,047	1,818	3,746	64	7,568
	2.1%	9.7%	13.8%	24.0%	49.5%	0.8%	100.0%



<sup>3</sup>利用期間が 1 年以上の利用者で、かつ 1 年間の要介護度の変化が把握できる利用者の平均年齢

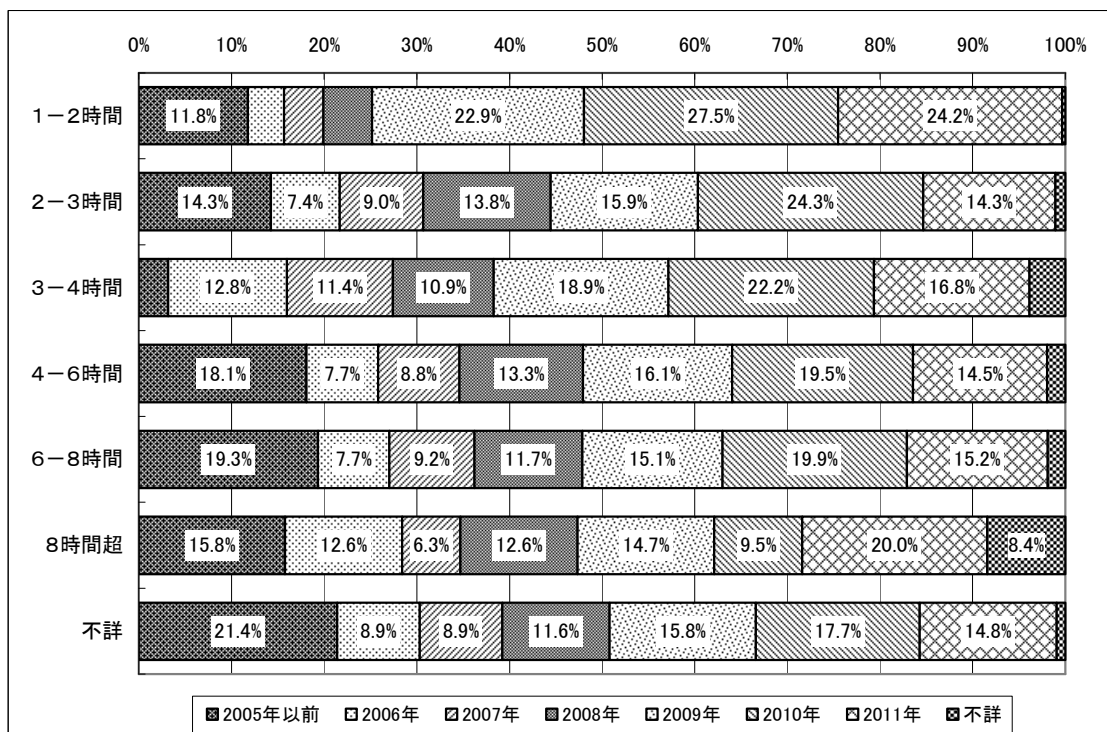


### (3) 事業所の利用開始からの期間の状況

平成 23 年 7 月 21 日の通所リハビリテーション利用者は、全体では 2010 年に利用開始した者が最も多く 20.0%、次いで、2009 年が 15.3%、2011 年が 15.3%であった。また、2005 年以前に利用開始した方も 18.5%を占める。また、全体の平均利用期間は 49.6 ヶ月<sup>4</sup>であった。

図表 53 利用期間（通所リハビリテーション）

サービス提供時間	事業所の利用開始年								合計
	2005年以前	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	不詳	
1-2時間	36 11.8%	12 3.9%	13 4.2%	16 5.2%	70 22.9%	84 27.5%	74 24.2%	1 0.3%	306 100.0%
2-3時間	27 14.3%	14 7.4%	17 9.0%	26 13.8%	30 15.9%	46 24.3%	27 14.3%	2 1.1%	189 100.0%
3-4時間	23 3.2%	93 12.8%	83 11.4%	79 10.9%	137 18.9%	161 22.2%	122 16.8%	28 3.9%	726 100.0%
4-6時間	341 18.1%	146 7.7%	165 8.8%	251 13.3%	304 16.1%	367 19.5%	273 14.5%	37 2.0%	1,884 100.0%
6-8時間	3,544 19.3%	1,417 7.7%	1,682 9.2%	2,137 11.7%	2,776 15.1%	3,652 19.9%	2,786 15.2%	349 1.9%	18,343 100.0%
8時間超	15 15.8%	12 12.6%	6 6.3%	12 12.6%	14 14.7%	9 9.5%	19 20.0%	8 8.4%	95 100.0%
不詳	161 21.4%	67 8.9%	67 8.9%	87 11.6%	119 15.8%	133 17.7%	111 14.8%	7 0.9%	752 100.0%
合計	3,986 18.5%	1,694 7.9%	1,966 9.1%	2,521 11.7%	3,331 15.5%	4,319 20.0%	3,301 15.3%	425 2.0%	21,543 100.0%

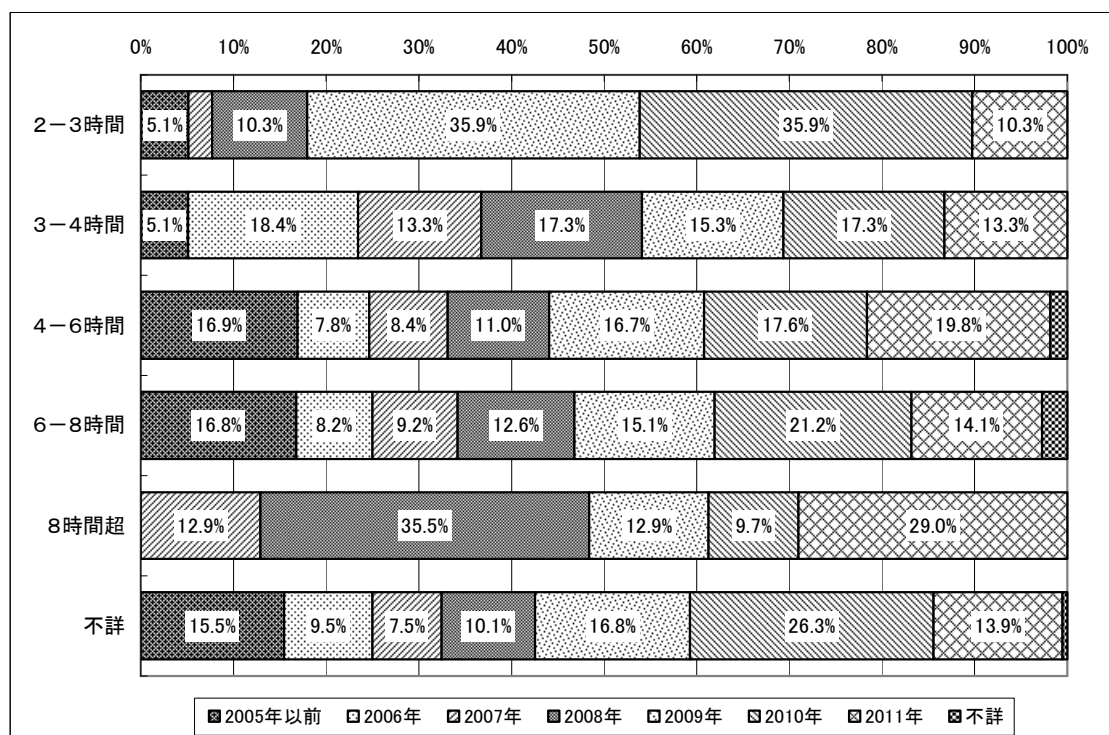


<sup>4</sup>利用期間が1年以上の利用者で、かつ1年間の要介護度の変化が把握できる利用者の平均年齢

平成 23 年 7 月 21 日の通所介護利用者は、全体では 2010 年に利用開始した者が最も多く 21.2%、次いで、2009 年が 15.4%、2011 年が 14.5%であった。また、2005 年以前に利用開始した方も 16.4%を占める。また、全体の平均利用期間は 48.0 ヶ月<sup>5</sup>であった。

図表 54 利用期間（通所介護）

通所介護 サービス提供時間	事業所の利用開始年								合計
	2005年以前	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	不詳	
2-3時間	2 5.1%	0 0.0%	1 2.6%	4 10.3%	14 35.9%	14 35.9%	4 10.3%	0 0.0%	39 100.0%
3-4時間	5 5.1%	18 18.4%	13 13.3%	17 17.3%	15 15.3%	17 17.3%	13 13.3%	0 0.0%	98 100.0%
4-6時間	100 16.9%	46 7.8%	50 8.4%	65 11.0%	99 16.7%	104 17.6%	117 19.8%	11 1.9%	592 100.0%
6-8時間	1,076 16.8%	529 8.2%	588 9.2%	812 12.6%	971 15.1%	1,364 21.2%	904 14.1%	176 2.7%	6,420 100.0%
8時間超	0 0.0%	0 0.0%	4 12.9%	11 35.5%	4 12.9%	3 9.7%	9 29.0%	0 0.0%	31 100.0%
不詳	60 15.5%	37 9.5%	29 7.5%	39 10.1%	65 16.8%	102 26.3%	54 13.9%	2 0.5%	388 100.0%
合計	1,243 16.4%	630 8.3%	685 9.1%	948 12.5%	1,168 15.4%	1,604 21.2%	1,101 14.5%	189 2.5%	7,568 100.0%



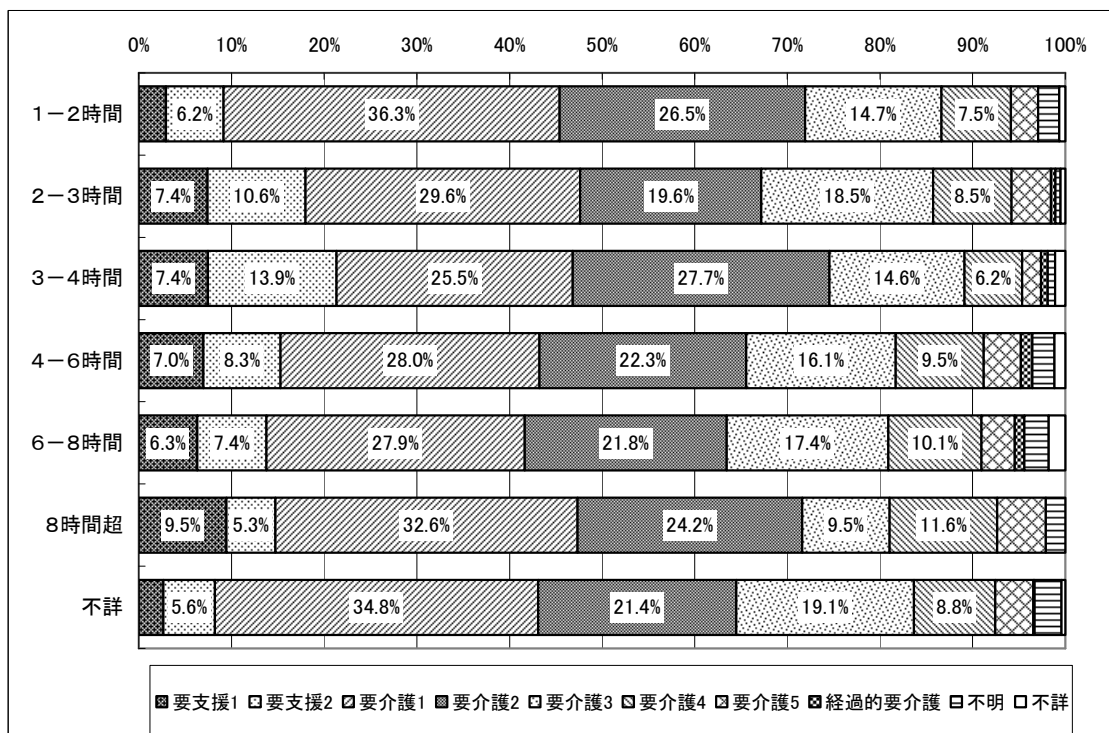
<sup>5</sup>利用期間が 1 年以上の利用者で、かつ 1 年間の要介護度の変化が把握できる利用者の平均年齢

(4) 利用開始時の要介護度の状況

平成23年7月21日の通所リハビリテーション利用者の利用開始時の要介護度は、全体では要介護1が最も多く28.2%、次いで、要介護2が22.0%、要介護3が17.2%であった。

図表 55 利用開始時の要介護度（通所リハビリテーション）

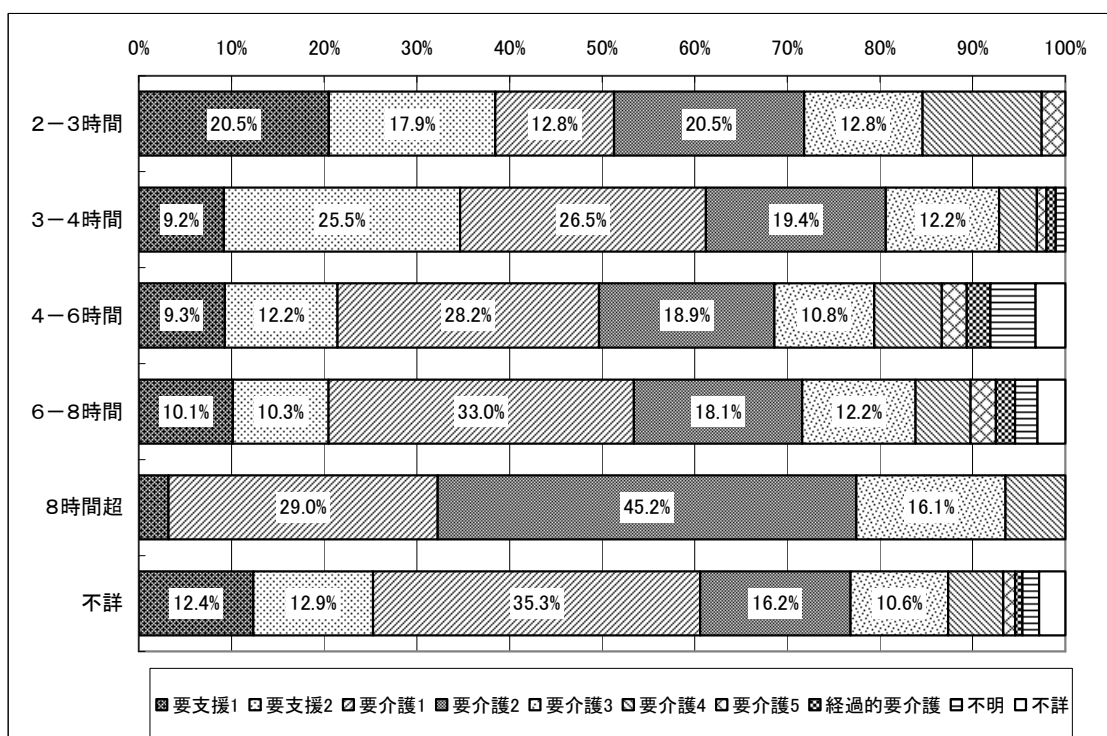
サービス提供時間	利用開始時の要介護度										合計
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	経過的要介護	不明	不詳	
1-2時間	9	19	111	81	45	23	9	0	7	2	306
	2.9%	6.2%	36.3%	26.5%	14.7%	7.5%	2.9%	0.0%	2.3%	0.7%	100.0%
2-3時間	14	20	56	37	35	16	8	1	1	1	189
	7.4%	10.6%	29.6%	19.6%	18.5%	8.5%	4.2%	0.5%	0.5%	0.5%	100.0%
3-4時間	54	101	185	201	106	45	15	5	6	8	726
	7.4%	13.9%	25.5%	27.7%	14.6%	6.2%	2.1%	0.7%	0.8%	1.1%	100.0%
4-6時間	131	157	527	420	304	179	75	24	45	22	1,884
	7.0%	8.3%	28.0%	22.3%	16.1%	9.5%	4.0%	1.3%	2.4%	1.2%	100.0%
6-8時間	1,160	1,364	5,119	3,992	3,199	1,848	658	193	480	330	18,343
	6.3%	7.4%	27.9%	21.8%	17.4%	10.1%	3.6%	1.1%	2.6%	1.8%	100.0%
8時間超	9	5	31	23	9	11	5	0	2	0	95
	9.5%	5.3%	32.6%	24.2%	9.5%	11.6%	5.3%	0.0%	2.1%	0.0%	100.0%
不詳	20	42	262	161	144	66	31	1	22	3	752
	2.7%	5.6%	34.8%	21.4%	19.1%	8.8%	4.1%	0.1%	2.9%	0.4%	100.0%
合計	1,397	1,708	6,291	4,915	3,842	2,188	801	224	563	366	22,295
	6.3%	7.7%	28.2%	22.0%	17.2%	9.8%	3.6%	1.0%	2.5%	1.6%	100.0%



平成 23 年 7 月 21 日の通所介護利用者の利用開始時の要介護度は、全体では要介護 1 が最も多く 32.5%、次いで、要介護 2 が 18.2%、要介護 3 が 12.1%であった。

図表 56 利用開始時の要介護度（通所介護）

サービス提供時間	利用開始時の要介護度										合計
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	経過的要介護	不明	不詳	
2-3時間	8	7	5	8	5	5	1	0	0	0	39
	20.5%	17.9%	12.8%	20.5%	12.8%	12.8%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
3-4時間	9	25	26	19	12	4	1	1	1	0	98
	9.2%	25.5%	26.5%	19.4%	12.2%	4.1%	1.0%	1.0%	1.0%	0.0%	100.0%
4-6時間	55	72	167	112	64	43	16	15	29	19	592
	9.3%	12.2%	28.2%	18.9%	10.8%	7.3%	2.7%	2.5%	4.9%	3.2%	100.0%
6-8時間	651	664	2,116	1,165	786	383	172	134	156	193	6,420
	10.1%	10.3%	33.0%	18.1%	12.2%	6.0%	2.7%	2.1%	2.4%	3.0%	100.0%
8時間超	1	0	9	14	5	2	0	0	0	0	31
	3.2%	0.0%	29.0%	45.2%	16.1%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
不詳	48	50	137	63	41	23	5	3	7	11	388
	12.4%	12.9%	35.3%	16.2%	10.6%	5.9%	1.3%	0.8%	1.8%	2.8%	100.0%
合計	772	818	2,460	1,381	913	460	195	153	193	223	7,568
	10.2%	10.8%	32.5%	18.2%	12.1%	6.1%	2.6%	2.0%	2.6%	2.9%	100.0%

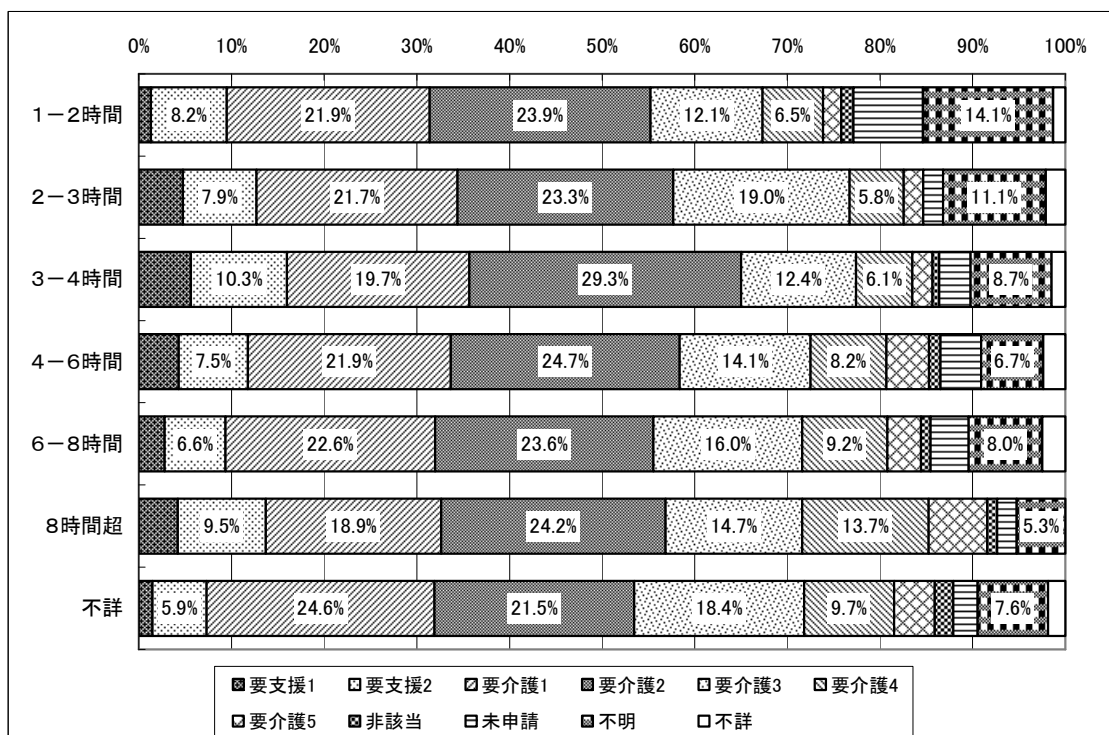


(5) 1年前の要介護度の状況

平成23年7月21日の通所リハビリテーション利用者の1年前の要介護度は、全体では要介護2が最も多く23.8%、次いで、要介護1が22.5%、要介護3が15.8%であった。

図表 57 1年前の要介護度（通所リハビリテーション）

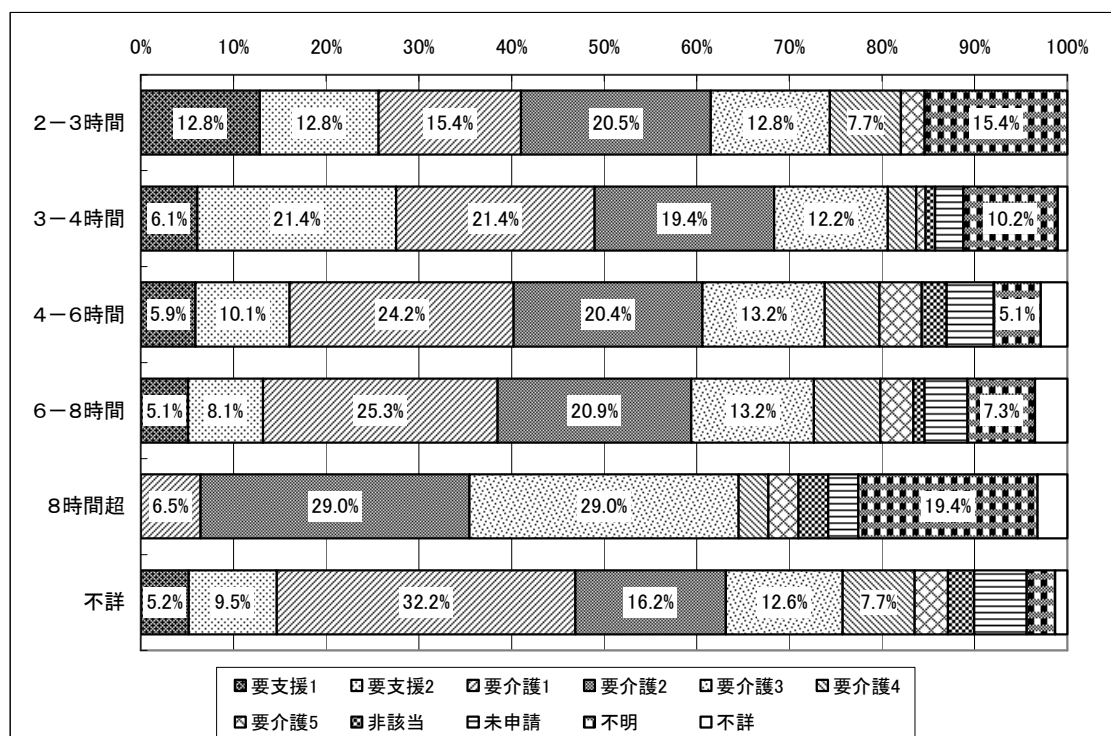
通所リハビリテーション		1年前の要介護度											合計
サービス提供時間	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	非該当	未申請	不明	不詳		
1-2時間	4	25	67	73	37	20	6	4	23	43	4	306	
	1.3%	8.2%	21.9%	23.9%	12.1%	6.5%	2.0%	1.3%	7.5%	14.1%	1.3%	100.0%	
2-3時間	9	15	41	44	36	11	4	0	4	21	4	189	
	4.8%	7.9%	21.7%	23.3%	19.0%	5.8%	2.1%	0.0%	2.1%	11.1%	2.1%	100.0%	
3-4時間	41	75	143	213	90	44	16	5	25	63	11	726	
	5.6%	10.3%	19.7%	29.3%	12.4%	6.1%	2.2%	0.7%	3.4%	8.7%	1.5%	100.0%	
4-6時間	81	141	412	466	266	154	87	23	83	126	45	1,884	
	4.3%	7.5%	21.9%	24.7%	14.1%	8.2%	4.6%	1.2%	4.4%	6.7%	2.4%	100.0%	
6-8時間	511	1,207	4,147	4,325	2,941	1,686	668	190	749	1,461	458	18,343	
	2.8%	6.6%	22.6%	23.6%	16.0%	9.2%	3.6%	1.0%	4.1%	8.0%	2.5%	100.0%	
8時間超	4	9	18	23	14	13	6	1	2	5	0	95	
	4.2%	9.5%	18.9%	24.2%	14.7%	13.7%	6.3%	1.1%	2.1%	5.3%	0.0%	100.0%	
不詳	11	44	185	162	138	73	33	15	20	57	14	752	
	1.5%	5.9%	24.6%	21.5%	18.4%	9.7%	4.4%	2.0%	2.7%	7.6%	1.9%	100.0%	
合計	661	1,516	5,013	5,306	3,522	2,001	820	238	906	1,776	536	22,295	
	3.0%	6.8%	22.5%	23.8%	15.8%	9.0%	3.7%	1.1%	4.1%	8.0%	2.4%	100.0%	



平成23年7月21日の通所介護利用者の1年前の要介護度は、全体では要介護1が最も多く25.4%、次いで、要介護2が20.6%、要介護3が13.3%であった。

図表 58 一年前の要介護度（通所介護）

サービス提供時間	一年前の要介護度											合計
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	非該当	未申請	不明	不詳	
2-3時間	5	5	6	8	5	3	1	0	0	6	0	39
	12.8%	12.8%	15.4%	20.5%	12.8%	7.7%	2.6%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	100.0%
3-4時間	6	21	21	19	12	3	1	1	3	10	1	98
	6.1%	21.4%	21.4%	19.4%	12.2%	3.1%	1.0%	1.0%	3.1%	10.2%	1.0%	100.0%
4-6時間	35	60	143	121	78	35	27	16	30	30	17	592
	5.9%	10.1%	24.2%	20.4%	13.2%	5.9%	4.6%	2.7%	5.1%	5.1%	2.9%	100.0%
6-8時間	326	521	1,626	1,341	850	461	228	79	295	469	224	6,420
	5.1%	8.1%	25.3%	20.9%	13.2%	7.2%	3.6%	1.2%	4.6%	7.3%	3.5%	100.0%
8時間超	0	0	2	9	9	1	1	1	1	6	1	31
	0.0%	0.0%	6.5%	29.0%	29.0%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	19.4%	3.2%	100.0%
不詳	20	37	125	63	49	30	14	11	22	12	5	388
	5.2%	9.5%	32.2%	16.2%	12.6%	7.7%	3.6%	2.8%	5.7%	3.1%	1.3%	100.0%
合計	392	644	1,923	1,561	1,003	533	272	108	351	533	248	7,568
	5.2%	8.5%	25.4%	20.6%	13.3%	7.0%	3.6%	1.4%	4.6%	7.0%	3.3%	100.0%

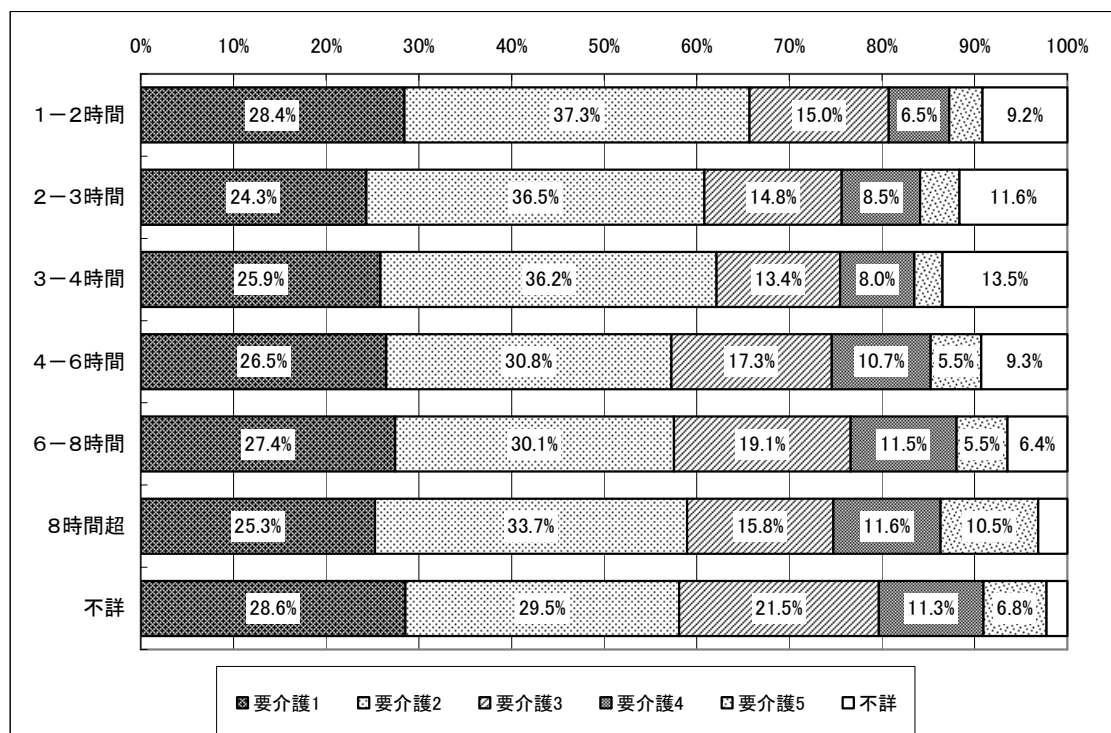


(6) 調査日の要介護度の状況

平成23年7月21日の通所リハビリテーション利用者の調査日時点の要介護度は、全体では要介護2が最も多く30.5%、次いで、要介護1が27.3%、要介護3が18.7%であった。また、全体の平均要介護度は2.3<sup>6</sup>であった。

図表 59 当日の要介護度（通所リハビリテーション）

通所リハビリテーション							
サービス提供時間	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不詳	合計
1-2時間	87 28.4%	114 37.3%	46 15.0%	20 6.5%	11 3.6%	28 9.2%	306 100.0%
2-3時間	46 24.3%	69 36.5%	28 14.8%	16 8.5%	8 4.2%	22 11.6%	189 100.0%
3-4時間	188 25.9%	263 36.2%	97 13.4%	58 8.0%	22 3.0%	98 13.5%	726 100.0%
4-6時間	499 26.5%	580 30.8%	326 17.3%	201 10.7%	103 5.5%	175 9.3%	1,884 100.0%
6-8時間	5,032 27.4%	5,519 30.1%	3,500 19.1%	2,102 11.5%	1,007 5.5%	1,183 6.4%	18,343 100.0%
8時間超	24 25.3%	32 33.7%	15 15.8%	11 11.6%	10 10.5%	3 3.2%	95 100.0%
不詳	215 28.6%	222 29.5%	162 21.5%	85 11.3%	51 6.8%	17 2.3%	752 100.0%
合計	6,091 27.3%	6,799 30.5%	4,174 18.7%	2,493 11.2%	1,212 5.4%	1,526 6.8%	22,295 100.0%



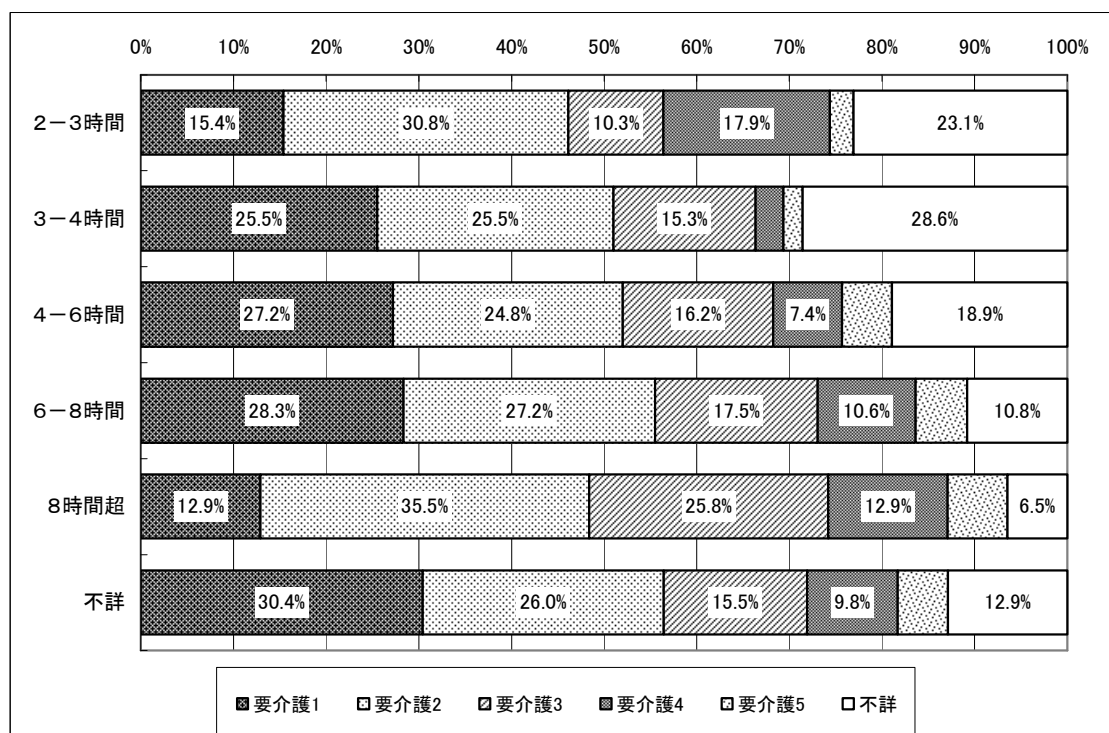
<sup>6</sup>利用期間が1年以上の利用者で、かつ1年間の要介護度の変化が把握できる利用者の平均年齢



平成 23 年 7 月 21 日の通所介護利用者の調査日時点の要介護度は、全体では要介護 1 が最も多く 28.2%、次いで、要介護 2 が 27.0%、要介護 3 が 17.3%であった。また、全体の平均要介護度は 2.37<sup>7</sup>であった。

図表 60 当日の要介護度（通所介護）

通所介護							
サービス提供時間	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不詳	合計
	2-3時間	6 15.4%	12 30.8%	4 10.3%	7 17.9%	1 2.6%	
3-4時間	25 25.5%	25 25.5%	15 15.3%	3 3.1%	2 2.0%	28 28.6%	98 100.0%
4-6時間	161 27.2%	147 24.8%	96 16.2%	44 7.4%	32 5.4%	112 18.9%	592 100.0%
6-8時間	1,820 28.3%	1,744 27.2%	1,126 17.5%	678 10.6%	357 5.6%	695 10.8%	6,420 100.0%
8時間超	4 12.9%	11 35.5%	8 25.8%	4 12.9%	2 6.5%	2 6.5%	31 100.0%
不詳	118 30.4%	101 26.0%	60 15.5%	38 9.8%	21 5.4%	50 12.9%	388 100.0%
合計	2,134 28.2%	2,040 27.0%	1,309 17.3%	774 10.2%	415 5.5%	896 11.8%	7,568 100.0%



<sup>7</sup>利用期間が1年以上の利用者で、かつ1年間の要介護度の変化が把握できる利用者の平均年齢

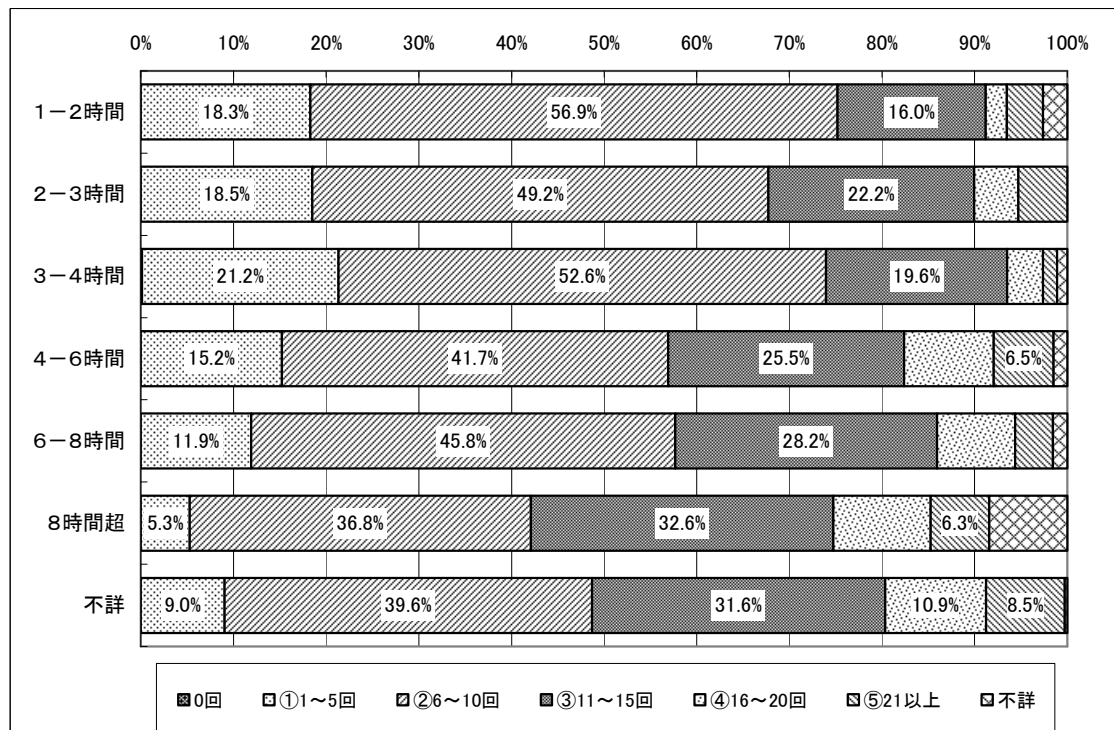


(7) 1ヶ月間の利用回数の状況

平成23年7月21日の通所リハビリテーション利用者の調査月の利用回数は、全体では6～10回が最も多く45.6%、次いで、11～15回が27.6%、1～5回が12.5%であった。

図表 61 1ヶ月間の利用回数（通所リハビリテーション）

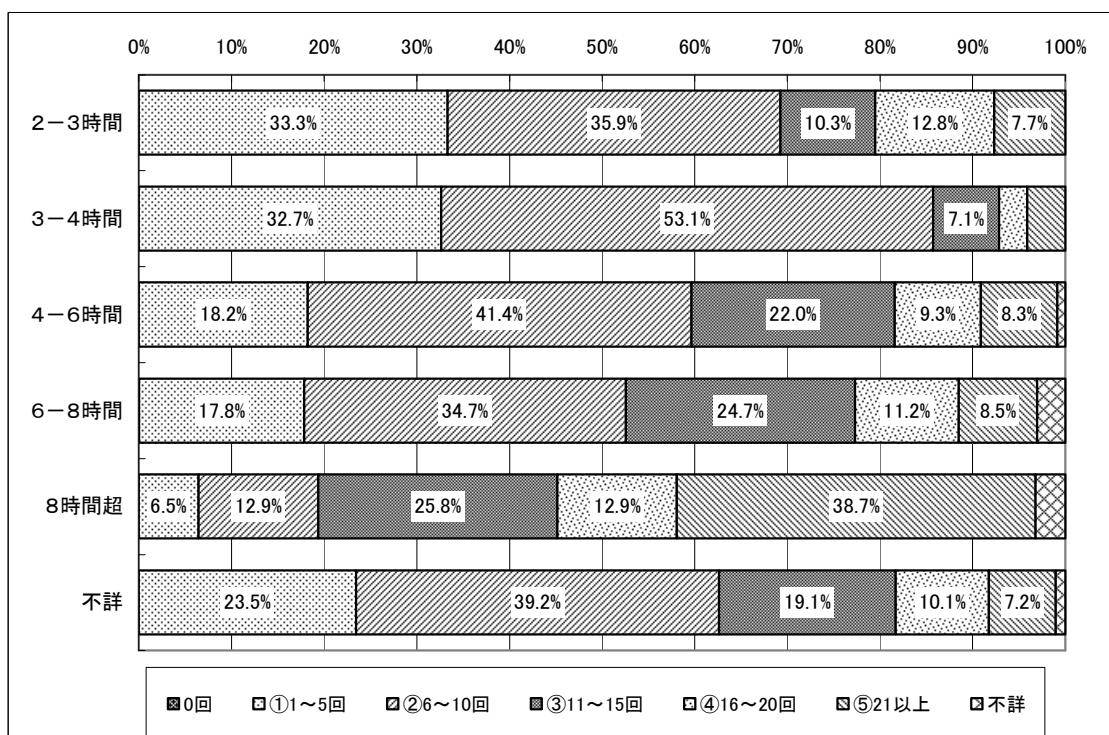
通所リハビリテーション								
サービス提供時間	1ヶ月間の利用回数							合計
	無回答	①1～5回	②6～10回	③11～15回	④16～20回	⑤21以上	不詳	
1～2時間	0	56	174	49	7	12	8	306
	0.0%	18.3%	56.9%	16.0%	2.3%	3.9%	2.6%	100.0%
2～3時間	0	35	93	42	9	10	0	189
	0.0%	18.5%	49.2%	22.2%	4.8%	5.3%	0.0%	100.0%
3～4時間	1	154	382	142	28	11	8	726
	0.1%	21.2%	52.6%	19.6%	3.9%	1.5%	1.1%	100.0%
4～6時間	0	287	785	480	182	122	28	1,884
	0.0%	15.2%	41.7%	25.5%	9.7%	6.5%	1.5%	100.0%
6～8時間	0	2,186	8,393	5,181	1,552	746	285	18,343
	0.0%	11.9%	45.8%	28.2%	8.5%	4.1%	1.6%	100.0%
8時間超	0	5	35	31	10	6	8	95
	0.0%	5.3%	36.8%	32.6%	10.5%	6.3%	8.4%	100.0%
不詳	0	68	298	238	82	64	2	752
	0.0%	9.0%	39.6%	31.6%	10.9%	8.5%	0.3%	100.0%
合計	1	2,791	10,160	6,163	1,870	971	339	22,295
	0.0%	12.5%	45.6%	27.6%	8.4%	4.4%	1.5%	100.0%



平成 23 年 7 月 21 日の通所介護利用者の調査日時点の調査月の利用回数は、全体では 6～10 回が最も多く 35.6%、次いで、11～15 回が 23.9%、1～5 回が 18.4%であった。

図表 62 1ヶ月間の利用回数（通所介護）

通所介護								
サービス提供時間	1ヶ月間の利用回数							合計
	無回答	1～5回	6～10回	11～15回	16～20回	21～25回	26～30回	
2～3時間	0	13	14	4	5	3	0	39
	0.0%	33.3%	35.9%	10.3%	12.8%	7.7%	0.0%	100.0%
3～4時間	0	32	52	7	3	4	0	98
	0.0%	32.7%	53.1%	7.1%	3.1%	4.1%	0.0%	100.0%
4～6時間	0	108	245	130	55	49	5	592
	0.0%	18.2%	41.4%	22.0%	9.3%	8.3%	0.8%	100.0%
6～8時間	3	1143	2229	1587	720	543	195	6420
	0.0%	17.8%	34.7%	24.7%	11.2%	8.5%	3.0%	100.0%
8時間超	0	2	4	8	4	12	1	31
	0.0%	6.5%	12.9%	25.8%	12.9%	38.7%	3.2%	100.0%
不詳	0	91	152	74	39	28	4	388
	0.0%	23.5%	39.2%	19.1%	10.1%	7.2%	1.0%	100.0%
合計	3	1,389	2,696	1,810	826	639	205	7,568
	0.0%	18.4%	35.6%	23.9%	10.9%	8.4%	2.7%	100.0%



(8) 過去1年間の利用の状況

平成23年7月21日の通所リハビリテーション利用者の過去1年間の利用状況は、全体では3ヶ月前(平成23年4月)には87.6%が利用しており、6ヶ月前(平成23年1月)で81.0%、1年前(平成22年8月)でも73.5%が利用していた。

図表 63 過去1年間の利用回数(通所リハビリテーション)

通所リハビリテーション													
サービス提供時間	過去1年間の利用の状況											なし	人数
	H22年08月	H22年09月	H22年10月	H22年11月	H22年12月	H23年01月	H23年02月	H23年03月	H23年04月	H23年05月	H23年06月		
1-2時間	192 62.7%	196 64.1%	202 66.0%	206 67.3%	215 70.3%	222 72.5%	229 74.8%	234 76.5%	255 83.3%	268 87.6%	289 94.4%	8 2.6%	306 100.0%
2-3時間	143 75.7%	145 76.7%	152 80.4%	152 80.4%	153 81.0%	159 84.1%	161 85.2%	168 88.9%	176 93.1%	181 95.8%	184 97.4%	3 1.6%	189 100.0%
3-4時間	539 74.2%	553 76.2%	561 77.3%	571 78.7%	580 79.9%	589 81.1%	601 82.8%	619 85.3%	637 87.7%	650 89.5%	676 93.1%	23 3.2%	726 100.0%
4-6時間	1,417 75.2%	1,445 76.7%	1,480 78.6%	1,520 80.7%	1,544 82.0%	1,556 82.6%	1,585 84.1%	1,633 86.7%	1,688 89.6%	1,726 91.6%	1,781 94.5%	34 1.8%	1,884 100.0%
6-8時間	13,496 73.6%	13,783 75.1%	14,096 76.8%	14,441 78.7%	14,704 80.2%	14,881 81.1%	15,165 82.7%	15,632 85.2%	16,100 87.8%	16,578 90.4%	17,150 93.5%	337 1.8%	18,343 100.0%
8時間超	67 70.5%	67 70.5%	68 71.6%	69 72.6%	69 72.6%	68 71.6%	70 73.7%	72 75.8%	73 76.8%	78 82.1%	86 90.5%	1 1.1%	95 100.0%
不詳	528 70.2%	533 70.9%	542 72.1%	548 72.9%	559 74.3%	578 76.9%	586 77.9%	594 79.0%	610 81.1%	632 84.0%	653 86.8%	9 1.2%	752 100.0%
合計	16,382 73.5%	16,722 75.0%	17,101 76.7%	17,507 78.5%	17,824 79.9%	18,053 81.0%	18,397 82.5%	18,952 85.0%	19,539 87.6%	20,113 90.2%	20,819 93.4%	415 1.9%	22,295 100.0%

平成23年7月21日の通所介護利用者の過去1年間の利用状況は、全体では3ヶ月前(平成23年4月)には88.4%が利用しており、6ヶ月前(平成23年1月)で82.2%、1年前(平成22年8月)でも73.9%が利用していた。

図表 64 過去1年間の利用回数(通所介護)

通所介護													
サービス提供時間	過去1年間の利用の状況											なし	人数
	H22年08月	H22年09月	H22年10月	H22年11月	H22年12月	H23年01月	H23年02月	H23年03月	H23年04月	H23年05月	H23年06月		
2-3時間	30 76.9%	31 79.5%	32 82.1%	33 84.6%	35 89.7%	35 89.7%	33 84.6%	35 89.7%	34 87.2%	36 92.3%	37 94.9%	2 5.1%	39 100.0%
3-4時間	79 80.6%	79 80.6%	79 80.6%	81 82.7%	83 84.7%	85 86.7%	88 89.8%	91 92.9%	91 92.9%	93 94.9%	96 98.0%	0 0.0%	98 100.0%
4-6時間	412 69.6%	420 70.9%	426 72.0%	438 74.0%	446 75.3%	445 75.2%	460 77.7%	472 79.7%	484 81.8%	501 84.6%	529 89.4%	8 1.4%	592 100.0%
6-8時間	4,762 74.2%	4,857 75.7%	5,017 78.1%	5,128 79.9%	5,233 81.5%	5,311 82.7%	5,387 83.9%	5,974 86.8%	5,712 89.0%	5,882 91.6%	6,026 93.9%	107 1.7%	6,420 100.0%
8時間超	21 67.7%	21 67.7%	22 71.0%	22 71.0%	22 71.0%	24 77.4%	25 80.6%	25 80.6%	25 80.6%	27 87.1%	29 93.5%	2 6.5%	31 100.0%
不詳	291 75.0%	298 76.8%	302 77.8%	317 81.7%	320 82.5%	319 82.2%	328 84.5%	339 87.4%	346 89.2%	354 91.2%	365 94.1%	5 1.3%	388 100.0%
合計	5,595 73.9%	5,706 75.4%	5,878 77.7%	6,019 79.5%	6,139 81.1%	6,219 82.2%	6,321 83.5%	6,536 86.4%	6,692 88.4%	6,893 91.1%	7,082 93.6%	124 1.6%	7,568 100.0%

(9) 要介護認定更新申請・区分変更の時期の状況

平成 23 年 7 月 21 日の通所リハビリテーション利用者の過去 1 年間の要介護認定更新申請・区分申請の時期は、全体では行っていない利用者が最も多く 24.2%、次いで 4 ヶ月前（平成 23 年 3 月）が 7.6%であったが月ごとに大きな偏りは見られない。

図表 65 要介護認定更新申請・区分申請の時期（通所リハビリテーション）

通所リハビリテーション													人数
サービス提供時間	要介護認定更新申請・区分変更の時期												
	H22年08月	H22年09月	H22年10月	H22年11月	H22年12月	H23年01月	H23年02月	H23年03月	H23年04月	H23年05月	H23年06月	なし	
1-2時間	14 4.6%	18 5.9%	24 7.8%	11 3.6%	15 4.9%	26 8.5%	24 7.8%	19 6.2%	29 9.5%	29 9.5%	21 6.9%	79 25.8%	306 100.0%
2-3時間	11 5.8%	14 7.4%	9 4.8%	11 5.8%	13 6.9%	8 4.2%	24 12.7%	9 4.8%	14 7.4%	11 5.8%	10 5.3%	50 26.5%	189 100.0%
3-4時間	24 3.3%	50 6.9%	39 5.4%	47 6.5%	40 5.5%	36 5.0%	39 5.4%	48 6.6%	55 7.6%	60 8.3%	53 7.3%	180 24.8%	726 100.0%
4-6時間	112 5.9%	95 5.0%	104 5.5%	114 6.1%	83 4.4%	124 6.6%	133 7.1%	151 8.0%	123 6.5%	116 6.2%	124 6.6%	479 25.4%	1,884 100.0%
6-8時間	1,029 5.6%	1,004 5.5%	1,041 5.7%	919 5.0%	1,138 6.2%	1,135 6.2%	1,277 7.0%	1,406 7.7%	1,256 6.8%	1,278 7.0%	1,289 7.0%	4,431 24.2%	18,343 100.0%
8時間超	5 5.3%	4 4.2%	6 6.3%	5 5.3%	4 4.2%	8 8.4%	7 7.4%	6 6.3%	7 7.4%	7 7.4%	6 6.3%	10 10.5%	95 100.0%
詳細	36 4.8%	33 4.4%	32 4.3%	42 5.6%	25 3.3%	43 5.7%	42 5.6%	50 6.6%	56 7.4%	41 5.5%	50 6.6%	172 22.9%	752 100.0%
合計	1,231 5.5%	1,218 5.5%	1,255 5.6%	1,149 5.2%	1,318 5.9%	1,380 6.2%	1,546 6.9%	1,689 7.6%	1,540 6.9%	1,542 6.9%	1,553 7.0%	5,401 24.2%	22,295 100.0%

平成 23 年 7 月 21 日の通所介護利用者の過去 1 年間の要介護認定更新申請・区分申請の時期は、全体では行っていない利用者が最も多く 22.2%、次いで 4 ヶ月前（平成 23 年 3 月）が 7.6%であったが月ごとに大きな偏りは見られない。

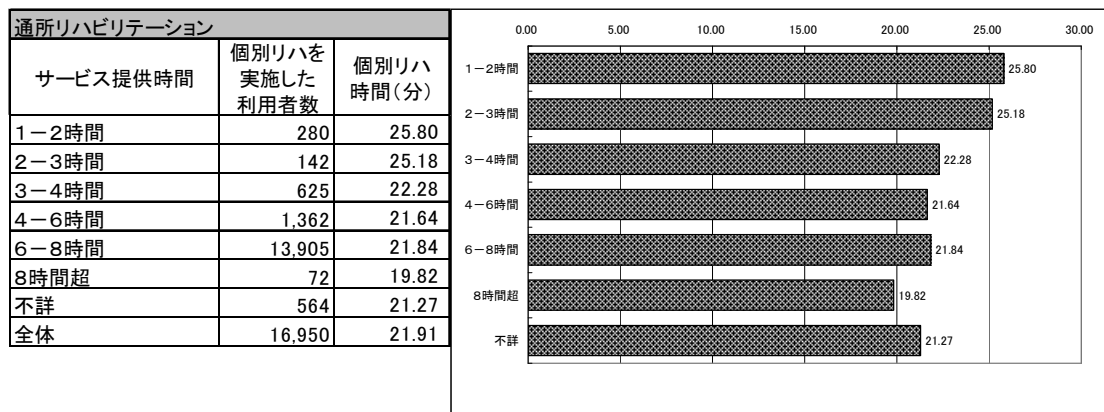
図表 66 要介護認定更新申請・区分申請の時期（通所介護）

通所介護													人数
サービス提供時間	要介護認定更新申請・区分変更の時期												
	H22年08月	H22年09月	H22年10月	H22年11月	H22年12月	H23年01月	H23年02月	H23年03月	H23年04月	H23年05月	H23年06月	なし	
2-3時間	5 12.8%	5 12.8%	3 7.7%	1 2.6%	0 0.0%	1 2.6%	7 17.9%	1 2.6%	1 2.6%	2 5.1%	4 10.3%	9 23.1%	39 100.0%
3-4時間	5 5.1%	9 9.2%	6 6.1%	4 4.1%	7 7.1%	4 4.1%	4 4.1%	11 11.2%	6 6.1%	3 3.1%	7 7.1%	34 34.7%	98 100.0%
4-6時間	29 4.9%	35 5.9%	44 7.4%	40 6.8%	37 6.3%	37 6.3%	35 5.9%	41 6.9%	44 7.4%	38 6.4%	56 9.5%	103 17.4%	592 100.0%
6-8時間	372 5.8%	309 4.8%	325 5.1%	351 5.5%	315 4.9%	358 5.6%	445 6.9%	499 7.8%	482 7.5%	438 6.8%	452 7.0%	1,410 22.0%	6,420 100.0%
8時間超	1 3.2%	2 6.5%	1 3.2%	3 9.7%	2 6.5%	3 9.7%	2 6.5%	2 6.5%	0 0.0%	4 12.9%	1 3.2%	9 29.0%	31 100.0%
不詳	16 4.1%	15 3.9%	24 6.2%	17 4.4%	24 6.2%	23 5.9%	18 4.6%	21 5.4%	31 8.0%	32 8.2%	27 7.0%	114 29.4%	388 100.0%
合計	428 5.7%	375 5.0%	403 5.3%	416 5.5%	385 5.1%	426 5.6%	511 6.8%	575 7.6%	564 7.5%	517 6.8%	547 7.2%	1,679 22.2%	7,568 100.0%

(10) 個別リハビリテーション（機能訓練）の実施状況

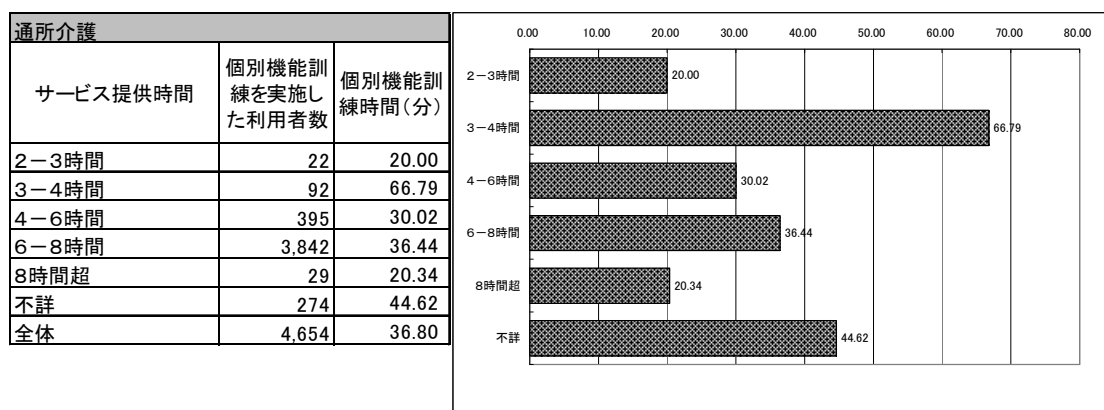
平成23年7月21日の通所リハビリテーション利用者が利用した個別リハビリテーションの時間は、全体では21.9分であった。サービス提供時間別では1-2時間のサービスが最も長く25.8分、次いで、2-3時間のサービスが25.18分であった。また、個別リハビリテーションを実施した利用者の割合（実施率）は全体で76.0%、個別リハビリテーションを実施していないものを含めた利用者1人当たり個別リハビリテーション時間は16.6分であった。

図表 67 個別リハビリテーション（機能訓練）の実施状況（通所リハビリテーション）



平成23年7月21日の通所介護利用者が利用した個別リハビリテーションの時間は、全体では36.8分であった。また、個別機能訓練を実施した利用者の割合（実施率）は全体で61.7%であった。

図表 68 個別リハビリテーション（機能訓練）の実施状況（通所介護）



(11) 個別リハビリテーション（機能訓練）を担当している職種の状況

平成23年7月21日の通所リハビリテーション利用者が利用した個別リハビリテーションを担当した職種は、全体では理学療法士が最も多く62.3%、次いで、作業療法士が35.4%であった。

図表 69 個別リハビリテーション（機能訓練）担当職種（通所リハビリテーション）

通所リハビリテーション					
サービス提供時間	個別リハビリテーションを担当している職種				人数
	PT	OT	ST	PT・OT・ST 以外	
1-2時間	193	75	21	12	280
	68.9%	26.8%	7.5%	4.3%	100.0%
2-3時間	114	54	9	0	142
	80.3%	38.0%	6.3%	0.0%	100.0%
3-4時間	491	150	9	78	625
	78.6%	24.0%	1.4%	12.5%	100.0%
4-6時間	832	484	55	27	1,362
	61.1%	35.5%	4.0%	2.0%	100.0%
6-8時間	8,609	4,963	563	766	13,905
	61.9%	35.7%	4.0%	5.5%	100.0%
8時間超	11	59	1	0	72
	15.3%	81.9%	1.4%	0.0%	100.0%
詳細	318	217	28	14	564
	56.4%	38.5%	5.0%	2.5%	100.0%
合計	10,568	6,002	686	897	16,950
	62.3%	35.4%	4.0%	5.3%	100.0%

平成23年7月21日の通所介護利用者が利用した個別機能訓練を担当した職種は、全体では理学療法士・作業療法士・言語聴覚士以外の職種が実施している場合が最も多く88.3%を占める。

図表 70 個別リハビリテーション（機能訓練）担当職種（通所介護）

通所介護					
サービス提供時間	個別リハビリテーションを担当している職種				人数
	PT	OT	ST	PT・OT・ST 以外	
2-3時間	11	6	5	0	22
	50.0%	27.3%	22.7%	0.0%	100.0%
3-4時間	23	1	0	68	92
	25.0%	1.1%	0.0%	73.9%	100.0%
4-6時間	43	37	0	338	395
	10.9%	9.4%	0.0%	85.6%	100.0%
6-8時間	229	124	11	3,535	3,842
	6.0%	3.2%	0.3%	92.0%	100.0%
8時間超	28	0	0	1	29
	96.6%	0.0%	0.0%	3.4%	100.0%
不詳	25	36	5	167	274
	9.1%	13.1%	1.8%	60.9%	100.0%
合計	359	204	21	4,109	4,654
	7.7%	4.4%	0.5%	88.3%	100.0%

(12) 有している傷病の状況

平成23年7月21日の通所リハビリテーション利用者が有している傷病は、全体では脳血管疾患が47.8%と約半数を占め、認知症が23.2%、心疾患が17.2%、骨折が13.5%であった。

図表 71 有している傷病（通所リハビリテーション）

通所リハビリテーション												
サービス提供時間	脳血管疾患	心疾患	糖尿病	がん	腎不全	慢性呼吸不全	骨折	認知症	パーキンソン病などの神経難病	その他	なし	人数
1-2時間	163	44	43	8	4	1	35	15	32	121	3	306
	53.3%	14.4%	14.1%	2.6%	1.3%	0.3%	11.4%	4.9%	10.5%	39.5%	1.0%	100.0%
2-3時間	111	24	19	5	7	2	30	27	12	66	0	189
	58.7%	12.7%	10.1%	2.6%	3.7%	1.1%	15.9%	14.3%	6.3%	34.9%	0.0%	100.0%
3-4時間	390	78	86	27	15	14	98	57	53	263	10	726
	53.7%	10.7%	11.8%	3.7%	2.1%	1.9%	13.5%	7.9%	7.3%	36.2%	1.4%	100.0%
4-6時間	927	355	306	64	42	32	252	418	145	810	12	1,884
	49.2%	18.8%	16.2%	3.4%	2.2%	1.7%	13.4%	22.2%	7.7%	43.0%	0.6%	100.0%
6-8時間	8,624	3,177	2,707	658	445	283	2,470	4,477	1,319	8,035	254	18,343
	47.0%	17.3%	14.8%	3.6%	2.4%	1.5%	13.5%	24.4%	7.2%	43.8%	1.4%	100.0%
8時間超	32	15	9	8	3	6	20	28	8	22	0	95
	33.7%	15.8%	9.5%	8.4%	3.2%	6.3%	21.1%	29.5%	8.4%	23.2%	0.0%	100.0%
詳細	400	146	120	24	13	9	103	155	56	307	16	752
	53.2%	19.4%	16.0%	3.2%	1.7%	1.2%	13.7%	20.6%	7.4%	40.8%	2.1%	100.0%
合計	10,647	3,839	3,290	794	529	347	3,008	5,177	1,625	9,624	295	22,295
	47.8%	17.2%	14.8%	3.6%	2.4%	1.6%	13.5%	23.2%	7.3%	43.2%	1.3%	100.0%

平成23年7月21日の通所介護利用者が有している傷病は、全体では認知症が38.3%、脳血管疾患が23.8%、心疾患が14.8%であった。

図表 72 有している傷病（通所介護）

通所介護												
サービス提供時間	脳血管疾患	心疾患	糖尿病	がん	腎不全	慢性呼吸不全	骨折	認知症	パーキンソン病などの神経難病	その他	なし	人数
2-3時間	23	3	2	1	1	0	8	5	2	7	1	39
	59.0%	7.7%	5.1%	2.6%	2.6%	0.0%	20.5%	12.8%	5.1%	17.9%	2.6%	100.0%
3-4時間	34	10	9	3	0	0	18	13	5	38	11	98
	34.7%	10.2%	9.2%	3.1%	0.0%	0.0%	18.4%	13.3%	5.1%	38.8%	11.2%	100.0%
4-6時間	133	108	75	29	10	11	46	207	26	267	24	592
	22.5%	18.2%	12.7%	4.9%	1.7%	1.9%	7.8%	35.0%	4.4%	45.1%	4.1%	100.0%
6-8時間	1,508	932	787	267	107	97	475	2,539	307	2,728	355	6,420
	23.5%	14.5%	12.3%	4.2%	1.7%	1.5%	7.4%	39.5%	4.8%	42.5%	5.5%	100.0%
8時間超	5	3	1	0	0	0	0	13	0	10	3	31
	16.1%	9.7%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	41.9%	0.0%	32.3%	9.7%	100.0%
不詳	96	64	46	21	4	2	29	124	18	164	27	388
	24.7%	16.5%	11.9%	5.4%	1.0%	0.5%	7.5%	32.0%	4.6%	42.3%	7.0%	100.0%
合計	1,799	1,120	920	321	122	110	576	2,901	358	3,214	421	7,568
	23.8%	14.8%	12.2%	4.2%	1.6%	1.5%	7.6%	38.3%	4.7%	42.5%	5.6%	100.0%

(13) 実施している医療的ケアの状況

平成23年7月21日の通所リハビリテーション利用者を実施している医療的ケアは、全体では服薬管理が43.4%であった他は、多くの利用者を実施している医療的ケアは見られなかった。

図表 73 実施している医療的ケア（通所リハビリテーション）

通所リハビリテーション												
サービス提供時間	実施している医療的ケア											
	胃ろう・経鼻 経管栄養による 栄養管理	膀胱のカ テーテルの 管理	人工肛門の ケア	たんの吸引	ネブライ ザー	酸素療法	気管切開の ケア	人工呼吸器 の管理	褥瘡の処置	インスリン注 射	道尿	洗腸
1-2時間	0 0.0%	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.7%	0 0.0%	1 0.3%
2-3時間	0 0.0%	0 0.0%	2 1.1%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	2 1.1%	0 0.0%	0 0.0%
3-4時間	5 0.7%	7 1.0%	2 0.3%	3 0.4%	0 0.0%	5 0.7%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.4%	1 0.1%	1 0.1%
4-6時間	23 1.2%	25 1.3%	8 0.4%	15 0.8%	1 0.1%	6 0.3%	3 0.2%	0 0.0%	27 1.4%	26 1.4%	7 0.4%	16 0.8%
6-8時間	198 1.1%	214 1.2%	104 0.6%	113 0.6%	10 0.1%	86 0.5%	26 0.1%	10 0.1%	261 1.4%	249 1.4%	51 0.3%	104 0.6%
8時間超	2 2.1%	1 1.1%	1 1.1%	1 1.1%	1 1.1%	2 2.1%	1 1.1%	0 0.0%	2 2.1%	2 2.1%	1 1.1%	1 1.1%
詳細	7 0.9%	13 1.7%	3 0.4%	5 0.7%	0 0.0%	2 0.3%	1 0.1%	0 0.0%	8 1.1%	12 1.6%	0 0.0%	3 0.4%
合計	235 1.1%	261 1.2%	120 0.5%	138 0.6%	12 0.1%	101 0.5%	32 0.1%	10 0.0%	299 1.3%	296 1.3%	60 0.3%	126 0.6%

サービス提供時間	実施している医療的ケア			人数
	摘便	服薬管理	その他	
1-2時間	1 0.3%	70 22.9%	26 8.5%	306 100.0%
2-3時間	0 0.0%	16 8.5%	20 10.6%	189 100.0%
3-4時間	5 0.7%	107 14.7%	68 9.4%	726 100.0%
4-6時間	18 1.0%	756 40.1%	320 17.0%	1,884 100.0%
6-8時間	178 1.0%	8,294 45.2%	3,153 17.2%	18,343 100.0%
8時間超	3 3.2%	54 56.8%	25 26.3%	95 100.0%
詳細	7 0.9%	368 48.9%	128 17.0%	752 100.0%
合計	212 1.0%	9,665 43.4%	3,740 16.8%	22,295 100.0%



平成 23 年 7 月 21 日の通所介護利用者に実施している医療的ケアは、全体では服薬管理が 39.6%であった他は、多くの利用者に実施している医療的ケアは見られなかった。

図表 74 実施している医療的ケア（通所介護）

通所介護												
サービス提供時間	実施している医療的ケア											
	胃ろう・経鼻 経管栄養による栄養管理	膀胱のカ テーテルの 管理	人工肛門の ケア	たんの吸引	ネブライ ザー	酸素療法	気管切開の ケア	人工呼吸器 の管理	褥瘡の処置	インスリン注 射	道尿	洗腸
2-3時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3-4時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%
4-6時間	5	7	3	2	1	3	0	1	7	6	1	1
	0.8%	1.2%	0.5%	0.3%	0.2%	0.5%	0.0%	0.2%	1.2%	1.0%	0.2%	0.2%
6-8時間	52	55	28	26	3	32	8	0	104	60	18	45
	0.8%	0.9%	0.4%	0.4%	0.0%	0.5%	0.1%	0.0%	1.6%	0.9%	0.3%	0.7%
8時間超	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%
不詳	0	3	2	0	0	1	0	0	9	1	2	1
	0.0%	0.8%	0.5%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	2.3%	0.3%	0.5%	0.3%
合計	58	65	33	28	4	36	8	1	121	69	21	47
	0.8%	0.9%	0.4%	0.4%	0.1%	0.5%	0.1%	0.0%	1.6%	0.9%	0.3%	0.6%

サービス提供時間	実施している医療的ケア			人数
	排便	服薬管理	その他	
2-3時間	0	7	0	39
	0.0%	17.9%	0.0%	100.0%
3-4時間	0	6	12	98
	0.0%	6.1%	12.2%	100.0%
4-6時間	2	244	63	592
	0.3%	41.2%	10.6%	100.0%
6-8時間	100	2,567	903	6,420
	1.6%	40.0%	14.1%	100.0%
8時間超	2	22	7	31
	6.5%	71.0%	22.6%	100.0%
不詳	5	154	131	388
	1.3%	39.7%	33.8%	100.0%
合計	109	3,000	1,116	7,568
	1.4%	39.6%	14.7%	100.0%

(14) 算定している加算の状況

平成23年7月21日の通所リハビリテーション利用者が算定している加算は、全体ではリハビリテーションマネジメント加算が73.9%、個別リハビリテーション加算が65.6%であった。

図表 75 算定している加算（通所リハビリテーション）

通所リハビリテーション							
サービス提供時間	算定している加算						人数
	リハビリテーションマネジメント加算	短期集中リハビリテーション加算	個別リハビリテーション加算	老健での通所リハにおける訪問の加算	認知症短期集中リハビリテーション	算定なし	
1-2時間	203	18	79	1	0	79	306
	66.3%	5.9%	25.8%	0.3%	0.0%	25.8%	100.0%
2-3時間	134	8	128	0	1	34	189
	70.9%	4.2%	67.7%	0.0%	0.5%	18.0%	100.0%
3-4時間	438	33	482	0	0	159	726
	60.3%	4.5%	66.4%	0.0%	0.0%	21.9%	100.0%
4-6時間	1,288	81	1,205	21	3	332	1,884
	68.4%	4.3%	64.0%	1.1%	0.2%	17.6%	100.0%
6-8時間	13,686	900	12,112	11	28	2,680	18,343
	74.6%	4.9%	66.0%	0.1%	0.2%	14.6%	100.0%
8時間超	87	4	62	0	0	3	95
	91.6%	4.2%	65.3%	0.0%	0.0%	3.2%	100.0%
詳細	633	32	550	1	6	62	752
	84.2%	4.3%	73.1%	0.1%	0.8%	8.2%	100.0%
合計	16,469	1,076	14,618	34	38	3,349	22,295
	73.9%	4.8%	65.6%	0.2%	0.2%	15.0%	100.0%

(15) 併用している居宅サービスの状況

平成23年7月21日の通所リハビリテーション利用者が併用している居宅サービスは、全体では訪問介護が18.1%、通所介護が13.7%であり、訪問リハビリテーション、訪問看護の併用は少なかった。

図表 76 併用している居宅サービス（通所リハビリテーション）

通所リハビリテーション							
サービス提供時間	併用している居宅サービス						人数
	通所介護	訪問介護	訪問リハ	訪問看護	その他の介護保険サービス	不明	
1-2時間	49	65	20	10	79	6	306
	16.0%	21.2%	6.5%	3.3%	25.8%	2.0%	
2-3時間	40	34	9	7	45	11	189
	21.2%	18.0%	4.8%	3.7%	23.8%	5.8%	
3-4時間	129	157	38	39	264	56	726
	17.8%	21.6%	5.2%	5.4%	36.4%	7.7%	
4-6時間	267	395	47	106	769	101	1884
	14.2%	21.0%	2.5%	5.6%	40.8%	5.4%	
6-8時間	2476	3228	523	1153	8212	1152	18343
	13.5%	17.6%	2.9%	6.3%	44.8%	6.3%	
8時間超	15	13	2	3	42	9	95
	15.8%	13.7%	2.1%	3.2%	44.2%	9.5%	
詳細	69	144	21	42	275	48	752
	9.2%	19.1%	2.8%	5.6%	36.6%	6.4%	
合計	3,045	4,036	660	1,360	9,686	1,383	22,295
	13.7%	18.1%	3.0%	6.1%	43.4%	6.2%	

平成23年7月21日の通所介護利用者が併用している居宅サービスは、全体では訪問介護が19.4%であり、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション、訪問看護の併用は少なかった。

図表 77 併用している居宅サービス（通所介護）

通所介護							
サービス提供時間	併用している居宅サービス						人数
	通所リハ	訪問介護	訪問リハ	訪問看護	その他の介護保険サービス	不明	
2-3時間	5	3	1	5	7	1	39
	12.8%	7.7%	2.6%	12.8%	17.9%	2.6%	
3-4時間	11	22	0	9	32	14	98
	11.2%	22.4%	0.0%	9.2%	32.7%	14.3%	
4-6時間	29	174	19	32	180	36	592
	4.9%	29.4%	3.2%	5.4%	30.4%	6.1%	
6-8時間	231	1,195	99	281	2,256	384	6,420
	3.6%	18.6%	1.5%	4.4%	35.1%	6.0%	
8時間超	0	11	0	1	2	12	31
	0.0%	35.5%	0.0%	3.2%	6.5%	38.7%	
不詳	18	63	11	23	127	19	388
	4.6%	16.2%	2.8%	5.9%	32.7%	4.9%	
合計	294	1,468	130	351	2,604	466	7,568
	3.9%	19.4%	1.7%	4.6%	34.4%	6.2%	

## Ⅵ リハビリテーションの実施状況に関するヒアリング調査

通所リハビリテーションおよび通所介護サービスに関する調査の結果、過去 1 年間の利用者の平均要介護度の変化が大きかった 3 事業所について、当該事業所におけるリハビリテーションの提供状況についてヒアリング調査を実施した。各事業所からの聞き取りの結果は次の通りであった。

1 年間の平均要介護度の改善が大きい事業所 A
質問 1. 要介護 4, 5 の利用者は現在どの程度受け入れているのか。1 日の利用者の中で何%程度か (何人中何人くらいか) ・登録者のうち要介護 4・5 は 9.1%。
質問 2. 医療的ケアが必要な利用者 (吸引、胃瘻、気管切開等) は受け入れているのか。受け入れ可能な場合は、医療的ケア別に、現在 1 日あたり何名程度受け入れており、1 日あたり最大何名まで受け入れ可能なのか。 ・以前は医療的ケアを必要とする方もいたが、施設入所や他のサービスに移行したため、現在はほとんどいない。服薬管理を要する方が多い。
質問 3. どのような利用者が受け入れ困難か。また、受け入れが困難である理由は何か。(身体介助が重介助、医療的ケアが必要、B P S D が強い、独居、遠方) ・希望者は基本的に受け入れている。
質問 4. 利用終了する利用者の理由。 (新規利用者のうちリハビリの目標を達成したための終了はどの程度か。逆に病状悪化による入院のため終了はどの程度あるか) ・把握していない。
質問 5. 利用待ちはどの程度あるか。その期間はどの程度の長さか。 ・把握していない。
質問 6. 典型的な利用者の一日の流れはどのようになっているか。 ・午前：バイタルチェック→入浴もしくはリハ (順番に個別リハ) →集団体操→嚥下体操→お昼ご飯 ・午後：レクリエーションもしくはリハ (順番に個別リハ) →おやつ
質問 7. 個別リハビリの提供時間とそのメニューはどのようになっているのか。 ・看護職の役割は、健康管理 (バイタルチェック、体の状態の観察など)、服薬管理などであり、リハは行っていない。 ・基本的には個別リハ。個別リハはセラピスト (リハ職) が行っており、個別リハは利用者一人当たり 20~30 分程度。必ずセラピストがマンツーマンで行う。

### 1年間の平均要介護度の悪化が大きい事業所 A

質問1.要介護4,5の利用者は現在どの程度受け入れているのか。1日の利用者の中で何%程度か(何人中何人くらいか)

- ・登録者のうち要介護4・5は11.4%。要介護2が50%を占めている。

質問2.医療的ケアが必要な利用者(吸引、胃瘻、気管切開等)は受け入れているのか。受け入れ可能な場合は、医療的ケア別に、現在1日あたり何名程度受け入れており、1日あたり最大何名まで受け入れ可能なのか。

- ・以前は医療的ケアを必要とする方もいたが、施設入所や他のサービスに移行したため、現在はほとんどいない。服薬管理を要する方が多い。

質問3.どのような利用者が受け入れ困難か。また、受け入れが困難である理由は何か。(身体介助が重介助、医療的ケアが必要、BPSDが強い、独居、遠方)

- ・受け入れ困難なケースは特になし。断ったケースもない。
- ・ただし、高齢者が多く、機能を維持できれば十分生活できるため、維持を目標としたリハが中心である。

質問4.利用終了する利用者の理由。

(新規利用者のうちリハビリの目標を達成したための終了はどの程度か。逆に病状悪化による入院のため終了はどの程度あるか)

- ・改善して利用終了する方はまずいない。病状悪化・急変で入院するケースが大半。
- ・もともと改善の余地がない方が多い。
- ・診療所併設の通所リハのため、急性期リハを終えて、維持期リハを目的として利用する方が多い傾向。中には改善の余地がある方もいるが、利用者の多くは、脳梗塞で入院し、片麻痺や歩行障害が残って軽いリハを終えて生活機能維持のために通所リハに来るパターン。よって、(惰性的に)長期間利用するケースが多くなる。利用者の平均利用期間は5年程度。長い方だと9年間。

質問5.利用待ちはどの程度あるか。その期間はどの程度の長さか。

- ・利用待ちの方はいない。
- ・回数の増加を希望している方はいるが、定員の関係で増やせない希望に沿えずにいる。そういった方は併設の通所介護を利用してもらっている。

質問6.典型的な利用者の一日の流れはどのようになっているか。

- ・回答なし

質問7.個別リハビリの提供時間とそのメニューはどのようになっているのか。

- ・1日の定員は20人、1日の利用者はだいたい19~20人。集団リハも行っているが、全員個別リハを実施している。個別リハは利用者一人当たり20~30分で、リハ職がマンツーマンで対応。個別リハのメニューは医師、リハ職のアセスメント(3ヶ月に1回)に従って個別に決めている。

- ・リハ職は3人（非常勤）。週1回が2人、週3回が1人。
- ・個別リハ以外のリハメニューは歩行訓練が多い。介護職がマンツーマンに近い形で見守りながら行っている。

#### 1年間の平均要介護度の悪化が大きい事業所B

質問1.要介護4,5の利用者は現在どの程度受け入れているのか。1日の利用者の中で何%程度か（何人中何人くらいか）

- ・要介護4～5の利用者は全体の25%程度。1日の利用者の中でもだいたい25%程度を占める。

質問2.医療的ケアが必要な利用者（吸引、胃瘻、気管切開等）は受け入れているのか。受け入れ可能な場合は、医療的ケア別に、現在1日あたり何名程度受け入れており、1日あたり最大何名まで受け入れ可能なのか。

- ・医療的ケアが必要な方は、1日の利用者（20名）のうち多くても2名（1割）で、いない日の方が多い。
- ・医療的ケアが必要な方の中では「吸引」の方が多い。以前からその傾向は変わらず。

質問3.どのような利用者が受け入れ困難か。また、受け入れが困難である理由は何か。（身体介助が重介助、医療的ケアが必要、BPSDが強い、独居、遠方）

- ・基本的には老健はリハビリ目的のサービスなので、重度の方や寝たきりの方は利用受け入れ困難。申し込みがあってもお断りしたケースもある。それ以外は基本的に受け入れている。
- ・認知症（大腿部骨折あり、手術後リハ開始）の方の例で、歩けるようになって徘徊するようになり、他の利用者の迷惑になったため困ったケースがあった（過去に1名）。

質問4.利用終了する利用者の理由。

（新規利用者のうちリハビリの目標を達成したための終了はどの程度か。逆に病状悪化による入院のため終了はどの程度あるか）

- ・利用終了の大半は再入院となるケースである（数ヶ月に1名程度）。再入院の理由は病状悪化である場合も多いが、別の傷病で再入院になるケースも少なくない。死亡による利用終了となるケース（年に数名程度）や、特養入所のため利用終了となるケースもある。死亡による利用終了のパターンは、転倒で骨折して再入院し、その後肺炎などを起こして亡くなるなど。
- ・自立になったため利用終了となる方は年に1名いるかないか。自立まで回復するケースは、もともと認知症がなく、脳梗塞で麻痺が少し出たためにリハを開始するようなケースである。自立まで回復した方の中には、利用開始時から車の運転が可能だった方もいる。
- ・去年は死亡による利用終了のケースが多かった。

質問 5.利用待ちはどの程度あるか。その期間はどの程度の長さか。

- ・ いない。利用申し込み後、判定が終わり次第、利用開始。

質問 6.典型的な利用者の一日の流れはどのようになっているか。

- ・ 6-8 時間がメイン。
- ・ 3-4 時間の方は 1 名だけで、入浴なしでリハのみ。6-8 時間のメニューと同時に始めて、時間がきたら切り上げる。

質問 7.個別リハビリの提供時間とそのメニューはどのようになっているのか。

- ・ 看護職の役割は、介護職ができないケアを行うこと。例えば入浴時の全身状態の観察、バイタルチェック、緊急時の対応など。個別リハは担当していない。
- ・ 1 日の利用者は約 20 人。職員は、リハ班 (PT が 2 人、OT が 1 人) とレクリエーション班 (主に介護職員。レクリエーションやトイレ介助などを行う) の 2 班構成で対応。
- ・ 個別リハを実施するのは、医師から指示があった方、もしくは PT・OT がアセスメントして個別リハが必要と判断された方のみ。個別リハ対象になりやすいのは発病後・受傷後すぐの方や、機能維持目的の方。利用者のうち、退院直後の利用者は 1 割程度、残りは慢性期の方。
- ・ 個別リハの内容は、歩行訓練、筋力トレーニング、バランス訓練、関節拘縮がある方は可動域訓練などである。リハメニューは PT・OT などのアセスメントを基に個々の利用者の症状に応じて決めている。
- ・ PT・OT が直接リハを行う時間は利用者 1 人当たり 20~30 分。この時間で足りない方は、介護スタッフが付き添って歩行訓練などのリハを実施。中には午前中いっぱいリハを行う方も。リハ以外の時間は、レクリエーションに参加したり入浴したりして過ごす。その場合はレク班が対応。
- ・ 高齢の方は長時間のリハは困難なため、リハを行う時間はどうしても短くなる。
- ・ 現在は 20 人のリハを PT (2 名)、OT (1 人) で対応しているが、利用者に個別リハを十分実施するにはリハ職があと 2 名はほしい。

## Ⅶ リハビリテーション（機能訓練）の実施状況に関する考察

### 1. 通所リハビリテーションと通所介護におけるリハビリテーション（機能訓練）実施状況の比較<sup>8</sup>

#### （1）利用者属性の比較

平成 23 年 7 月 21 日における通所リハビリテーション事業所と通所介護事業所のサービス時間区分別の利用者数を比較すると、通所リハビリテーション、通所介護共に 6 - 8 時間のサービスが 8 割以上を占めており、大きな差は見られない。

図表 78 サービス時間区分別利用者数の比較

	通所リハビリテーション		通所介護	
	割合(%)	利用者数	割合(%)	利用者数
1時間以上～2時間未満	1.4%	301	—	—
2時間以上～3時間未満	0.9%	189	0.6%	39
3時間以上～4時間未満	3.4%	726	1.2%	87
4時間以上～6時間未満	8.9%	1,884	8.4%	592
6時間以上～8時間未満	85.0%	18,087	89.3%	6,260
8時間超	0.4%	95	0.4%	31
合計	100.0%	21,282	100.0%	7,009

平成 23 年 7 月 21 日における通所リハビリテーション事業所と通所介護事業所の主な利用者属性を比較すると、次の通りであり、年齢については通所介護事業所が通所リハビリテーション事業所よりも高いが、事業所の平均利用期間及び平均要介護度については、大きな差は見られない。

図表 79 利用者属性の比較

	通所リハビリテーション事業所	通所介護事業所
回答利用者数	22,295 人	7,568 人
平均年齢 <sup>※2</sup>	80.1 歳	84.1 歳
平均利用期間(月)	49.6 ヶ月	48.0 ヶ月
平均要介護度(調査時)	2.3	2.3

<sup>8</sup>分析内容に応じて無回答等を除いて分析しているため、「Ⅴ通所リハビリテーション及び通所介護サービスに関する調査の結果」に掲載している結果とは合計等が一致しない場合がある。



また、利用者が有している傷病の状況を比較すると、通所リハビリテーションでは脳血管疾患を持つ利用者の割合が高く、通所介護では認知症を持つ利用者の割合が高いが、その他の疾患については大きな差は見られない。

図表 80 傷病状況の比較

	通所リハビリテーション (n=22295)		通所介護 (n=7568)	
	割合(%)	利用者数	割合(%)	利用者数
脳血管疾患	47.8%	10,647	23.8%	1,799
心疾患	17.2%	3,839	14.8%	1,120
糖尿病	14.8%	3,290	12.2%	920
がん	3.6%	794	4.2%	321
腎不全	2.4%	529	1.6%	122
慢性呼吸不全	1.6%	347	1.5%	110
骨折	13.5%	3,008	7.6%	576
認知症	23.2%	5,177	38.3%	2,901
神経難病	7.3%	1,625	4.7%	358
その他	43.2%	9,624	42.5%	3,214
なし	1.3%	295	5.6%	421

また、利用者が受けている医療的ケアの状況を比較すると、通所リハビリテーション、通所介護の双方について、服薬管理を受けている割合が最も高く、その他の医療的ケアを受けている割合については大きな差は見られない。

図表 81 医療的ケアの状況の比較

	通所リハビリテーション (n=22295)		通所介護 (n=7568)	
	割合(%)	利用者数	割合(%)	利用者数
胃ろう・経鼻経管栄養による栄養管理	1.1%	235	0.8%	58
膀胱(留置)カテーテルの管理	1.2%	261	0.9%	65
人工肛門(ストーマ)のケア	0.5%	120	0.4%	33
たんの吸引	0.6%	138	0.4%	28
ネブライザー	0.1%	12	0.1%	4
酸素療法(酸素吸入)	0.5%	101	0.5%	36
気管切開のケア	0.1%	32	0.1%	8
人工呼吸器の管理	0.0%	10	0.0%	1
褥瘡の処置	1.3%	299	1.6%	121
インスリン注射	1.3%	296	0.9%	69
導尿	0.3%	60	0.3%	21
浣腸	0.6%	126	0.6%	47
排便	1.0%	212	1.4%	109
服薬管理	43.4%	9,665	39.6%	3,000
その他	16.8%	3,740	14.7%	1,116

(2) 個別リハビリテーション及び個別機能訓練の実施状況の比較

通所リハビリテーション事業所及び通所介護事業所の利用期間が1年以上の利用者について、個別リハビリテーション及び個別機能訓練の実施状況を比較すると次の通りであった。実施率（利用者のうち個別リハビリテーション・個別機能訓練を利用している利用者の割合）は通所リハビリテーション事業所が76.0%、通所介護事業所が61.7%であり、通所リハビリテーションのほうが高い割合であった。また、リハビリテーション専門職・機能訓練指導員が個別リハビリテーション・個別機能訓練を実施している割合は、通所リハビリテーションが93.7%であるのに対し、通所介護事業所では7.8%であった。通所介護事業所ではリハビリテーション専門職以外の職種が実施する割合が89.1%と大半を占めている。

個別リハビリテーション・個別機能訓練をリハビリテーション専門職が実施する場合の1回当たり実施時間は通所リハビリテーション事業所が21.5分、通所介護事業所が23.9分であり、大きな差はみられなかった。

図表 82 個別リハビリテーション及び個別機能訓練の実施状況の比較

	通所介護事業所				通所リハビリテーション事業所			
個別リハビリ・個別機能訓練実施率	61.7%				76.0%			
個別リハビリ・個別機能訓練実施利用者の割合※	全職種				全職種			
		リハ職が実施	リハ職以外が実施	リハ職・リハ職以外の双方が実施		リハ職が実施	リハ職以外が実施	リハ職・リハ職以外の双方が実施
	3,033人 (100%)	236人 (7.8%)	2,703人 (89.1%)	136人 (4.5%)	11,889人 (100%)	11,141人 (93.7%)	627人 (5.3%)	285人 (2.4%)
個別リハビリ・個別機能訓練実施時間(分)※ (個別リハ、個別訓練実施利用者一人当たりの時間)	39.4分	23.9分 (2.6分)	40.7分	36.7分	21.9分	21.5分 (16.1分)	29.4分	34.6分

※個別リハビリを実施している職種が不詳の利用者を除いて集計している。( )内は個別リハビリを実施していない利用者を含んだ平均値。

また、1事業所あたりの常勤換算職員配置数を比較すると、通所リハビリテーション事業所はリハビリテーション専門職の配置数が多く、通所介護事業所は看護職員の配置数が多い。

図表 83 1事業所あたりの常勤換算職員配置数の比較

	通所リハビリテーション 事業所	通所介護事業所
1事業所あたりのリハビリ職常勤 換算配置数(人)	1.75 人	0.11 人
1事業所あたりの看護職員常勤 換算配置数(人)	1.00 人	1.20 人

## 2. 通所リハビリテーション事業所における個別リハビリテーションの実施状況<sup>9</sup>

### (1) サービス提供時間区分別

通所リハビリテーション事業所における個別リハビリテーション実施率は、全体では実施率 76.0%であった。また、1人あたりの個別リハビリテーション提供時間は 16.6 分であった。

サービス提供時間区分別に比較すると、1-2 時間のサービス提供時間区分では他の時間区分と比較して個別リハビリテーション実施率及び個別リハビリテーション提供時間が大きい。他の時間区分においては顕著な差は見られない。

図表 84 サービス提供時間区分別個別リハビリテーション実施率

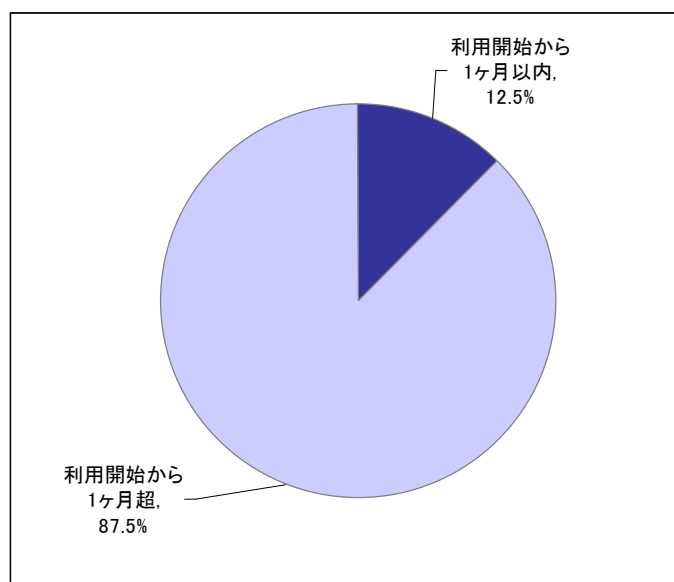
サービス提供時間	事業所数	利用者数	個別リハ利用者数	個別リハ実施率	利用者1人当たり個別リハ時間(分)
				平均値	平均値
全体				76.0%	16.6
1-2時間	52	301	275	91.4%	23.7
2-3時間	21	189	142	75.1%	18.9
3-4時間	75	726	625	86.1%	19.2
4-6時間	161	1,884	1,362	72.3%	15.6
6-8時間	871	18,087	13,693	75.7%	16.5
8時間超	8	95	72	75.8%	15.0

<sup>9</sup> 分析内容に応じて無回答等を除いて分析しているため、「V通所リハビリテーションおよび通所介護サービスに関する調査の結果」に掲載している結果とは合計等が一致しない場合がある。

ここで、1－2時間のサービス利用者のうち、40分以上の個別リハビリテーションを受けている利用者について、利用開始からの期間を見てみると以下の通りであった。現在の短期集中リハビリテーション実施加算は退院（所）後、1ヶ月以内は40分の個別リハビリを、2ヶ月～3ヶ月以内は20分の個別リハビリを評価しているが、利用開始から1ヶ月を超えた利用者が8割以上を占めている。

図表 85 利用期間

利用開始からの期間	1－2時間の利用者のうち 40分以上の個別リハ利用者	
	利用者数	割合(%)
1ヶ月以内	5	12.5%
2～3ヶ月以内	7	17.5%
3ヶ月超	28	70.0%
合計	40	100.0%



(参考) 短期集中リハビリテーション実施加算

退院（所）日等～1月：

個別リハ 40分×2日/週以上実施が算定要件（280単位/日）

退院（所）日等から1月～3月：

個別リハ 20分×2日/週以上実施が算定要件（140単位/日）

※退院（所）日等から3月以降は個別リハに係る加算はない。

(2) 開設主体別

開設主体別に比較すると、介護老人保健施設、診療所、病院のいずれにおいても顕著な差は見られない。

図表 86 開設主体別

開設主体	事業所数	利用者数	個別リハ利用者数	個別リハ実施率	利用者1人当たり個別リハ時間(分)
				平均値	平均値
全職員				76.0%	16.6
介護老人保健施設	540	12,537	9,336	74.5%	16.1
診療所	255	4,561	3,475	76.2%	16.6
病院	228	4,827	3,831	79.4%	17.9

(3) リハビリテーション専門職 (PT/OT/ST) 1人当たり平均実施時間

リハビリテーション専門職 1人当たりの個別リハビリテーション実施時間を比較すると、いずれのサービス提供時間区分においても、顕著な差は見られない。

図表 87 サービス提供時間別

サービス提供時間	事業所数	職員数	職員1人当たり個別リハ時間(分)	個別リハ従事1人当たり個別リハ時間(分)	職員1人当たり個別リハ利用者数
			平均値	平均値	平均値
全体	1,031	3,800	124.0	124.4	4.2
1-2時間	49	159	100.1	100.1	1.6
2-3時間	20	61	104.3	104.3	2.3
3-4時間	71	226	98.9	98.9	2.5
4-6時間	155	413	107.0	107.3	3.2
6-8時間	841	2,829	129.4	129.8	4.6
8時間超	8	19	168.2	168.2	3.7

#### (4) 個別リハビリテーション提供時間区分別利用者数

個別リハビリテーションを提供した時間別の利用者数をみると、92.1%が20～39分であり、40分以上の個別リハビリテーションを利用した利用者は5.6%であった。

図表 88 提供した時間別の利用者数

個別リハ時間区分	個別リハ利用者数	
20分未満	125	0.7%
20～39分	15,392	92.1%
40分～	935	5.6%
不詳	267	1.6%
合計	16,719	100.0%

#### (5) 個別リハビリテーション実施率別事業所数

個別リハビリテーション実施率別の事業所数をみると、実施率80%以上の事業所が58%を占めている。一方で、実施率が40%未満の事業所が13.5%存在し、個別リハビリテーションの実施状況は事業所によってばらつきがみられる。

図表 89 実施率別の事業所数

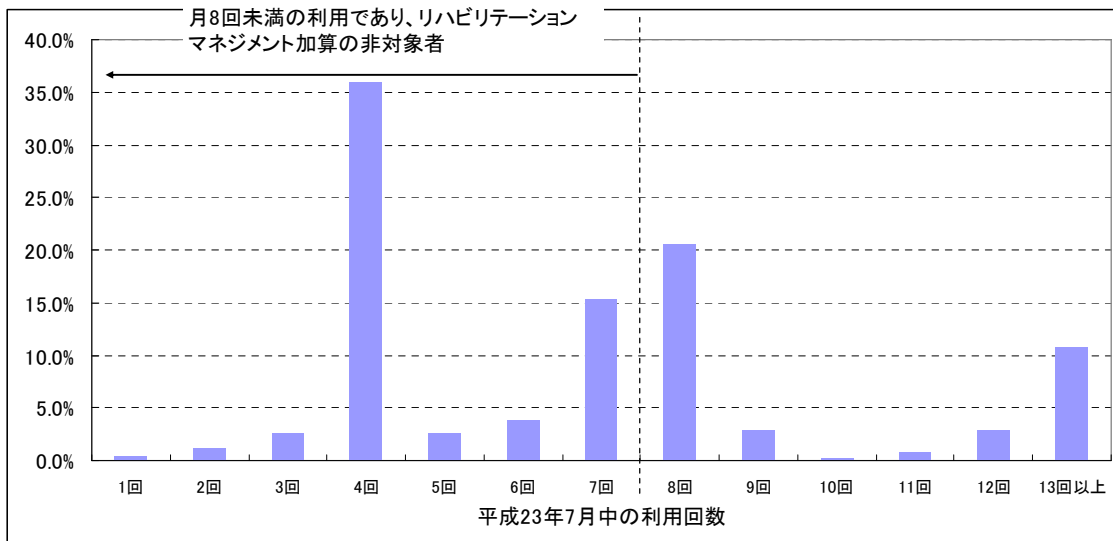
個別リハ実施率	事業所数	
0%	40	3.9%
～20%未満	28	2.7%
20～40%未満	71	6.9%
40～60%未満	103	10.0%
60～80%未満	183	17.7%
80～100%未満	236	22.9%
100%	362	35.1%
不詳	8	0.8%
合計	1,031	100.0%

(6) リハビリテーションマネジメント加算を算定していない利用者の月あたり通所リハビリ利用回数

リハビリテーションマネジメント加算を算定していない利用者について、平成23年7月中の通所リハビリテーション利用回数を見ると、8回未満の利用が半数以上を占め、4回（月1回）の利用者が最も多かった。

図表 90 マネジメント加算の算定していない利用者の7月中利用回数

平成23年7月中の 利用回数	利用者数	
	利用者数	割合
1回	20	0.4%
2回	58	1.2%
3回	130	2.7%
4回	1,760	35.9%
5回	129	2.6%
6回	190	3.9%
7回	753	15.4%
8回	1,005	20.5%
9回	138	2.8%
10回	16	0.3%
11回	38	0.8%
12回	139	2.8%
13回以上	528	10.8%
総数	4,904	100.0%



(参考) リハビリテーションマネジメント加算

- ・ 1月に8回以上通所している場合に、1月に1回算定するものとする。
- ・ 医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士その他の職種の者が共同して、利用者ごとのリハビリテーション実施計画を作成していること。

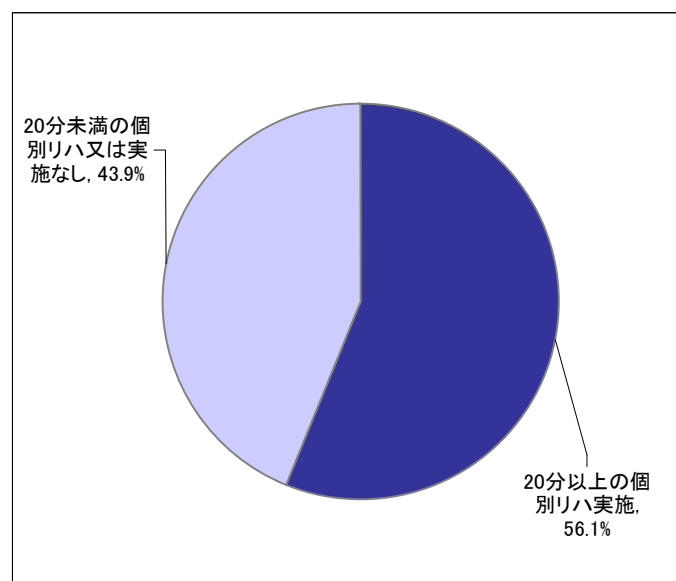


- ・利用者ごとのリハビリテーション実施計画に従い医師又は医師の指示を受けた理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が指定通所リハビリテーションを行っているとともに、利用者の状態を定期的に記録していること。
- ・利用者ごとのリハビリテーション実施計画の進捗状況を定期的に評価し、必要に応じて当該計画を見直していること。
- ・指定通所リハビリテーション事業所の従業者が、指定居宅介護支援事業者を通じて、指定訪問介護の事業その他の指定居宅サービス事業に係る従業者に対し、リハビリテーションの観点から、日常生活上の留意点、介護の工夫等の情報を伝達していること。

一方で、リハビリテーションマネジメント加算を算定していない利用者のうち、56%の利用者は、20分以上の個別リハビリを実施していた。現在の個別リハビリテーション実施加算は、月8回以上通所し、リハビリテーションマネジメント加算を算定した利用者のみ算定可能となっているため、これらの利用者に対しては個別リハビリテーション実施加算を算定できていない。

図表 91 調査日における個別リハビリテーションの状況

調査日における 個別リハビリテーションの状況		利用者数	
			割合
実施あり	20分未満	39	0.8%
	20分以上	2,749	56.1%
	不詳	251	5.1%
実施なし		1,865	38.0%
合計		4,904	100.0%



(参考) 個別リハビリテーション実施加算

リハビリテーションマネジメント加算を算定した上、1回20分以上の個別リハビリを行った場合に算定できる。月13回まで。

### 3. 通所リハビリテーション事業所におけるリハビリテーション専門職の配置状況

通所リハビリテーション事業所におけるリハビリテーション専門職の配置状況を定員100人あたりで見ると、次の通りであり、理学療法士が2.4人（うち専従が0.8人）、作業療法士が1.4人（うち専従が0.5人）、言語聴覚士が0.2人であった。開設主体別に見ると、診療所及び病院では専従者の配置が多くなっている。

図表 92 リハビリテーション専門職の配置状況

開設主体	事業所数	全体		PT平均値		OT平均値	
		配置人員数		配置人員数		配置人員数	
			うち専従		うち専従		うち専従
全体	780	4.0	1.4	2.4	0.8	1.4	0.5
介護老人保健施設	463	3.8	0.9	2.2	0.5	1.4	0.3
診療所	153	4.0	2.0	2.7	1.4	1.2	0.6
病院	157	4.6	2.5	2.8	1.4	1.6	1.0

開設主体	事業所数	ST平均値		看護師平均値	准看護師平均値
		配置人員数		配置人員数	配置人員数
			うち専従		
全体	780	0.2	0.0	1.2	1.0
介護老人保健施設	463	0.3	0.0	0.9	0.9
診療所	153	0.2	0.0	1.5	1.4
病院	157	0.3	0.1	1.6	1.0

また、個別リハビリテーションの実施有無別に見ると、個別リハビリテーションを実施している事業所ではリハビリテーション専門職の配置が多くなっている。

図表 93 個別リハビリテーション実施有無別リハビリテーション専門職の配置状況

個別リハ実施有無	事業所数	全体平均値		PT平均値	
		配置人員数		配置人員数	
			うち専従		うち専従
全体	780	4.0	1.4	2.4	0.8
実施している	745	4.1	1.4	2.4	0.9
実施していない	35	3.0	0.9	1.8	0.4

個別リハ実施有無	事業所数	OT平均値		ST平均値	
		配置人員数		配置人員数	
			うち専従		うち専従
全体	780	1.4	0.5	0.2	0.0
実施している	745	1.4	0.5	0.3	0.0
実施していない	35	1.1	0.5	0.0	0.0

#### 4. 通所リハビリテーション事業所における1年間の要介護度の変化の状況

通所リハビリテーション事業所における利用者の1年間の要介護度の変化の状況を見ると、次のとおりであった。1～2時間のサービスでは、他のサービス提供時間に比べ、個別リハビリテーション実施率が高く、また、1人当たりの個別リハ実施時間が長く、要介護度の変化も小さくなっている。

図表 94 利用者の1年間の要介護度の変化（通所リハビリテーション）

サービス提供時間	利用者数	個別リハ実施率	利用者1人当たり個別リハ時間(分)	1年間の要介護度変化の平均(注)
全体	21,187	76.0%	16.6	0.089
1～2時間	301	91.4%	23.7	0.025
2～3時間	189	75.1%	18.9	0.061
3～4時間	726	86.1%	19.2	0.048
4～6時間	1,884	72.3%	15.6	0.066
6～8時間	18,087	75.7%	16.5	0.094

(注)1年前の要介護度が要介護1以上の利用者を対象として算出

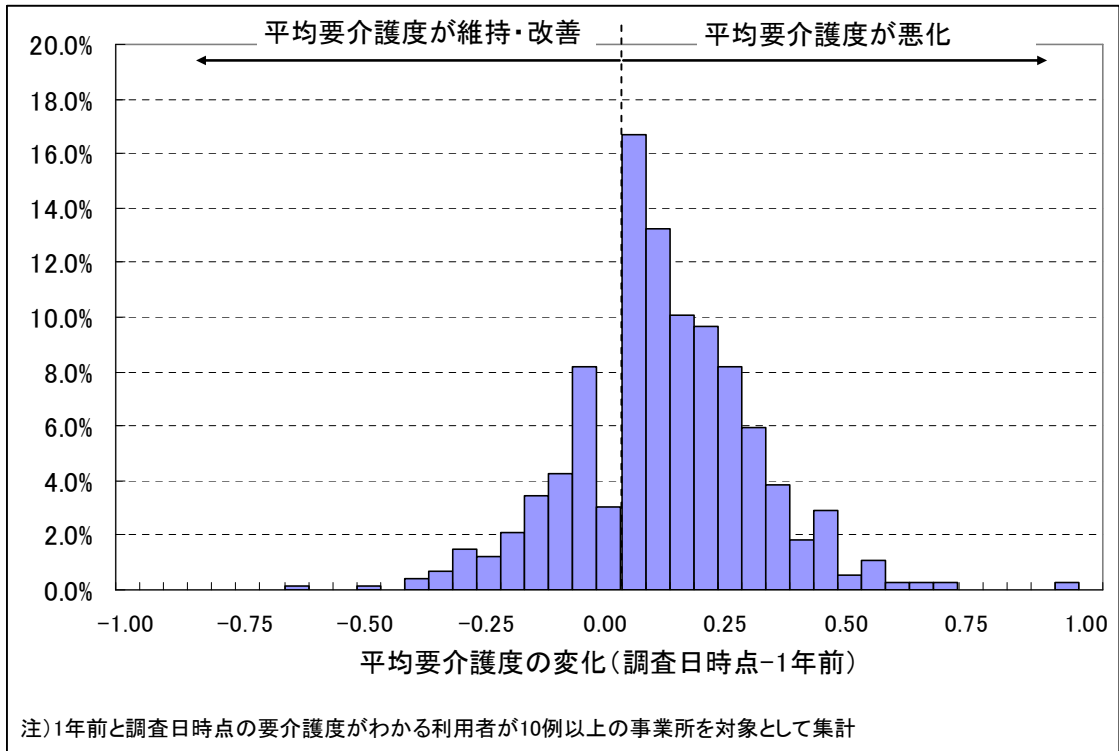
また、平成23年7月1日時点における事業所毎の平均要介護度別に利用者の1年間の要介護度の変化の状況を見ると、要介護度が低い利用者が多い（平均要介護度が低い）事業所では、1年間の平均要介護度は重度化しにくい反面、より重度者が多い（平均要介護度が高い）事業所ほど1年間の平均要介護度は重度化する傾向が見られた。

図表 95 平均要介護度別利用者の1年間の要介護度の変化

調査時の平均要介護度	1年間の平均要介護度の変化
1.0～1.5	-0.03
1.5～2.0	+0.03
2.0～2.5	+0.06
2.5～3.0	+0.14
3.0～3.5	+0.22
3.5～4.0	+0.23
4.0～4.5	+0.50
全体	+0.09

ここで、通所リハビリテーション事業所毎の利用者の1年間の平均要介護度の変化の分布を見ると、次の通りであり、改善している事業所と悪化している事業所でばらつきが見られた。

図表 96 平均要介護度の変化



そこで、平均要介護度の改善状況が大きい又は悪化が大きい3事業所について、別途、通所リハビリテーションのサービス状況のヒアリング調査を実施したところ、平均要介護度が改善している事業所と悪化している事業所でリハビリの提供状況や、リハビリ専門職種の種類に大きな差は見られなかった。また、改善している事業所では、重度者の割合が少なく、医療的ケアの必要性が低く、悪化している事業所は重度者が多く、平均年齢が高い傾向が見られた。

(参考) 1年間の平均要介護度の改善・悪化が大きい事業所の例

**【1年間の平均要介護度の改善が大きい事業所 A】**

- 現在、平均要介護度 2.1 で、要介護 4 または 5 は 9.1% を占めるのみ。
- 服薬管理を必要とする利用者はあるが、医療的ケアが必要な利用者はほとんどいない。
- 約 9 割の利用者に対して、リハビリ専門職種による個別リハビリを 20-30 分提供している。

**【1年間の平均要介護度の改善が大きい事業所 B】**

- リハビリ専門職種を常勤換算で 12.5 名と手厚く配置し、利用者全員に対し、リハビリ専門職種による個別リハビリを実施している。
- 利用者あたり平均個別リハビリ時間は 48.8 分と長かった。

**【1年間の平均要介護度の改善が大きい事業所 C】**

- 利用者が 12 名と少なく、要介護度が 2 以上改善した利用者が 3 名いたため改善度が大きくなった。
- リハビリ専門職種は常勤換算 0.3 名、個別リハビリ実施率は平均を下回っていた。

**【1年間の平均要介護度の悪化が大きい事業所 A】**

- 現在、要介護 4 または 5 は 1 割程度を占め、平均要介護度は 2.2、平均年齢は 87.0 歳。
- 利用者は 10 名と少なく、改善者はなく、悪化者が 4 名であった。

**【1年間の平均要介護度の悪化が大きい事業所 B】**

- 利用者の平均要介護度は 3.1 であり、全利用者の平均要介護度 2.3 を大きく上回っており、約 4 割が要介護 4 または 5。
- 常勤看護師が全身状態の観察をし、常勤 P T 2 名、常勤 O T 1 名が利用者に対し、20-30 分の個別リハビリを実施。
- 目標達成による通所リハビリ終了は年に 1 名程度で、主な終了理由は状態悪化による入院や死亡。

## Ⅷ 本研究の結論と今後の課題

### 1. 通所リハビリテーション事業所及び通所介護事業所におけるサービス提供の状況

通所リハビリテーション事業所及び通所介護事業所を利用している利用者の属性の観点では、通所リハビリテーションのほうが、利用者が有する傷病として脳血管疾患を有する割合が高くなっている。一方で、年齢、サービスの利用期間、要介護度の状況及び必要な医療的ケアについては大きな差が認められず、利用者の属性に大きな差はないものと推察された。

また、利用者に提供されているサービスの観点では、リハビリテーション専門職が提供している個別リハビリテーション（個別機能訓練）の時間は利用者 1 人当たりでは通所リハビリテーション、通所介護共に概ね 20 分程度であった。ただし、通所介護ではリハビリテーション専門職が実施している個別機能訓練の割合が 1 割未満であるのに対し、通所リハビリテーションでは 9 割以上がリハビリテーション専門職が提供する個別リハビリテーションであった。リハビリテーション専門職の配置の観点でも通所介護事業所ではリハビリテーション専門職がほとんど配置されておらず、利用者が受けているリハビリテーションサービスの内容は大きく異なることが推察された。

### 2. 通所リハビリテーション事業所における個別リハビリテーションの実施状況

個別リハビリテーションの実施状況については、実施率が事業所毎にばらつきがみられた。一方で、サービス提供時間別や開設主体別の観点からは、実施率や利用者 1 人あたりの個別リハビリテーション時間、リハビリテーション専門職配置等に大きな差は認められなかった。

また、1-2 時間のサービス提供において、40 分以上の個別リハビリテーションを受けている利用者に注目すると、現在の短期集中リハビリテーション実施加算において評価がなされていない利用開始から 2 ヶ月以上の利用者が 8 割を占めていることが明らかとなった。

さらに、リハビリテーションマネジメントの観点から見ると、リハビリテーションマネジメント加算を算定していない利用者であっても半数以上が 20 分以上の個別リハビリテーションを受けている一方で、1 ヶ月間のサービス利用回数では 4 回の利用者が最も多くなっており、リハビリテーションマネジメントを適切に行っている場合であっても加算の算定ができない場合が多くあることが示唆された。

### 3. 通所リハビリテーションのサービスの質について

通所リハビリテーション事業所の利用者の平均要介護度の変化は、事業所毎に大きなばらつきが認められたが、一方で、平均要介護度が改善している事業所と悪化している事業所でリハビリテーションの提供状況や、リハビリテーション専門職種の配置に大きな差は

認められなかった。また、平均要介護度が改善している事業所では重度者の割合が少なく、医療的ケアの必要性が低く、悪化している事業所は重度者が多く、平均年齢が高い傾向が認められた。

したがって、事業所毎のサービスの質の差より、利用者の特性の方が事業所の平均要介護度の変化に影響を及ぼすと考えられ、要介護度変化をアウトカムとして事業所を評価することについては慎重な検討が必要と考えられる。

#### 4. 今後の課題

本調査研究は、通所リハビリテーション及び通所介護事業所におけるサービス提供の実態把握を目的として実施した。通所リハビリテーションと通所介護においては、利用者属性等の観点では顕著な差が認められなかったが、利用者に提供されているサービスの内容については、大きく異なることが推察された。また、通所リハビリテーションサービスの質の観点からは、平均要介護度の変化にばらつきがあることが認められたが、提供されているサービスの内容との関係性については、把握することができなかった。

今後は、本調査研究で把握がなされていない、提供サービス内容等の把握、分析を通じて、通所リハビリテーション及び通所介護の機能について適切な評価を行うことが期待される。また、サービスの質の評価については要介護度以外の評価指標について検討が必要である。



---

## 参考資料1

通所リハビリテーションおよび

通所介護サービスに関する調査 調査票

---



## 通所リハビリテーションおよび通所介護サービスに関する調査 【通所リハビリテーション事業所票】

### ■記入にあたってのご注意

- この調査票は、**貴事業所の管理者的な立場にある事務職員の方が**必要に応じ管理者、医師、看護職員、PT、OT、ST等の方々とも相談の上、ご記入下さい。
- 特に指定の無い限り、**選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。**
- ( ) の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- 数字を記入する欄が**0（ゼロ）の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。**
- 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、**平成23年7月28日（木）までにご返送下さい。**

### I. 通所リハビリテーション事業所の基本情報

(1)登録者数 【平成23年7月1日時点】	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
	( )人	( )人	( )人	( )人	( )人	
(2)利用者定員数 【平成23年7月1日時点】	1-2時間	2-3時間	3-4時間	4-6時間	6-8時間	8時間超
	( )人	( )人	( )人	( )人	( )人	( )人
(3)時間別開催日数 <sup>(※)</sup> 【平成23年6月中】	1-2時間	2-3時間	3-4時間	4-6時間	6-8時間	8時間超
	( )日	( )日	( )日	( )日	( )日	( )日
(4)時間別利用者数 【平成23年6月中】	1-2時間	2-3時間	3-4時間	4-6時間	6-8時間	8時間超
	実人数	( )人	( )人	( )人	( )人	( )人
	延べ人数	( )人	( )人	( )人	( )人	( )人
(5)理学療法士等体制強化加算【平成23年6月分】 (1時間以上2時間未満の通所リハビリテーションを提供している事業所の場合)				1. 算定あり      2. 算定なし		

※時間数は通所リハビリテーションサービス提供の所要時間を表す。

### II. 介護予防通所リハビリテーション事業所の基本情報

(1)介護予防通所リハビリテーション実施の有無 【平成23年7月1日時点】	1. 実施している      2. 実施していない				
(2)登録者数【平成23年7月1日時点】	要支援1	( )人	要支援2	( )人	
(3)利用者数【平成23年6月中】	実人数	要支援1	( )人	要支援2	( )人
	延べ人数	要支援1	( )人	要支援2	( )人
(4)事業所評価加算の算定の有無【平成23年6月分】	1. 算定あり      2. 算定なし				

**Ⅲ. 併設施設について【平成 23 年 7 月 1 日時点】**

<p>(1)他機関の併設有無 (複数回答)</p>	<p>1. 病院併設 2. 有床診療所併設 3. 無床診療所併設 4. 介護保険サービス事業所併設     (平成 23 年 7 月時点でサービス提供を行っている併設事業所)     ①介護老人保健施設     ②訪問リハビリテーション事業所     ③居宅介護支援事業所     ④通所介護事業所     ⑤上記以外の介護保険サービス事業所( ) 5. その他( ) 6. 併設機関なし</p> <p>☞副問①へ</p>
<p>☞上記(1)で、「1. 病院併設」、「2. 有床診療所併設」、「3. 無床診療所併設」と回答した事業所のみ、お答えください。</p>	
<p>副問① 医療保険による外来リハビリの提供有無</p>	<p>1. 医療保険による外来リハビリテーションを実施している ☞副問②へ 2. 医療保険による外来リハビリテーションは実施していない</p>
<p>副問② 外来リハ、通所リハの実施場所の異同</p>	<p>医療保険による外来リハビリテーションを実施している場合、その実施場所は通所リハビリテーションの実施場所と分けられていますか。</p> <p>1. 外来リハビリテーションと通所リハビリテーションの実施場所が、2箇所以上に分けられている 2. 外来リハビリテーションと通所リハビリテーションの実施場所が、2箇所以上に分けられていない ☞副問③へ</p>
<p>副問③ 外来リハ、通所リハの実施時間の異同</p>	<p>1. 外来リハビリテーションと通所リハビリテーションは異なる時間帯に実施している 2. 外来リハビリテーションと通所リハビリテーションは同じ時間帯に実施している</p>

**Ⅳ. 送迎について【平成 23 年 7 月 1 日時点】**

貴事業所における利用者の送迎状況について、リハビリの時間区分ごとに、当てはまるものに1つずつ○をつけてください。

<p>1-2時間</p>	<p>1. 送迎を行っている 2. 送迎を行っていない</p>	<p>4-6時間</p>	<p>1. 送迎を行っている 2. 送迎を行っていない</p>
<p>2-3時間</p>	<p>1. 送迎を行っている 2. 送迎を行っていない</p>	<p>6-8時間</p>	<p>1. 送迎を行っている 2. 送迎を行っていない</p>
<p>3-4時間</p>	<p>1. 送迎を行っている 2. 送迎を行っていない</p>	<p>8時間超</p>	<p>1. 送迎を行っている 2. 送迎を行っていない</p>

※時間数は通所リハビリテーションサービス提供の所要時間を表す。

## V. 通所リハビリテーションに従事する職員体制 (※1) 【平成23年7月1日時点】

	通所リハビリテーションに従事する常勤職員		通所リハビリテーションに従事する非常勤職員	
	実人員	常勤換算(※2)	実人員	常勤換算(※2)
医師	( )人	( . )人	( )人	( . )人
看護師	( )人	( . )人	( )人	( . )人
准看護師	( )人	( . )人	( )人	( . )人
理学療法士	( )人	( . )人	( )人	( . )人
うち、通所リハに専従の者	( )人		( )人	
作業療法士	( )人	( . )人	( )人	( . )人
うち、通所リハに専従の者	( )人		( )人	
言語聴覚士	( )人	( . )人	( )人	( . )人
うち、通所リハに専従の者	( )人		( )人	
介護職員	( )人	( . )人	( )人	( . )人
柔道整復師・あん摩マッサージ指圧師	( )人	( . )人	( )人	( . )人
その他の職員				
ソーシャル・ワーカー (社会福祉士等、相談業務に 主に従事する者)	( )人		( )人	
健康運動指導士 ( (財)健康・体力づくり事業財団 から認定を受けた者)	( )人		( )人	

(※1)平成23年7月1日現在に通所リハビリテーション事業所に在籍する職員のうち、通所リハビリテーションの業務に携わっている者を職種別に計上してください。「介護予防通所リハビリテーション」と「通所リハビリテーション」で別々に人員配置を行っている場合は、合算した職員数を記入してください。

(※2)常勤職員で他業務と兼務している場合は、常勤換算で記入してください。通所リハビリテーション事業所に併設している医療機関等の業務については含めないでください。

常勤換算数の計算方法:小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上してください。得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上してください。

〔換算数〕＝〔職員の1週間の勤務時間〕÷〔事業所が定めている1週間の勤務時間〕

**Ⅵ. 利用者の状況 【平成 23 年 7 月 1 日時点】**

(1) 利用者の医療的ケアの状況  
登録者のうち、上記時点での医療的ケアが必要な方の人数を記入してください。

事業所内で実施している医療的ケア (重複計上可)	項目	人数	項目	人数
	1. 胃ろう・経鼻経管栄養による栄養管理	( ) 人	1 1. 導尿	( ) 人
	2. 膀胱（留置）カテーテルの管理	( ) 人	1 2. 浣腸	( ) 人
	3. 人工肛門（ストーマ）のケア	( ) 人	1 3. 摘便	( ) 人
	4. たんの吸引	( ) 人	1 4. 服薬管理	( ) 人
	5. ネブライザー	( ) 人	1 5. その他	( ) 人
	6. 酸素療法（酸素吸入）	( ) 人	処置名 ( )	( ) 人
	7. 気管切開のケア	( ) 人	処置名 ( )	( ) 人
	8. 人工呼吸器の管理	( ) 人	処置名 ( )	( ) 人
	9. 褥瘡の処置	( ) 人	処置名 ( )	( ) 人
1 0. インスリン注射	( ) 人	処置名 ( )	( ) 人	

(2) その他のケアの状況  
登録者のうち、上記時点での以下のケアが必要な方の人数を実人数で記入してください。

項目	人数
1. おむつをしている人数（リハビリパンツ含む）	( ) 人
2. 一連の入浴行為を 1 対 1 介助で入浴している人数	( ) 人
3. 機械浴で入浴している人数	( ) 人
4. 経口摂取の際に食事介助が必要な人数	( ) 人
5. 認知症などで常時見守りが必要な人数	( ) 人

**Ⅶ. ご意見・ご感想**

通所リハビリテーションサービスの提供にあたって、工夫している点や課題などがありましたらお書きください。

通所リハビリテーションおよび通所介護サービスに関する調査  
【リハビリテーション専門職・看護職・利用者票】

実 施 単 位 【 1 】

提供時間の区分 (いずれか1つに○)	1-2時間   ・   2-3時間   ・   3-4時間   ・   4-6時間   ・   6-8時間   ・   8時間超
-----------------------	--

リハビリテーション 専門職 (P. 2)	調査日に勤務した職員数(実人員)			
	理学療法士(PT)	作業療法士(OT)	言語聴覚士(ST)	柔道整復師・ あん摩マッサージ指圧師
	(            )人	(            )人	(            )人	(            )人

看護職 (P. 3)	調査日に勤務した職員数(実人員)	
	看護師	准看護師
	(            )人	(            )人

<b>調査日</b>	<p style="text-align: center;"><b>平成 23 年 7 月 21 日 (木)</b></p> <p style="text-align: center;">※21日が定休日の事業所は <u>22日(金)</u> としてください。</p>
------------	--

利用者 (P. 4~8)	調査日に通所リハビリテーションを利用した人数
	(            )人

調査票投函〆切：平成23年7月28日(木)

I. リハビリテーション専門職について

※ 調査日に勤務した全職員について記入してください。

No.	(1) 職種	(2) 勤務形態	(3) 貴事業所での 所定勤務時間	(4) 利用者に対する 直接的なケア		(5) 利用者に対する直接的なケア以外の業務					(6) 勤務時間 の合計時間 (①～⑦まで の時間の合計)
	1=PT 2=OT 3=ST 4=PT/OT/ST 以外の職種 (※1)	1=常勤専従 2=非常勤専従 3=常勤兼務 4=非常勤兼務		①個別リハ (※2) に従事 した時間	②個別リハ以 外の直接的な ケアに従事し た時間	通所リハビリテーション事業所の業務				⑦通所リハビ リ以外の 兼務業務 に従事し た時間	
						③カンファレ ンスに参加 した時間	④事務業務に 従事した時 間(例:カル テの記載、カ ンファレンスの準 備等)	⑤その他の業 務に従事し た時間	⑥当該単位以 外の兼務 業務に従 事した時 間		
例	① 2 3・4	① 2 ③ 4	( 8 )時間 ( 30 )分	( 0 )時間 ( 40 )分	( 1 )時間 ( 20 )分	( 1 )時間 ( 0 )分	( 2 )時間 ( 0 )分	( 1 )時間 ( 30 )分	( 1 )時間 ( 30 )分	( 0 )時間 ( 30 )分	( 8 )時間 ( 30 )分
1	1・2 3・4	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
2	1・2 3・4	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
3	1・2 3・4	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
4	1・2 3・4	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
5	1・2 3・4	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
6	1・2 3・4	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
7	1・2 3・4	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
8	1・2 3・4	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
9	1・2 3・4	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
10	1・2 3・4	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分

(※1) 「PT/OT/ST 以外の職種」とは、定期的に適切な研修を修了している柔道整復師、又はあん摩マッサージ指圧師を指します。看護師・准看護師は「II. 看護師・准看護師について」に記入して下さい。

(※2) 「個別リハ」とは通所リハビリテーションにおける「個別リハビリテーション加算」の算定有無にかかわらず、利用者に対して 20 分以上個別にリハビリテーションを行った場合を指します。



Ⅱ. 看護師・准看護師について

※ 調査日に勤務した全職員について記入してください。

No.	(1) 職種 1=看護師 2=准看護師	(2) 勤務形態 1=常勤専従 2=非常勤専従 3=常勤兼務 4=非常勤兼務	(3) 貴事業所 での所定 勤務時間	(4) 利用者に対する直接的なケア				(5) 利用者に対する直接的なケア以外の業務					(6) 勤務 時間の合計 (①～⑨ までの時 間の合計)
								通所リハビリテーション事業所の業務					
				①血圧、脈 拍、体温な どのバイ タルチェ ック	②医療処置 (※1)	③個別リハ ビリ	④その他の ケア	⑤カンファ レンスに 参加した 時間	⑥事務業務 に従事し た時間 (例:加圧の 記載、カン ファレンスの準 備等)	⑦その他の 業務に従 事した時 間	⑧当該単位 以外の兼 務業務に 従事した 時間	⑨通所リハ ビリ以外 の兼務業 務に従事 した時間	
例	①・2	1・2 ③・4	( 8)時間 ( 30)分	( 1)時間 ( 0)分	( 1)時間 ( 30)分	( 0)時間 ( 0)分	( 2)時間 ( 0)分	( 0)時間 ( 30)分	( 0)時間 ( 30)分	( 1)時間 ( 0)分	( 1)時間 ( 0)分	( 1)時間 ( 0)分	( 8)時間 ( 30)分
1	1・2	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
2	1・2	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
3	1・2	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
4	1・2	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
5	1・2	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
6	1・2	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
7	1・2	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
8	1・2	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
9	1・2	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
10	1・2	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分

(※1) 胃ろう・経鼻経管栄養による栄養管理、膀胱(留置)カテーテルの管理、人工肛門(ストマ)のケア、たんの吸引、ネブライザー、酸素療法(酸素吸入)、気管切開のケア、人工呼吸器の管理、褥瘡の処置、インスリン注射、導尿、洗腸、排便、服薬管理等を含めてください。

Ⅲ. 利用者について

※ 調査日の利用者全員について記入してください。

NO	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8) 過去一年間の利用状況 (※1) および (9) 更新申請・区分変更の時期 (※2)		(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
	性別 1=男 2=女	年齢	貴事業所の利用開始年月(西暦)	利用開始時の要介護度 支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 経=経過的 要介護 不=不明	1年前の要介護度 支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 非=非該当 未=未申請 不=不明	調査日時点の要介護度 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5		今月における利用回数(予定)	(8)利用 (9)更新申請等	(10)調査日における個別リハビリテーション実施の有無(※3)	左記(10)で「1.有」の場合、個別リハを担当した職員の職種(複数回答)	現在、有している傷病(複数回答可)	実施している医療的ケア(複数回答可)	今月算定予定の加算(複数回答可)	併用している居宅サービス(複数回答可)
例	1 ②	75歳	2010年10月	支1・2 介1②③④ 介5・経・不	支1・2 介1②③④ 介5・非・未・不	介1②③ 介4・5	8回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年①②③④⑤⑥なし (9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4⑤⑥なし	①→個別リハ 30分	1② ・3・4	①②③④ ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	①②③ ・4・5・6	1②③ ・4・5・6	
1	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし (9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1→個別リハ 2分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	
2	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし (9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1→個別リハ 2分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	
3	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし (9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1→個別リハ 2分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	
4	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし (9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1→個別リハ 2分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	

(※1) 利用があった月に○、過去一年間の利用がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※2) 更新申請・区分変更(以下、「更新申請等」)があった月に○、過去一年間に更新申請等がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※3) 「個別リハ」とは通所リハビリテーションにおける「個別リハビリテーション加算」の算定有無にかかわらず、利用者に対して20分以上個別にリハビリテーションを行った場合を指します。

※ 調査日の利用者全員について記入してください。

NO	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8) 過去一年間の利用状況 (※1) および (9) 更新申請・区分変更の時期 (※2)		(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
	性別	年齢	貴事業所の利用開始年月(西暦)	利用開始時の要介護度 支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 経=経過的要介護 不=不明	1年前の要介護度 支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 非=非該当 未=未申請 不=不明	調査日時点の要介護度 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5		今月における利用回数(予定)	(8)利用 (9)更新申請等	調査日における個別リハビリテーション実施の有無(※3)	左記(10)で「1.有」の場合、個別リハを担当した職員の職種(複数回答)	現在、有している傷病(複数回答可) 1=脳血管疾患 2=心疾患 3=糖尿病 4=がん 5=腎不全 6=慢性呼吸不全 7=骨折 8=認知症 9=パーキンソン病 10=その他 11=なし	実施している医療的ケア(複数回答可) 1=胃ろう・経鼻経管栄養による栄養管理 2=膀胱(留置)カテーテルの管理 3=人工肛門(ストマ)のケア 4=たんの吸引 5=ネブライザー 6=酸素療法(酸素吸入) 7=気管切開のケア 8=人工呼吸器の管理 9=褥瘡の処置 10=インスリン注射 11=導尿 12=浣腸 13=排便 14=服薬管理 15=その他	今月算定予定の加算(複数回答可) 1=リハビリテーションマージメント加算 2=短期集中リハビリテーション加算 3=個別リハビリテーション加算 4=老健での通所リハにおける訪問の加算 5=認知症短期集中リハビリテーション実施加算 6=上記加算はいずれも算定なし	併用している居宅サービス(複数回答可) 1=通所介護 2=訪問介護 3=訪問リハ 4=訪問看護 5=その他の介護保険サービス 6=不明
例	1 ・ 2	75歳	2010年10月	支1・2 介1②③④ 介5・経・不	支1・2 介1②③④ 介5・非・未・不	介1②③ 介4・5	8回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年①②③④⑤⑥・なし (9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4⑤⑥・なし	①→個別リハ 30分	1② ・3・4	①②③④ ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	①②③ ・4・5・6	1②③ ・4・5・6	
5	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし (9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1→個別リハ 2分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	
6	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし (9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1→個別リハ 2分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	
7	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし (9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1→個別リハ 2分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	
8	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし (9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1→個別リハ 2分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	
9	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし (9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1→個別リハ 2分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	

(※1) 利用があった月に○、過去一年間の利用がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※2) 更新申請・区分変更(以下、「更新申請等」)があった月に○、過去一年間に更新申請等がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※3) 「個別リハ」とは通所リハビリテーションにおける「個別リハビリテーション加算」の算定有無にかかわらず、利用者に対して20分以上個別にリハビリテーションを行った場合を指します。

※ 調査日の利用者全員について記入してください。

NO	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8) 過去一年間の利用状況 (※1) および (9) 更新申請・区分変更の時期 (※2)		(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
	性別	年齢	貴事業所の利用開始年月(西暦)	利用開始時の要介護度 支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 経=経過的要介護 不=不明	1年前の要介護度 支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 非=非該当 未=未申請 不=不明	調査日時点の要介護度 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5		今月における利用回数(予定)	(8)利用 (9)更新申請等	調査日における個別リハビリテーション実施の有無(※3)	左記(10)で「1.有」の場合、個別リハを担当した職員の職種(複数回答)	現在、有している傷病(複数回答可) 1=脳血管疾患 2=心疾患 3=糖尿病 4=がん 5=腎不全 6=慢性呼吸不全 7=骨折 8=認知症 9=パーキンソン病 10=その他 11=なし	実施している医療的ケア(複数回答可) 1=胃ろう・経鼻経管栄養による栄養管理 2=膀胱(留置)カテーテルの管理 3=人工肛門(ストマ)のケア 4=たんの吸引 5=ネブライザー 6=酸素療法(酸素吸入) 7=気管切開のケア 8=人工呼吸器の管理 9=褥瘡の処置 10=インスリン注射 11=導尿 12=浣腸 13=排便 14=服薬管理 15=その他	今月算定予定の加算(複数回答可) 1=リハビリテーション マゼメント加算 2=短期集中リハビリテーション加算 3=個別リハビリテーション加算 4=老健での通所リハにおける訪問の加算 5=認知症短期集中リハビリテーション実施加算 6=上記加算はいずれも算定なし	併用している居宅サービス(複数回答可) 1=通所介護 2=訪問介護 3=訪問リハ 4=訪問看護 5=その他の介護保険サービス 6=不明
例	1 ②	75歳	2010年10月	支1・2 介1②③④ 介5・経・不	支1・2 介1②③④ 介5・非・未・不	介1②③ 介4・5	8回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年①②③④⑤⑥なし (9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4⑤⑥なし	①→個別リハ 30分	1② ・3・4	①②③④ ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	①②③ ・4・5・6	1②③ ・4・5・6	
10	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし (9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1→個別リハ 2分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	
11	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし (9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1→個別リハ 2分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	
12	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし (9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1→個別リハ 2分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	
13	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし (9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1→個別リハ 2分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	
14	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし (9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1→個別リハ 2分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	

(※1) 利用があった月に○、過去一年間の利用がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※2) 更新申請・区分変更(以下、「更新申請等」)があった月に○、過去一年間に更新申請等がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※3) 「個別リハ」とは通所リハビリテーションにおける「個別リハビリテーション加算」の算定有無にかかわらず、利用者に対して20分以上個別にリハビリテーションを行った場合を指します。

※ 調査日の利用者全員について記入してください。

NO	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8) 過去一年間の利用状況 (※1) および (9) 更新申請・区分変更の時期 (※2)		(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
	性別	年齢	貴事業所の利用開始年月(西暦)	利用開始時の要介護度 支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 経=経過的 要介護 不=不明	1年前の要介護度 支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 非=非該当 未=未申請 不=不明	調査日時点の要介護度 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5		今月における利用回数(予定)	(8) 利用	(9) 更新申請等	調査日における個別リハビリテーション実施の有無 (※3)	左記(10)で「1.有」の場合、個別リハを担当した職員の職種 (複数回答)	現在、有している傷病 (複数回答可)	実施している医療的ケア (複数回答可)	今月算定予定の加算 (複数回答可)
例	1 ・ 2	75歳	2010年10月	支1・2 介1・②・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・②・3・4 介5・非・未・不	介1・②・3 介4・5	8回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年①・②・③・④・⑤・⑥・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・⑤・⑥・なし	①→個別リハ 30分	1・② ・3・4	①・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・⑮	①・2・③ ・4・5・6	1・②・3 ・4・5・6
15	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1→個別リハ 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6
16	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1→個別リハ 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6
17	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1→個別リハ 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6
18	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1→個別リハ 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6
19	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1→個別リハ 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6

(※1) 利用があった月に○、過去一年間の利用がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※2) 更新申請・区分変更(以下、「更新申請等」)があった月に○、過去一年間に更新申請等がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※3) 「個別リハ」とは通所リハビリテーションにおける「個別リハビリテーション加算」の算定有無にかかわらず、利用者に対して20分以上個別にリハビリテーションを行った場合を指します。

※ 調査日の利用者全員について記入してください。

NO	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8) 過去一年間の利用状況 (※1) および (9) 更新申請・区分変更の時期 (※2)		(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
	性別	年齢	貴事業所の利用開始年月(西暦)	利用開始時の要介護度 支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 経=経過的要介護 不=不明	1年前の要介護度 支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 非=非該当 未=未申請 不=不明	調査日時点の要介護度 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5		今月における利用回数(予定)	(8)利用 (9)更新申請等	調査日における個別リハビリテーション実施の有無(※3)	左記(10)で「1.有」の場合、個別リハを担当した職員の職種(複数回答)	現在、有している傷病(複数回答可)	実施している医療的ケア(複数回答可)	今月算定予定の加算(複数回答可)	併用している居宅サービス(複数回答可)
例	1 ・ 2	75歳	2010年10月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	8回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2	1 ・ 2	①・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	①・2・③ ・4・5・6	1 ・ 2 ・3 ・4・5・6	
20	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2	1 ・ 2	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	
21	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2	1 ・ 2	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	
22	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2	1 ・ 2	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	
23	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2	1 ・ 2	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	
24	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2	1 ・ 2	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	1・2・3 ・4・5・6	

(※1) 利用があった月に○、過去一年間の利用がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※2) 更新申請・区分変更(以下、「更新申請等」)があった月に○、過去一年間に更新申請等がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※3) 「個別リハ」とは通所リハビリテーションにおける「個別リハビリテーション加算」の算定有無にかかわらず、利用者に対して20分以上個別にリハビリテーションを行った場合を指します。

## 通所リハビリテーションおよび通所介護サービスに関する調査 【通所介護事業所票】

### ■記入にあたってのご注意

- この調査票は、**貴事業所の管理者的な立場にある事務職員の方が**必要に応じ管理者、看護職員、機能訓練指導員（PT、OT、ST等）の方々とも相談の上、ご記入下さい。
- 特に指定の無い限り、**選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。**
- （ ）の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- 数字を記入する欄が**0（ゼロ）の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。**
- 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、**平成23年7月28日（木）までにご返送下さい。**

### I. 通所介護事業所の基本情報

(1)登録者数 【平成23年7月1日時点】	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	( )人	( )人	( )人	( )人	( )人
(2)利用者定員数 【平成23年7月1日時点】	2-3時間	3-4時間	4-6時間	6-8時間	8時間超
	( )人	( )人	( )人	( )人	( )人
(3)時間別開催日数 <sup>(※)</sup> 【平成23年6月中】	2-3時間	3-4時間	4-6時間	6-8時間	8時間超
	( )日	( )日	( )日	( )日	( )日
(4)時間別利用者数 【平成23年6月中】	2-3時間	3-4時間	4-6時間	6-8時間	8時間超
	実人数	( )人	( )人	( )人	( )人
	延べ人数	( )人	( )人	( )人	( )人
(5)個別機能訓練加算(I)の算定の有無【平成23年6月分】			1. 算定あり		2. 算定なし
(6)個別機能訓練加算(II)の算定の有無【平成23年6月分】			1. 算定あり		2. 算定なし

※時間数は通所介護サービス提供の所要時間を表す。

### II. 介護予防通所介護事業所の基本情報

(1)介護予防通所介護の指定の有無 【平成23年7月1日時点】		1. 指定を受けている    2. 指定を受けていない			
(2)登録者数【平成23年7月1日時点】	要支援1	( )人	要支援2	( )人	
(3)利用者数【平成23年6月中】					
	実人数	要支援1	( )人	要支援2	( )人
	延べ人数	要支援1	( )人	要支援2	( )人
(4)事業所評価加算の算定の有無【平成23年6月分】		1. 算定あり		2. 算定なし	





V. 通所介護に従事する職員体制 (※1) 【平成23年7月1日時点】				
	通所介護に従事する常勤職員		通所介護に従事する非常勤職員	
	実人員	常勤換算(※2)	実人員	常勤換算(※2)
看護師	( )人	( . )人	( )人	( . )人
准看護師	( )人	( . )人	( )人	( . )人
介護職員	( )人	( . )人	( )人	( . )人
生活相談員	( )人	( . )人	( )人	( . )人
機能訓練指導員 (看護職員である場合は除く)	( )人	( . )人	( )人	( . )人
うち、理学療法士	( )人	( . )人	( )人	( . )人
うち、通所介護に専従の者	( )人		( )人	
うち、作業療法士	( )人	( . )人	( )人	( . )人
うち、通所介護に専従の者	( )人		( )人	
うち、言語聴覚士	( )人	( . )人	( )人	( . )人
うち、通所介護に専従の者	( )人		( )人	
うち、柔道整復師・ あん摩マッサージ指圧師	( )人	( . )人	( )人	( . )人
うち、通所介護に専従の者	( )人		( )人	
その他の職員				
ソーシャル・ワーカー (社会福祉士等、相談業務に主に 従事する者)	( )人		( )人	
健康運動指導士 ( (財)健康・体力づくり事業財団 から認定を受けた者)	( )人		( )人	

(※1)平成23年7月1日現在に通所介護事業所に在籍する職員のうち、通所介護の業務に携わっている者を職種別に計上してください。「介護予防通所介護」と「通所介護」で別々に人員配置を行っている場合は、合算した職員数を記入してください。

(※2)常勤職員で他業務と兼務している場合は、常勤換算で記入してください。通所介護事業所に併設している医療機関等の業務については含めないでください。

常勤換算数の計算方法:小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上してください。得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上してください。

〔換算数〕＝〔職員の1週間の勤務時間〕÷〔事業所が定めている1週間の勤務時間〕

## Ⅵ. 利用者の状況【平成23年7月1日時点】

### (1) 利用者の医療的ケアの状況

登録者のうち、上記時点での医療的ケアが必要な方の人数を記入してください。

事業所内で実施している医療的ケア (重複計上可)	項目	人数	項目	人数
	1. 胃ろう・経鼻経管栄養による栄養管理	( ) 人	11. 導尿	( ) 人
	2. 膀胱(留置)カテーテルの管理	( ) 人	12. 浣腸	( ) 人
	3. 人工肛門(ストーマ)のケア	( ) 人	13. 摘便	( ) 人
	4. たんの吸引	( ) 人	14. 服薬管理	( ) 人
	5. ネブライザー	( ) 人	15. その他	( ) 人
	6. 酸素療法(酸素吸入)	( ) 人	処置名( )	( ) 人
	7. 気管切開のケア	( ) 人	処置名( )	( ) 人
	8. 人工呼吸器の管理	( ) 人	処置名( )	( ) 人
	9. 褥瘡の処置	( ) 人	処置名( )	( ) 人
10. インスリン注射	( ) 人	処置名( )	( ) 人	

### (2) その他のケアの状況

登録者のうち、上記時点での以下のケアが必要な方の人数を実人数で記入してください。

項目	人数
1. おむつをしている人数(リハビリパンツ含む)	( ) 人
2. 一連の入浴行為を1対1介助で入浴している人数	( ) 人
3. 機械浴で入浴している人数	( ) 人
4. 経口摂取の際に食事介助が必要な人数	( ) 人
5. 認知症などで常時見守りが必要な人数	( ) 人

## Ⅶ. ご意見・ご感想

通所介護サービスの提供にあたって、工夫している点や課題などがありましたらお書きください。

通所リハビリテーションおよび通所介護サービスに関する調査  
【機能訓練指導員・看護職・利用者票】

実施単位【 1 】

提供時間の区分 (いずれか1つに○)	2-3時間	・	3-4時間	・	4-6時間	・	6-8時間	・	8時間超
-----------------------	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	------

機能訓練指導員 (P. 2)	調査日に勤務した職員数(実人員)				
	理学療法士(PT)	作業療法士(OT)	言語聴覚士(ST)	看護職員	柔道整復師・ あん摩マッサージ指圧師
	( )人	( )人	( )人	( )人	( )人

看護職 (P. 3)	調査日に勤務した職員数(実人員)	
	看護師	准看護師
	( )人	( )人

**調査日** 平成23年7月21日(木)  
※21日が定休日の事業所は22日(金)としてください。

利用者 (P. 4~8)	調査日に通所介護を利用した人数
( )人	

調査票投函〆切：平成23年7月28日(木)

I. 機能訓練指導員について

※ 調査日に勤務した全職員について記入してください。

No.	(1) 職種	(2) 勤務形態	(3) 貴事業所での 所定勤務時間	(4) 利用者に対する 直接的なケア		(5) 利用者に対する直接的なケア以外の業務					(6) 勤務時間 の合計時間 (①～⑦まで の時間の合計)
	1=PT 2=OT 3=ST 4=PT/OT/ST 以外の職種 (※1)	1=常勤専従 2=非常勤専従 3=常勤兼務 4=非常勤兼務		①個別機能訓練 (※2)に従事した時間	②個別機能訓練 以外の直接的なケアに従事した時間	通所介護事業所の業務				⑦通所介護以 外の兼務 業務に従事した時間	
						③カンファレンス に参加した時間	④事務業務に 従事した時間 (例：カルテの記載、カンファレンスの準備等)	⑤その他の業務 に従事した時間	⑥当該単位以 外の兼務 業務に従事した時間		
例	① 2 3・4	1・2 ③ 4	( 8 )時間 ( 30 )分	( 0 )時間 ( 40 )分	( 1 )時間 ( 20 )分	( 1 )時間 ( 0 )分	( 2 )時間 ( 0 )分	( 1 )時間 ( 30 )分	( 1 )時間 ( 30 )分	( 0 )時間 ( 30 )分	( 8 )時間 ( 30 )分
1	1・2 3・4	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
2	1・2 3・4	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
3	1・2 3・4	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
4	1・2 3・4	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
5	1・2 3・4	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
6	1・2 3・4	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
7	1・2 3・4	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
8	1・2 3・4	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
9	1・2 3・4	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
10	1・2 3・4	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分

(※1) 「PT/OT/ST 以外の職種」とは、定期的に適切な研修を修了している柔道整復師、又はあん摩マッサージ指圧師を指します。看護師・准看護師は「II. 看護師・准看護師について」に記入して下さい。

(※2) 「個別機能訓練」とは通所介護における「個別機能訓練加算」の算定有無にかかわらず、利用者に対して20分以上個別に機能訓練を行った場合を指します。

## Ⅱ. 看護師・准看護師について

※ 調査日に勤務した全職員について記入してください。

No.	(1) 職種 1=看護師 2=准看護師	(2) 勤務形態 1=常勤専従 2=非常勤専従 3=常勤兼務 4=非常勤兼務	(3) 貴事業所 での所定 勤務時間	(4) 利用者に対する直接的なケア				(5) 利用者に対する直接的なケア以外の業務					(6) 勤務時 間の合計時 間 (①～⑨ま での時間の 合計)
				①血圧、脈 拍、体温な どのバイ タルチェ ック	②医療処置 (※1)	③個別機能 訓練	④その他 の ケア	通所介護事業所の業務				⑨通所介護 以外の兼 務業務に 従事した 時間	
								⑤カンファ レンスに 参加した 時間	⑥事務業務 に従事し た時間 (例:加圧の 記載、カン ファレンスの準 備等)	⑦その他 の 業務に従 事した時 間	⑧当該単位 以外の兼 務業務に 従事した 時間		
例	①・2	①・2 ③・4	( 8)時間 ( 30)分	( 1)時間 ( 0)分	( 1)時間 ( 30)分	( 0)時間 ( 0)分	( 2)時間 ( 0)分	( 0)時間 ( 30)分	( 0)時間 ( 30)分	( 1)時間 ( 0)分	( 1)時間 ( 0)分	( 1)時間 ( 0)分	( 8)時間 ( 30)分
1	1・2	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
2	1・2	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
3	1・2	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
4	1・2	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
5	1・2	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
6	1・2	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
7	1・2	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
8	1・2	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
9	1・2	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分
10	1・2	1・2 3・4	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分	( )時間 ( )分

(※1) 胃ろう・経鼻経管栄養による栄養管理、膀胱(留置)カテーテルの管理、人工肛門(ストマ)のケア、たんの吸引、ネブライザー、酸素療法(酸素吸入)、気管切開のケア、人工呼吸器の管理、褥瘡の処置、インスリン注射、導尿、洗腸、排便、服薬管理等を含めてください。

### Ⅲ. 利用者について

※ 調査日の利用者全員について記入してください。

NO	(1) 性別 1=男 2=女	(2) 年齢	(3) 貴事業所の利用開始年月 (西暦)	(4) 利用開始時の要介護度	(5) 1年前の要介護度	(6) 調査日時点の要介護度	(7) 今月における利用回数 (予定)	(8) 過去一年間の利用状況 (※1) および (9) 更新申請・区分変更の時期 (※2)	(10) 調査日における個別機能訓練実施の有無 (※3)	(11) 左記(10)で「1.有」の場合、個別機能訓練を担当した職員の職種 (複数回答)	(12) 現在、有している傷病 (複数回答可)	(13) 実施している医療的ケア (複数回答可)	(14) 併用している居宅サービス (複数回答可)
				支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 経=経過的要介護 不=不明	支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 非=非該当 未=未申請 不=不明	介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5		1=有(※) 2=無 ※「1.有」の場合は、個別機能訓練の提供時間をご記入ください。	1=PT 2=OT 3=ST 4=PT/OT/ST 以外の職種	1=脳血管疾患 2=心疾患 3=糖尿病 4=がん 5=腎不全 6=慢性呼吸不全 7=骨折 8=認知症 9=パーキンソン病 など神経難病 10=その他 11=なし	1=胃ろう・経鼻経管栄養による栄養管理 2=膀胱(留置)カテーテルの管理 3=人工肛門(ストマ)のケア 4=たんの吸引 5=ネブライザー 6=酸素療法(酸素吸入) 7=気管切開のケア 8=人工呼吸器の管理 9=褥瘡の処置 10=インスリン注射 11=導尿 12=浣腸 13=排便 14=服薬管理 15=その他	1=通所リハ 2=訪問介護 3=訪問リハ 4=訪問看護 5=その他の介護保険サービス 6=不明	
例	1 ・ 2	75歳	2010年 10月	支1・2 介1②3・4 介5・経・不	支1・2 介1②3・4 介5・非・未・不	介1②3 介4・5	8回	(8)利用 H22年8・9・⑩⑪⑫ H23年①②③④⑤⑥なし (9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4⑤⑥なし	① ・ 2 個別機能訓練 30分	1② ・ 3・4	①2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・⑭15	1・2③ ・4・5・6
1	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし (9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 個別機能訓練 分	1・2 ・ 3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
2	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし (9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 個別機能訓練 分	1・2 ・ 3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
3	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし (9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 個別機能訓練 分	1・2 ・ 3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
4	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし (9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 個別機能訓練 分	1・2 ・ 3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6

(※1) 利用があった月に○、過去一年間の利用がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※2) 更新申請・区分変更(以下、「更新申請等」)があった月に○、過去一年間に更新申請等がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※3) 「個別機能訓練」とは通所介護における「個別機能訓練加算」の算定有無にかかわらず、利用者に対して20分以上個別に機能訓練を行った場合を指します。

※ 調査日の利用者全員について記入してください。

NO	(1) 性別	(2) 年齢	(3) 貴事業所の利用開始年月(西暦)	(4)	(5)	(6) 調査日時点の要介護度	(7) 今月における利用回数(予定)	(8) 過去一年間の利用状況(※1) および (9) 更新申請・区分変更の時期(※2)		(10) 調査日における個別機能訓練実施の有無(※3)	(11) 左記(10)で「1.有」の場合、個別機能訓練を担当した職員の職種(複数回答)	(12) 現在、有している傷病(複数回答可)	(13) 実施している医療的ケア(複数回答可)	(14) 併用している居宅サービス(複数回答可)
				利用開始時の要介護度	1年前の要介護度			支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 経=経過 不=不明	支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 非=非該当 未=未申請 不=不明					
例	1 ・ ②	75歳	2010年 10月	支1・2 介1・②・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・②・3・4 介5・非・未・不	介1・②・3 介4・5	8回	(8)利用 H22年8・9・⑩・⑪・⑫ H23年①・②・③・④・⑤・⑥・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・⑤・6・なし	① → 個別機能訓練 30分	1・② ・3・4	① 2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・⑭・15	1・2・③ ・4・5・6
5	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 → 個別機能訓練 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
6	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 → 個別機能訓練 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
7	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 → 個別機能訓練 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
8	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 → 個別機能訓練 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
9	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 → 個別機能訓練 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6

(※1) 利用があった月に○、過去一年間の利用がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※2) 更新申請・区分変更(以下、「更新申請等」)があった月に○、過去一年間に更新申請等がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※3) 「個別機能訓練」とは通所介護における「個別機能訓練加算」の算定有無にかかわらず、利用者に対して20分以上個別に機能訓練を行った場合を指します。

※ 調査日の利用者全員について記入してください。

NO	(1) 性別	(2) 年齢	(3) 貴事業所の利用開始年月(西暦)	(4)	(5)	(6) 調査日時点の要介護度	(7) 今月における利用回数(予定)	(8) 過去一年間の利用状況(※1) および (9) 更新申請・区分変更の時期(※2)		(10) 調査日における個別機能訓練実施の有無(※3)	(11) 左記(10)で「1.有」の場合、個別機能訓練を担当した職員の職種(複数回答)	(12) 現在、有している傷病(複数回答可)	(13) 実施している医療的ケア(複数回答可)	(14) 併用している居宅サービス(複数回答可)
				利用開始時の要介護度	1年前の要介護度			支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 経=経過 不=不明	支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 非=非該当 未=未申請 不=不明					
例	1 ・ 2	75歳	2010年 10月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	8回	H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
10	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
11	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
12	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
13	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
14	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6

(※1) 利用があった月に○、過去一年間の利用がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※2) 更新申請・区分変更(以下、「更新申請等」)があった月に○、過去一年間に更新申請等がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※3) 「個別機能訓練」とは通所介護における「個別機能訓練加算」の算定有無にかかわらず、利用者に対して20分以上個別に機能訓練を行った場合を指します。



※ 調査日の利用者全員について記入してください。

NO	(1) 性別	(2) 年齢	(3) 貴事業所の利用開始年月(西暦)	(4)	(5)	(6) 調査日時点の要介護度	(7) 今月における利用回数(予定)	(8) 過去一年間の利用状況(※1) および (9) 更新申請・区分変更の時期(※2)		(10) 調査日における個別機能訓練実施の有無(※3)	(11) 左記(10)で「1.有」の場合、個別機能訓練を担当した職員の職種(複数回答)	(12) 現在、有している傷病(複数回答可)	(13) 実施している医療的ケア(複数回答可)	(14) 併用している居宅サービス(複数回答可)
				利用開始時の要介護度	1年前の要介護度			支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 経=経過 不=不明	支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 非=非該当 未=未申請 不=不明					
例	1 ・ 2	75歳	2010年 10月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	8回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
15	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
16	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
17	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
18	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
19	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6

(※1) 利用があった月に○、過去一年間の利用がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※2) 更新申請・区分変更(以下、「更新申請等」)があった月に○、過去一年間に更新申請等がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※3) 「個別機能訓練」とは通所介護における「個別機能訓練加算」の算定有無にかかわらず、利用者に対して20分以上個別に機能訓練を行った場合を指します。

※ 調査日の利用者全員について記入してください。

NO	(1) 性別	(2) 年齢	(3) 貴事業所の利用開始年月(西暦)	(4)	(5)	(6) 調査日時点の要介護度	(7) 今月における利用回数(予定)	(8) 過去一年間の利用状況(※1) および (9) 更新申請・区分変更の時期(※2)		(10) 調査日における個別機能訓練実施の有無(※3)	(11) 左記(10)で「1.有」の場合、個別機能訓練を担当した職員の職種(複数回答)	(12) 現在、有している傷病(複数回答可)	(13) 実施している医療的ケア(複数回答可)	(14) 併用している居宅サービス(複数回答可)
				利用開始時の要介護度	1年前の要介護度			支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 経=経過 不=不明	支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 非=非該当 未=未申請 不=不明					
例	1 ・ ②	75歳	2010年 10月	支1・2 介1・②・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・②・3・4 介5・非・未・不	介1・②・3 介4・5	8回	(8)利用 H22年8・9・⑩・⑪・⑫ H23年①・②・③・④・⑤・⑥・なし	① → 個別機能 訓練 30 分	1・② ・3・4	① 2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・⑭・15	1・2・③ ・4・5・6	
20	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 → 個別機能 訓練 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	
21	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 → 個別機能 訓練 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	
22	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 → 個別機能 訓練 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	
23	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 → 個別機能 訓練 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	
24	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 → 個別機能 訓練 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6	

(※1) 利用があった月に○、過去一年間の利用がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※2) 更新申請・区分変更(以下、「更新申請等」)があった月に○、過去一年間に更新申請等がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※3) 「個別機能訓練」とは通所介護における「個別機能訓練加算」の算定有無にかかわらず、利用者に対して20分以上個別に機能訓練を行った場合を指します。

※ 調査日の利用者全員について記入してください。

NO	(1) 性別	(2) 年齢	(3) 貴事業所の利用開始年月(西暦)	(4)	(5)	(6) 調査日時点の要介護度	(7) 今月における利用回数(予定)	(8) 過去一年間の利用状況(※1) および (9) 更新申請・区分変更の時期(※2)		(10) 調査日における個別機能訓練実施の有無(※3)	(11) 左記(10)で「1.有」の場合、個別機能訓練を担当した職員の職種(複数回答)	(12) 現在、有している傷病(複数回答可)	(13) 実施している医療的ケア(複数回答可)	(14) 併用している居宅サービス(複数回答可)
				利用開始時の要介護度	1年前の要介護度			支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 経=経過 不=不明	支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 非=非該当 未=未申請 不=不明					
例	1 ・ 2	75歳	2010年 10月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	8回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
25	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
26	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
27	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
28	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
29	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6

(※1) 利用があった月に○、過去一年間の利用がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※2) 更新申請・区分変更(以下、「更新申請等」)があった月に○、過去一年間に更新申請等がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※3) 「個別機能訓練」とは通所介護における「個別機能訓練加算」の算定有無にかかわらず、利用者に対して20分以上個別に機能訓練を行った場合を指します。

※ 調査日の利用者全員について記入してください。

NO	(1) 性別	(2) 年齢	(3) 貴事業所の 利用開始年月 西暦	(4)	(5)	(6) 調査日 時点の 要介護度	(7) 今月における 利用回数 (予定)	(8) 過去一年間の利用状況 (※1) および (9) 更新申請・区分変更の時期 (※2)		(10) 調査日にお ける個別機 能訓練実施 の有無 (※3)	(11) 左記(10)で 「1.有」の 場合、個別 機能訓練を 担当した職 員の職種 (複数回答)	(12) 現在、有し ている傷病 (複数回答可)	(13) 実施している 医療的ケア (複数回答可)	(14) 併用している 居宅サービス (複数回答可)
				利用開始時 の要介護度	1年前の 要介護度			支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 経=経過 不=不明	支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 非=非該当 未=未申請 不=不明					
例	1 ・ ②	75 歳	2010年 10月	支1・2 介1・②・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・②・3・4 介5・非・未・不	介1・②・3 介4・5	8 回	⑧利用 H22年8・9・⑩・⑪・⑫ H23年①・②・③・④・⑤・⑥・なし	⑧利用 H22年8・9・⑩・⑪・⑫ H23年①・②・③・④・⑤・⑥・なし	① → 個別機能 訓練 30 分	1・② ・3・4	① 2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・⑭・15	1・2・③ ・4・5・6
30	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	⑧利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	⑧利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 → 個別機能 訓練 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
31	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	⑧利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	⑧利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 → 個別機能 訓練 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
32	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	⑧利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	⑧利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 → 個別機能 訓練 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
33	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	⑧利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	⑧利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 → 個別機能 訓練 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
34	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	⑧利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	⑧利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 → 個別機能 訓練 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6

(※1) 利用があった月に○、過去一年間の利用がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※2) 更新申請・区分変更(以下、「更新申請等」)があった月に○、過去一年間に更新申請等がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

※ (※3)「個別機能訓練」とは通所介護における「個別機能訓練加算」の算定有無にかかわらず、利用者に対して20分以上個別に機能訓練を行った場合を指します。調査日の利用者全員について記入してください。

NO	(1)	(2)	(3) 貴事業所の利用開始年月(西暦)	(4)	(5)	(6)	(7) 今月における利用回数(予定)	(8) 過去一年間の利用状況(※1) および (9) 更新申請・区分変更の時期(※2)		(10)	(11)	(12)	(13)	(14)
	性別	年齢		利用開始時の要介護度	1年前の要介護度	調査日時点の要介護度		(8) 過去一年間の利用状況(※1) および (9) 更新申請・区分変更の時期(※2)	調査日における個別機能訓練実施の有無(※3)	左記(10)で「1.有」の場合、個別機能訓練を担当した職員の職種(複数回答)	現在、有している傷病(複数回答可)	実施している医療的ケア(複数回答可)	併用している居宅サービス(複数回答可)	
	1=男 2=女			支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 経=経過 不=不明	支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 非=非該当 未=未申請 不=不明	介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5			1=有(※) 2=無 ※「1.有」の場合は、個別機能訓練の提供時間もご記入ください。	1=PT 2=OT 3=ST 4=PT/OT/ST 以外の職種	1=脳血管疾患 2=心疾患 3=糖尿病 4=がん 5=腎不全 6=慢性呼吸不全 7=骨折 8=認知症 9=パーキンソン病 など神経難病 10=その他 11=なし	1=胃ろう・経鼻経管栄養による栄養管理 2=膀胱(留置)カテーテルの管理 3=人工肛門(ストマ)のケア 4=たんの吸引 5=ネブライザー 6=酸素療法(酸素吸入) 7=気管切開のケア 8=人工呼吸器の管理 9=褥瘡の処置 10=インスリン注射 11=導尿 12=浣腸 13=排便 14=服薬管理 15=その他	1=通所リハ 2=訪問介護 3=訪問リハ 4=訪問看護 5=その他の介護保険サービス 6=不明	
例	1 ②	75歳	2010年10月	支1・2 介1②③④ 介5・経・不	支1・2 介1②③④ 介5・非・未・不	介1②③ 介4・5	8回	(8)利用 H22年8・9・10①②③④⑤⑥ H23年①②③④⑤⑥なし	① 1 2 30分	1② 3・4	①2・3・4 5・6・7・8 9・10・11	1・2・3・4・5・6 7・8・9・10・11 12・13・14・15	1・2③ 4・5・6	
35	1 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 2 分	1・2 3・4	1・2・3・4 5・6・7・8 9・10・11	1・2・3・4・5・6 7・8・9・10・11 12・13・14・15	1・2・3 4・5・6	
36	1 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 2 分	1・2 3・4	1・2・3・4 5・6・7・8 9・10・11	1・2・3・4・5・6 7・8・9・10・11 12・13・14・15	1・2・3 4・5・6	
37	1 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 2 分	1・2 3・4	1・2・3・4 5・6・7・8 9・10・11	1・2・3・4・5・6 7・8・9・10・11 12・13・14・15	1・2・3 4・5・6	
38	1 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 2 分	1・2 3・4	1・2・3・4 5・6・7・8 9・10・11	1・2・3・4・5・6 7・8・9・10・11 12・13・14・15	1・2・3 4・5・6	
39	1 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 2 分	1・2 3・4	1・2・3・4 5・6・7・8 9・10・11	1・2・3・4・5・6 7・8・9・10・11 12・13・14・15	1・2・3 4・5・6	

(※1) 利用があった月に○、過去一年間の利用がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※2) 更新申請・区分変更(以下、「更新申請等」)があった月に○、過去一年間に更新申請等がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※3)「個別機能訓練」とは通所介護における「個別機能訓練加算」の算定有無にかかわらず、利用者に対して20分以上個別に機能訓練を行った場合を指します。

※ 調査日の利用者全員について記入してください。

NO	(1) 性別	(2) 年齢	(3) 貴事業所の利用開始年月(西暦)	(4)	(5)	(6) 調査日時点の要介護度	(7) 今月における利用回数(予定)	(8) 過去一年間の利用状況(※1) および (9) 更新申請・区分変更の時期(※2)		(10) 調査日における個別機能訓練実施の有無(※3)	(11) 左記(10)で「1.有」の場合、個別機能訓練を担当した職員の職種(複数回答)	(12) 現在、有している傷病(複数回答可)	(13) 実施している医療的ケア(複数回答可)	(14) 併用している居宅サービス(複数回答可)
				利用開始時の要介護度	1年前の要介護度			支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 経=経過 不=不明	支1=要支援1 支2=要支援2 介1=要介護1 介2=要介護2 介3=要介護3 介4=要介護4 介5=要介護5 非=非該当 未=未申請 不=不明					
例	1 ・ 2	75歳	2010年 10月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	8回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
40	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
41	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
42	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
43	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6
44	1 ・ 2	歳	年月	支1・2 介1・2・3・4 介5・経・不	支1・2 介1・2・3・4 介5・非・未・不	介1・2・3 介4・5	回	(8)利用 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	(9)更新申請等 H22年8・9・10・11・12 H23年1・2・3・4・5・6・なし	1 ・ 2 分	1・2 ・3・4	1・2・3・4 ・5・6・7・8 ・9・10・11	1・2・3・4・5・6 ・7・8・9・10・11 ・12・13・14・15	1・2・3 ・4・5・6

(※1) 利用があった月に○、過去一年間の利用がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※2) 更新申請・区分変更(以下、「更新申請等」)があった月に○、過去一年間に更新申請等がなかった場合は「なし」に○を記入してください。

(※3) 「個別機能訓練」とは通所介護における「個別機能訓練加算」の算定有無にかかわらず、利用者に対して20分以上個別に機能訓練を行った場合を指します。

---

## 参考資料 2

通所リハビリテーションおよび

通所介護サービスに関する調査 記入要領

---





## 通所リハビリテーションおよび通所介護サービスに関する調査 実施要領

### ■ 同封物一覧

- 調査ご協力をお願い（3部）
- 実施要領（1部：本紙）
- 調査票（通所リハビリテーション事業所票1部、リハビリテーション専門職・看護職・利用者票 3部）
- 返信用封筒（角2：1部）

## 1. 調査の目的

本調査は、通所介護および通所リハビリテーション事業所におけるリハビリテーションなどのサービスの実態を把握し、平成24年度介護報酬改定の基礎資料とすることを目的として実施するものです。そのため、本調査では、ある一日のサービスの状況だけでなく、サービスを受けた利用者の状況についても把握させていただく内容となっております。

## 2. 調査対象

- 調査対象は、全国の通所リハビリテーション約2,000事業所および通所介護1,000事業所です。ただし、東日本大震災の被災地域については、調査の対象には含めておりません。  
調査対象事業所は、独立行政法人福祉医療機構（旧社会福祉・医療事業団）の福祉保健医療情報ネットワーク（WAM-NET）事業に登録された全国の事業所から、各都道府県の介護サービス情報公表サイトに登録された情報を参考にして無作為に事業所を抽出しています。
- 調査客体は、調査票に記載された調査日に通所リハビリテーションを利用した方全員、調査日に勤務したリハビリテーション専門職および看護職員の方全員です。

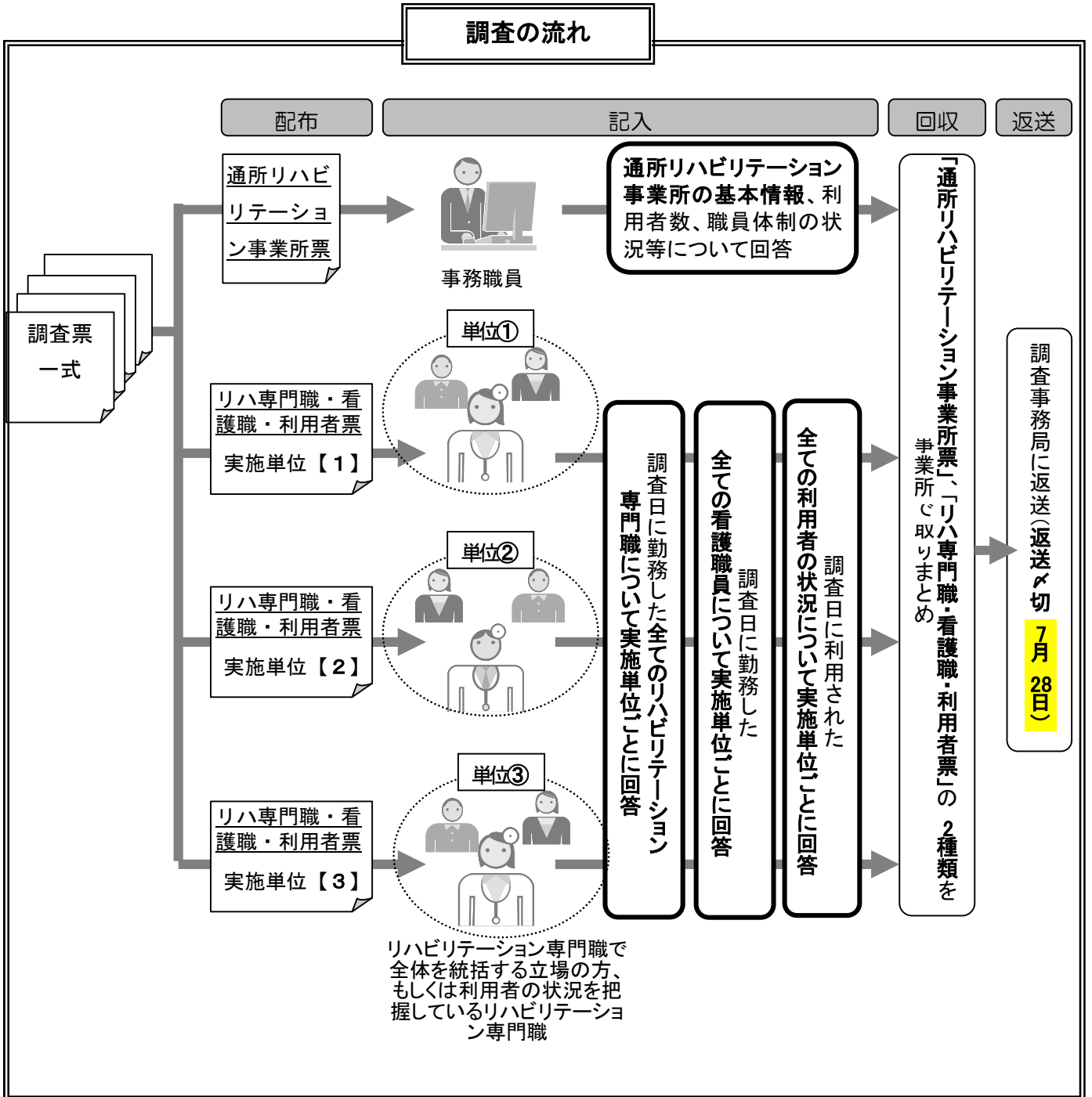
## 3. 調査方法

調査票の種類および、各種調査票の記入をお願いしたい方は以下のとおりです。

調査票名	部数	記入者
通所リハビリテーション事業所票	1部	管理者的な立場にある <u>事務職員</u> (※必要に応じて管理者、医師、看護職員、介護職員にご協力いただいてご記入ください)
リハビリテーション専門職・看護職・利用者票	3部 (リスト形式)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<u>リハビリテーション専門職票（当該調査票P.2）</u>： 主として<u>リハビリテーション専門職員</u> (※必要に応じて医師、看護職員、介護職員、PT、OT、ST等にご協力いただいてご記入ください)</li> <li>○<u>看護職票（当該調査票P.3）</u>： 主として<u>看護職員</u> (※必要に応じて医師、看護職員、介護職員、PT、OT、ST等にご協力いただいてご記入ください)</li> <li>○<u>利用者票（当該調査票P.4～8ページ）</u>： <u>リハビリテーション専門職で全体を統括する立場の方、もしくは利用者の状況を把握しているリハビリテーション専門職。</u></li> </ul>

4. 事業所の皆様へのお願い

貴事業所におかれましては、以下の流れで調査票の記入をお願いいたします。



## 5. 調査票記入上の留意事項

調査票の記入にあたっては、以下の点を参考にご回答ください。記入は鉛筆でもボールペンでもかまいません。

### (1) 通所リハビリテーション事業所票

I. 通所リハビリテーション事業所の基本情報	平成 23 年 7 月 1 日時点で、貴事業所に通所リハビリテーションサービス又は介護予防通所リハビリテーションサービスの利用者として登録されている利用者数を要介護度別に記入してください。
(1) 登録者数	
II. 介護予防通所リハビリテーション事業所の基本情報	
(2) 登録者数	
I. 通所リハビリテーション事業所の基本情報	平成 23 年 7 月 1 日時点で、貴事業所が定めている通所リハビリテーションの定員を提供するサービスの時間区分ごとに記入してください。
(2) 利用者定員数	通所リハビリテーションと介護予防通所リハビリテーションの合計で定員を定めている場合は合算した定員を記入してください。
	通所リハビリテーションを複数単位実施している場合であって、提供するサービスの時間区分が同一の単位を1日に複数単位実施している場合には、1日に実施する各単位の合計の定員を記入してください。
(3) 時間別開催日数	平成 23 年 6 月中に通所リハビリテーションを開催した日数を、提供したサービスの時間区分別に記入してください。
I. 通所リハビリテーション事業所の基本情報	平成 23 年 6 月中に通所リハビリテーション又は介護予防通所リハビリテーションを利用した実人数および延べ人数を記入してください。
(4) 時間別利用者数	実人数には利用回数に関係なく、1日利用した利用者も2日以上利用した利用者も「1」とカウントしてください。
II. 介護予防通所リハビリテーション事業所の基本情報	延べ人数には、利用回数の合計を記入してください。
(3) 利用者数	通所リハビリテーションの利用者数は、提供したサービスの時間区分別に記入してください。
I. 通所リハビリテーション事業所の基本情報	貴事業所が「1時間以上2時間未満」の通所リハビリテーションを提供している場合には、平成 23 年 6 月分の理学療法士等体制強化加算の算定状況について記入してください。
(5) 理学療法士等体制強化加算	「1時間以上2時間未満」の通所リハビリテーションを提供していない場合には記入は不要です。

## Ⅲ. 併設施設について

平成23年7月1日時点で貴事業所に併設している通所リハビリテーション事業所以外の施設、事業所について記入してください。

介護保険サービス事業所については、いわゆる「みなし指定」を受けている事業所で、平成23年7月時点でサービス提供を行っていない事業所は含めないでください。

医療機関を併設している場合には、「副問①医療保険による外来リハビリの提供有無」についても記入してください。

## Ⅳ. 送迎について

平成23年7月1日時点の貴事業所における送迎サービスの実施状況について提供しているサービスの時間区分別に記入してください。

利用者全員の送迎を行っていない場合であっても、貴事業所のサービスとして送迎サービスを提供している場合には「送迎を行っている」としてください。

## Ⅴ. 通所リハビリテーションに従事する職員体制

平成23年7月1日時点で貴事業所に在籍する職員のうち、通所リハビリテーションの業務に携わっている者を職種別に計上してください。

介護予防通所リハビリテーションと通所リハビリテーションで別々に人員配置を行っている場合は、合算した職員数を記入してください。

複数の職種を貴事業所内で兼務されている場合は、保有資格で回答するのではなく、実際に貴事業所において主として職務を担っている職種に回答してください。

通所リハビリテーション事業所に併設している医療機関等の業務にのみ従事している職員は計上しないでください(通所リハビリテーション事業所と兼務の場合は計上してください)。

**常勤**とは、貴事業所が定めた所定労働時間のすべてを勤務する者をいいます。所定労働時間のすべてを勤務しているパートタイマー等も常勤に含まれます。

**非常勤**とは、常勤以外の職員であって、他の施設、事業所にも勤務するなど収入および時間的拘束の伴う仕事を持っているもの、短時間のパートタイマー等をいいます。

**専従**とは、事業所内の他の職務および併設施設、事業所等の他の職務に従事しない者をいいます。

**常勤換算**は、専従常勤職員数(実人数)と、**常勤の兼務職員**および**非常勤職員**の常勤換算数を合計した値を記入してください。

**常勤換算**は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上してください。得られた結果が0.1に満たない場合には「0.1」と計上してください。

「常勤換算数」

＝「当該職員の1週間の勤務時間数」÷「所定労働時間」

【実人員および常勤換算の記入例】

1 週間の所定労働時間を 40 時間と定めている事業所であって、以下の職員がいる場合

- ①専従の常勤理学療法士 1 人  
実人員→「1」を計上してください。  
常勤換算→「1」を計上してください。
- ②併設する医療機関と兼務する常勤の理学療法士 1 人  
1 週間の勤務時間が通所リハビリテーション事業所 25 時間、併設する医療機関 15 時間の場合  
実人員→「1」を計上してください。  
常勤換算→25 時間÷40 時間=0.625→0.6 を計上してください。
- ③非常勤の理学療法士 1 人

1 週間の勤務時間が 15 時間の場合

実人員→「1」を計上してください。  
常勤換算→15 時間÷40 時間=0.375→0.4 を計上してください。

	通所リハビリテーションに 従事する常勤職員		通所リハビリテーションに 従事する非常勤職員	
	実人員	常勤換算※2	実人員	常勤換算※2
理学療法士	( 2 )人	( 1.6 )人	( 1 )人	( 0.4 )人
うち、通所リハに専従の者	( 1 )人		( 1 )人	

実人数、常勤換算が「0 人」の場合は空欄とせず、記入欄に「0」と記入してください。

VI.利用者の状況

(1)利用者の医療的ケアの状況

平成 23 年 7 月 1 日時点で、貴事業所に通所リハビリテーションサービスの利用者として登録されている利用者のうち、医療的ケアが必要な方の人数を記入してください。

「おむつをしている人数」には、リハビリパンツをしている方も含めてください。

(2)その他のケアの状況

1. おむつをしている人数(リハビリパンツ含む)

「おむつをしている人数」には、尿とりパットをあてている人は含めないでください。

2. 一連の入浴行為を1対1介助で入浴している人数

入浴に際して必ず1人以上の職員が介助している利用者を計上してください。

必ずしも同じ職員が一連の介助を担当しなくても、1人以上の職員が介助している場合は含めてください。

3. 機械浴で入浴している人数

いわゆる特殊浴槽を使用して入浴している人数を計上してください。

4. 経口摂取の際に食事介助が必要な人数

食事の際に食事介助を行っている利用者を計上してください。  
ただし、経管栄養であって、経口摂取を行っていない利用者については含めないでください。

## (2) リハビリテーション専門職・看護職・利用者票

リハビリテーション専門職・看護職・利用者票は、平成 23 年 7 月 21 日(木)に実施した通所リハビリテーションについて、実施単位ごとに記入してください。ただし、7 月 21 日が定休日に当たる場合は、平成 23 年 7 月 22 日(金)の状況について記入してください。

介護予防通所リハビリテーションについては、記入の必要はありません。

### 【調査日に2単位の通所リハビリテーションを実施した場合】

- ・調査票は「実施単位【1】」、「実施単位【2】」の2票を使用します。
- ・表紙にそれぞれの単位の提供時間、従事者数、利用者数を記入してください。
- ・当該実施単位に従事したリハビリテーション専門職、看護職員、および当該単位の通所リハビリテーションを利用した方全員の状況について記入してください。

複数の単位に従事した職員の場合は、従事した実施単位の調査票それぞれに回答してください(重複計上可)。

### 【2単位の通所リハビリテーションに従事したリハビリテーション専門職の場合】

- ・調査票は「実施単位【1】」、「実施単位【2】」の2票を使用します。
- ・「実施単位【1】」の「I.(5)⑥当該単位以外の兼務業務に従事した時間」に記入した時間の内訳を、「実施単位【2】」の①～⑤にご記入ください。
- ・「実施単位【2】」の「I.(5)⑥当該単位以外の兼務業務に従事した時間」は、「実施単位【1】」の①～⑤の合計時間と同じ時間になります。
- ・「(1)職種」「(2)勤務形態」「(3)貴事業所での所定勤務時間」「(5)⑦通

リハビリテーション専門職票は 10 名、看護職票は 10 名、利用者票は 24 名まで記入できます。調査対象となるリハビリテーション専門職、看護職および利用者数がこれより多い場合は、大変恐れ入りますが、事務局までご連絡いただければ、追加の調査票をお送りさせていただきます。また、貴事業所にて調査票を必要な分だけコピーしていただき、調査票の「No.」を修正のうえ、ご利用いただいてもかまいません。

### I. リハビリテーション専門職について

#### (4) 利用者に対する直接的なケア

#### (5) 利用者に対する直接的なケア以外の業務

当該職員が勤務した時間を業務の内容別に計上してください。

①～⑤については、記入を行う実施単位の業務として行った時間を計上してください。

「個別リハ」とは通所リハビリテーションにおける「個別リハビリテーション加算」の算定有無にかかわらず、利用者に対して 20 分以上個別にリハビリテーションを行った場合を指します。

II.看護師・准看護師について  
 (4)利用者に対する直接的なケア  
 (5)利用者に対する直接的な  
 ケア以外の業務

当該職員が勤務した時間を業務の内容別に計上してください。  
 ①～⑦については、記入を行う実施単位の業務として行った時間を計上  
 してください。

III.利用者について  
 (3)貴事業所の利用開始年月

貴事業所以外の通所リハビリテーション事業所での利用実績にかかわらず、貴事業所の利用開始年月を西暦でご記入ください

(4)利用開始時の要介護度

当該利用者が貴事業所の通所リハビリテーションを利用し始めた際の要  
 介護度を記入してください。

利用開始時の要介護度の情報が得られない場合には「不明」を選択して  
 ください。

(5)1年前の要介護度

当該利用者の1年前の要介護度を記入してください。

1年前には要介護認定を受けていなかった利用者については、「未申  
 請」を選択してください。

1年前の要介護度の情報が得られない場合には「不明」を選択してください。

(6)調査日時点の要介護度

当該利用者の調査日時点の要介護度を記入してください。

(7)今月における利用回数(予  
 定)

当該利用者について、平成23年7月のケアプランで予定されている貴事  
 業所が提供する通所リハビリテーションの利用回数を記入してください。

(8)過去一年間の利用状況

当該利用者について、過去一年間で貴事業所が提供する通所リハビリテ  
 ーションの利用があった月を選択してください。

過去一年間に貴事業所の利用がなかった場合には、「なし」を選択して  
 ください。

(9)更新申請・区分変更の時  
 期

当該利用者について、要介護度の更新又は区分変更の申請を行った月  
 を選択してください。

過去一年間に更新又は区分変更の申請を行っていない場合には、「な  
 し」を選択してください。

(10)調査日における個別リハビ  
 リテーション実施の有無

調査日における当該利用者へのサービスとして、個別リハビリテーショ  
 ンを実施したかどうか選択してください。

(11)個別リハを担当した職員  
 の職種

当該利用者に対して個別リハビリテーションを実施した場合には、個別リ  
 ハビリテーションの提供時間および個別リハビリテーションを実施した職種に  
 ついても記入してください。

「個別リハビリテーション」とは通所リハビリテーションにおける「個別リハビリテ  
 ーション加算」の算定有無にかかわらず、利用者に対して20分以上個別にリ  
 ハビリテーションを行った場合を指します。

(12)現在、有している傷病	当該利用者が、現在有している傷病の状況について、当てはまるものすべてを選択してください。
(13)実施している医療的ケア	当該利用者が受けている医療的ケアの状況について、当てはまるものすべてを選択してください。 なお、導尿には留置カテーテルをしている場合も含まれます。
(14)今月算定予定の加算	調査日に実施した通所リハビリテーションにおいて、今月分で当該利用者に算定する予定の加算として当てはまるものすべてを選択してください。
(15)併用している居宅サービス	当該利用者について、平成 23 年 7 月のケアプランで位置づけられている、通所リハビリテーション以外のサービスとして該当するものすべてを選択してください。

## 6. その他

- ・ ご回答いただいた内容は全て統計的に処理し、各事業所および利用者の情報が事業所を特定した状態で公表されることは一切ありません。
- ・ またご回答いただいた情報を本調査の目的以外に使用することはありません。本調査終了後は、回収した調査票は焼却または溶解処理いたします。
- ・ 調査票の投函締め切りは**平成23年7月28日(木)**です。各調査票は返信用封筒に入れ、調査事務局に返送してください。
- ・ その他、調査実施上の不明点や、調査票内容に関する質問等につきましては、調査事務局までお知らせください。

### 【調査事務局】

#### ◆お問い合わせ先◆

「通所リハビリテーションおよび通所介護サービスに関する調査」事務局

(株)三菱総合研究所 人間・生活研究本部 ヒューマン・ケアグループ

(担当：池田・井ノ口・宮下・松下)

●住所 〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

●E-mail [qoc\\_front@mri.co.jp](mailto:qoc_front@mri.co.jp)

※ 大変恐縮ではございますが、可能であればE-mailによるお問い合わせを優先いただきますようお願い申し上げます。

●電話 フリーダイヤル：0120-553-226

※ お電話の受付期間は、全社一斉休業期間（8月11日（木）～21日（日））を除く、8月31日（水）までの平日9時30分～17時30分とさせていただきます。なお、一斉休業期間中のお問い合わせについては、上記のE-mailアドレスをご利用くださいますようお願い申し上げます。

※ お電話の際は、調査名をお知らせください



## 通所リハビリテーションおよび通所介護サービスに関する調査 実施要領

### ■ 同封物一覧

- 調査ご協力のお願い（3部）
- 実施要領（1部：本紙）
- 調査票（通所介護事業所票1部、機能訓練指導員・看護職・利用者票 3部）
- 返信用封筒（角2：1部）

## 7. 調査の目的

本調査は、通所介護および通所リハビリテーション事業所におけるリハビリテーションなどのサービスの実態を把握し、平成24年度介護報酬改定の基礎資料とすることを目的として実施するものです。そのため、本調査では、ある一日のサービスの状況だけでなく、サービスを受けた利用者の状況についても把握させていただく内容となっております。

## 8. 調査対象

- 調査対象は、全国の通所介護1,000事業所および通所リハビリテーション約2,000事業所です。ただし、東日本大震災の被災地域については、調査の対象には含めておりません。  
調査対象事業所は、独立行政法人福祉医療機構（旧社会福祉・医療事業団）の福祉保健医療情報ネットワーク（WAM-NET）事業で登録された全国の事業所から無作為に事業所を抽出しています。
- 調査客体は、調査票に記載された調査日に通所介護を利用した方全員、調査日に勤務した機能訓練指導員および看護職員の方全員です。

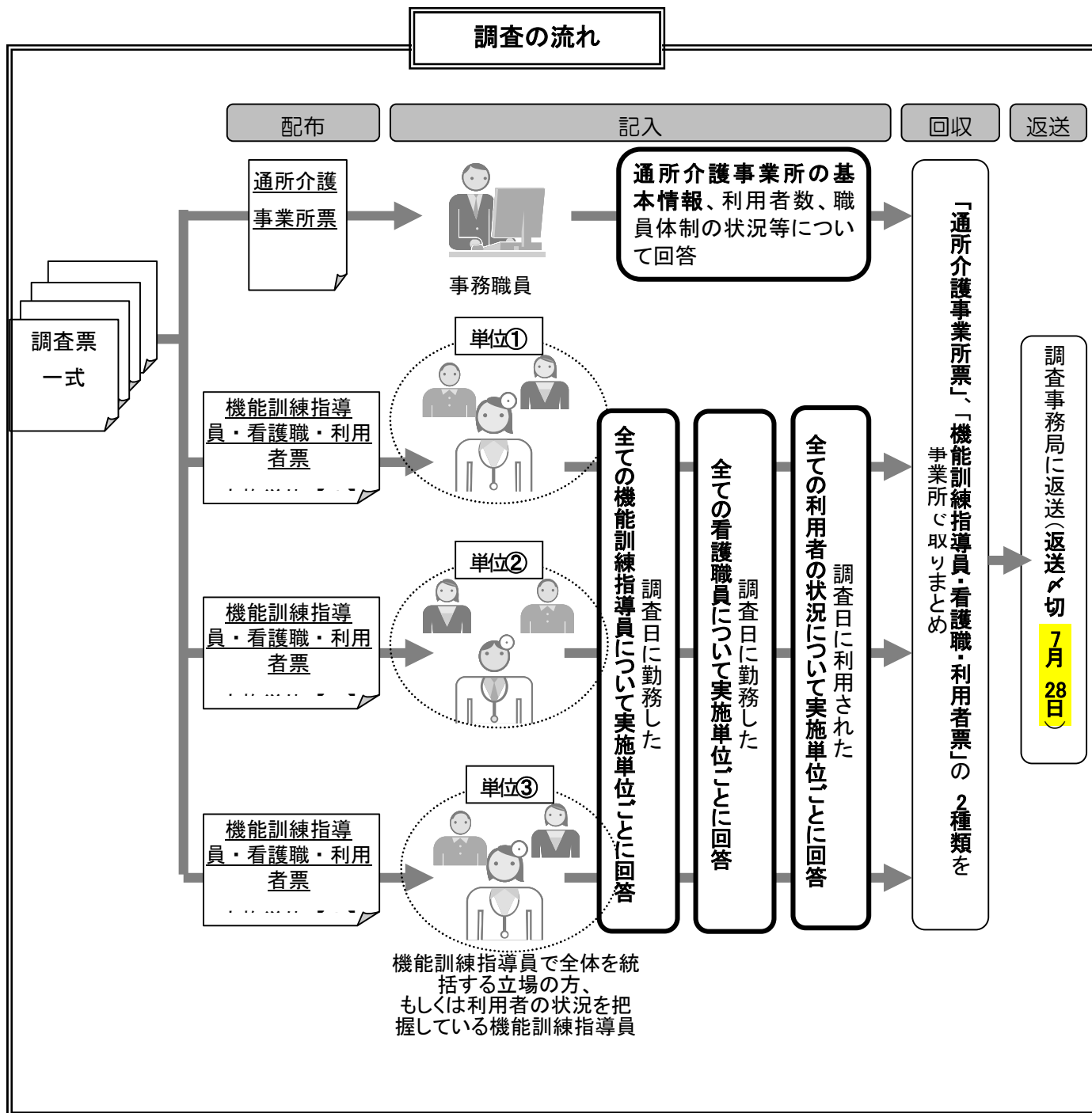
## 9. 調査方法

調査票の種類および、各種調査票の記入をお願いしたい方は以下のとおりです。

調査票名	部数	記入者
通所介護事業所票	1部	管理者的な立場にある <u>事務職員</u> (※必要に応じて管理者、看護職員、介護職員にご協力いただいでご記入ください)
機能訓練指導員・看護職・利用者票	3部 (リスト形式)	<p>○<u>機能訓練指導員票</u>（当該調査票P.2）： 主として<u>機能訓練指導員</u> (※必要に応じて看護職員、介護職員、PT、OT、ST等にご協力いただいでご記入ください)</p> <p>○<u>看護職票</u>（当該調査票P.3）： 主として<u>看護職員</u> (※必要に応じて看護職員、介護職員、PT、OT、ST等にご協力いただいでご記入ください)</p> <p>○<u>利用者票</u>（当該調査票P.4～12ページ）： <u>機能訓練指導員で全体を統括する立場の方</u>、もしくは利用者の状況を把握している機能訓練指導員。</p>

10. 事業所の皆様へのお願い

貴事業所におかれましては、以下の流れで調査票の記入をお願いいたします。



## 1 1. 調査票記入上の留意事項

調査票の記入にあたっては、以下の点を参考にご回答ください。記入は鉛筆でもボールペンでもかまいません。

### (1) 通所介護事業所票

#### I. 通所介護事業所の基本情報

##### (1) 登録者数

平成 23 年 7 月 1 日時点で、貴事業所に通所介護サービス又は介護予防通所介護サービスの利用者として登録されている利用者数を要介護度別に記入してください。

#### II. 介護予防通所介護事業所の基本情報

##### (2) 登録者数

平成 23 年 7 月 1 日時点で、貴事業所が定めている通所介護の定員を提供するサービスの時間区分ごとに記入してください。

#### I. 通所介護事業所の基本情報

##### (2) 利用者定員数

通所介護と介護予防通所介護の合計で定員を定めている場合は合算した定員を記入してください。

通所介護を複数単位実施している場合であって、提供するサービスの時間区分が同一の単位を1日に複数単位実施している場合には、1日に実施する各単位の合計の定員を記入してください。

##### (3) 時間別開催日数

平成 23 年 6 月中に通所介護を開催した日数を、提供したサービスの時間区分別に記入してください。

#### I. 通所介護事業所の基本情報

##### (4) 時間別利用者数

平成 23 年 6 月中に通所介護又は介護予防通所介護を利用した実人数および延べ人数を記入してください。

実人数には利用回数に関係なく、1日利用した利用者も2日以上利用した利用者も「1」とカウントしてください。

#### II. 介護予防通所介護事業所の基本情報

##### (3) 利用者数

延べ人数には、利用回数の合計を記入してください。

通所介護の利用者数は、提供したサービスの時間区分別に記入してください。

#### III. 併設施設について

平成 23 年 7 月 1 日時点で貴事業所に併設している通所介護事業所以外の施設、事業所について記入してください。

介護保険サービス事業所については、いわゆる「みなし指定」を受けている事業所で、平成 23 年 7 月時点でサービス提供を行っていない事業所は含めないでください。

医療機関を併設している場合には、「副問①医療保険による外来リハビリの提供有無」についても記入してください。

## IV.送迎について

平成 23 年 7 月 1 日時点の貴事業所における送迎サービスの実施状況について提供しているサービスの時間区分別に記入してください。

利用者全員の送迎を行っていない場合であっても、貴事業所のサービスとして送迎サービスを提供している場合には「送迎を行っている」としてください。

## V.通所介護に従事する職員体制

平成 23 年 7 月 1 日時点で貴事業所に在籍する職員のうち、通所介護の業務に携わっている者を職種別に計上してください。

介護予防通所介護と通所介護で別々に人員配置を行っている場合は、合算した職員数を記入してください。

複数の職種を貴事業所内で兼務されている場合は、保有資格で回答するのではなく、実際に貴事業所において主として職務を担っている職種に回答してください。

通所介護事業所に併設している医療機関等の業務にのみ従事している職員は計上しないでください(通所介護事業所と兼務の場合は計上してください)。

**常勤**とは、貴事業所が定めた所定労働時間のすべてを勤務する者をいいます。所定労働時間のすべてを勤務しているパートタイマー等も常勤に含まれます。

**非常勤**とは、常勤以外の職員であって、他の施設、事業所にも勤務するなど収入および時間的拘束の伴う仕事を持っているもの、短時間のパートタイマー等をいいます。

**専従**とは、事業所内の他の職務および併設施設、事業所等の他の職務に従事しない者をいいます。

**常勤換算**は、専従常勤職員数(実人数)と、**常勤の兼務職員**および**非常勤職員**の常勤換算数を合計した値を記入してください。

**常勤換算**は小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上してください。得られた結果が 0.1 に満たない場合には「0.1」と計上してください。

「常勤換算数」

=「当該職員の 1 週間の勤務時間数」÷「所定労働時間」

【実人員および常勤換算の記入例】

1 週間の所定労働時間を 40 時間と定めている事業所であって、以下の職員がいる場合

- ①専従の常勤理学療法士 1 人  
実人員→「1」を計上してください。  
常勤換算→「1」を計上してください。
- ②併設する医療機関と兼務する常勤の理学療法士 1 人  
1 週間の勤務時間が通所リハビリテーション事業所 25 時間、併設する医療機関 15 時間の場合  
実人員→「1」を計上してください。  
常勤換算→25 時間÷40 時間=0.625→0.6 を計上してください。
- ③非常勤の理学療法士 1 人

1 週間の勤務時間が 15 時間の場合

実人員→「1」を計上してください。  
常勤換算→15 時間÷40 時間=0.375→0.4 を計上してください。

	通所介護に 従事する常勤職員		通所介護に 従事する非常勤職員	
	実人員	常勤換算(※2)	実人員	常勤換算(※2)
機能訓練指導員	( 2 )人	( 1.6 )人	( 1 )人	( 0.4 )人
うち、理学療法士	( 2 )人	( 1.6 )人	( 1 )人	( 0.4 )人
うち、通所介護に専従の者	( 1 )人		( 1 )人	

実人数、常勤換算が「0 人」の場合は空欄とせず、記入欄に「0」と記入してください。

平成 23 年 7 月 1 日時点で、貴事業所に通所介護サービスの利用者として登録されている利用者のうち、医療的ケアが必要な方の人数を記入してください。

VI. 利用者の状況

(1) 利用者の医療的ケアの状況

「おむつをしている人数」には、リハビリパンツをしている方も含めてください。

(2) その他のケアの状況

「おむつをしている人数」には、尿とりパットをあてている人は含めないでください。

1. おむつをしている人数(リハビリパンツ含む)

入浴に際して必ず1人以上の職員が介助している利用者を計上してください。

2. 一連の入浴行為を1対1介助で入浴している人数

必ずしも同じ職員が一連の介助を担当しなくても、1人以上の職員が介助している場合は含めてください。

3. 機械浴で入浴している人数

いわゆる特殊浴槽を使用して入浴している人数を計上してください。

4. 経口摂取の際に食事介助が必要な人数

食事の際に食事介助を行っている利用者を計上してください。

ただし、経管栄養であって、経口摂取を行っていない利用者については含めないでください。

## (2) 機能訓練指導員・看護職・利用者票

機能訓練指導員・看護職・利用者票は平成 23 年 7 月 21 日(木)に実施した通所介護について、実施単位ごとに記入してください。ただし、7月21日が定休日に当たる場合は、平成 23 年 7 月 22 日(金)の状況について記入してください。

介護予防通所介護については、記入の必要はありません。

### 【調査日に2単位の通所介護を実施した場合】

- ・調査票は「実施単位【1】」、「実施単位【2】」の2票を使用します。
- ・表紙にそれぞれの単位の提供時間、従事者数、利用者数を記入してください。
- ・当該実施単位に従事した機能訓練指導員、看護職員、および当該単位の通所介護を利用した方全員の状況について記入してください。

複数の単位に従事した職員の場合は、従事した実施単位の調査票それぞれに回答してください(重複計上可)。

### 【2単位の通所介護に従事した機能訓練指導員の場合】

- ・調査票は「実施単位【1】」、「実施単位【2】」の2票を使用します。
- ・「実施単位【1】」の「I.(5)⑥当該単位以外の兼務業務に従事した時間」に記入した時間の内訳を、「実施単位【2】」の①～⑤にご記入ください。
- ・「実施単位【2】」の「I.(5)⑥当該単位以外の兼務業務に従事した時間」は、「実施単位【1】」の①～⑤の合計時間と同じ時間になります。
- ・「(1)職種」「(2)勤務形態」「(3)貴事業所での所定勤務時間」「(5)⑦通所介護以外の兼務業務に従事した時間」「(6)勤務時間の合計時間」

機能訓練指導員票は10名、看護職票は10名、利用者票は44名まで記入できます。調査対象となる機能訓練指導員、看護職および利用者数がこれより多い場合は、大変恐れ入りますが、事務局までご連絡いただければ、追加の調査票をお送りさせていただきます。また、貴事業所にて調査票を必要な分だけコピーしていただき、調査票の「No.」を修正のうえ、ご利用いただいてもかまいません。

### I.機能訓練指導員専門職について

#### (4)利用者に対する直接的なケア

#### (5)利用者に対する直接的なケア以外の業務

当該職員が勤務した時間を業務の内容別に計上してください。

①～⑤については、記入を行う実施単位の業務として行った時間を計上してください。

「個別機能訓練」とは通所介護における「個別機能訓練加算」の算定有無にかかわらず、利用者に対して 20 分以上個別に機能訓練を行った場合を指します。

## II. 看護師・准看護師について

当該職員が勤務した時間を業務の内容別に計上してください。

①～⑦については、記入を行う実施単位の業務として行った時間を計上してください。

- (4)利用者に対する直接的なケア  
(5)利用者に対する直接的なケア以外の業務

貴事業所以外の通所介護事業所での利用実績にかかわらず、貴事業所の利用開始年月を西暦でご記入ください

## III. 利用者について

- (3)貴事業所の利用開始年月

当該利用者が貴事業所の通所介護を利用し始めた際の要介護度を記入してください。

- (4)利用開始時の要介護度

利用開始時の要介護度の情報が得られない場合には「不明」を選択してください。

- (5)1年前の要介護度

当該利用者の1年前の要介護度を記入してください。

1年前には要介護認定を受けていなかった利用者については、「未申請」を選択してください。

1年前の要介護度の情報が得られない場合には「不明」を選択してください。

- (6)調査日時点の要介護度

当該利用者の調査日時点の要介護度を記入してください。

- (7)今月における利用回数(予定)

当該利用者について、平成23年7月のケアプランで予定されている貴事業所が提供する通所介護の利用回数を記入してください。

- (8)過去一年間の利用状況

当該利用者について、過去一年間で貴事業所が提供する通所介護の利用があった月を選択してください。

過去一年間に貴事業所の利用がなかった場合には、「なし」を選択してください。

- (9)更新申請・区分変更の時期

当該利用者について、要介護度の更新又は区分変更の申請を行った月を選択してください。

過去一年間に更新又は区分変更の申請を行っていない場合には、「なし」を選択してください。

- (10)調査日における個別機能訓練実施の有無

調査日における当該利用者へのサービスとして、個別機能訓練を実施したかどうかを選択してください。

- (11)個別機能訓練を担当した職員の職種

当該利用者に対して個別機能訓練を実施した場合には、個別機能訓練の提供時間および個別機能訓練を実施した職種についても記入してください。

	「個別機能訓練」とは通所介護における「個別機能訓練加算」の算定有無にかかわらず、利用者に対して 20 分以上個別に機能訓練を行った場合を指します。
(12)現在、有している傷病	当該利用者が、現在有している傷病の状況について、当てはまるものすべてを選択してください。
(13)実施している医療的ケア	当該利用者が受けている医療的ケアの状況について、当てはまるものすべてを選択してください。 なお、導尿には留置カテーテルをしている場合も含まれます。
(14)併用している居宅サービス	当該利用者について、平成 23 年 7 月のケアプランで位置づけられている、通所介護以外のサービスとして該当するものすべてを選択してください。

## 12. その他

- ・ ご回答いただいた内容は全て統計的に処理し、各事業所および利用者の情報が事業所を特定した状態で公表されることは一切ありません。
- ・ またご回答いただいた情報を本調査の目的以外に使用することはありません。本調査終了後は、回収した調査票は焼却または溶解処理いたします。
- ・ 調査票の投函締め切りは**平成23年7月28日(木)**です。各調査票は返信用封筒に入れ、調査事務局に返送してください。
- ・ その他、調査実施上の不明点や、調査票内容に関する質問等につきましては、調査事務局までお知らせください。

### 【調査事務局】

#### ◆お問い合わせ先◆

「通所リハビリテーションおよび通所介護サービスに関する調査」事務局  
 (株)三菱総合研究所 人間・生活研究本部 ヒューマン・ケアグループ  
 (担当：池田・井ノ口・宮下・松下)

- 住所 〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3
- E-mail [goc\\_front@mri.co.jp](mailto:goc_front@mri.co.jp)  
 ※ 大変恐縮ではございますが、可能であればE-mailによるお問い合わせを優先いただきますようお願い申し上げます。
- 電話 フリーダイヤル：0120-553-226  
 ※ お電話の受付期間は、全社一斉休業期間（8月11日(木)～21日(日))を除く、8月31日(水)までの平日9時30分～17時30分とさせていただきます。なお、一斉休業期間中のお問い合わせについては、上記のE-mailアドレスをご利用くださいますようお願い申し上げます。  
 ※ お電話の際は、調査名をお知らせください



平成 23 年度 老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業）

介護サービスの質の評価に関する利用実態等を  
踏まえた介護報酬モデルに関する  
調査研究事業 報告書

---

平成 24（2012）年 3 月発行

発行 株式会社 三菱総合研究所 人間・生活研究本部

〒100-8141 東京都千代田区永田町 2-10-3

TEL 03（6705）6024 FAX 03（5157）2143

---

不許複製